Nikon

Jp

ニコンデジタルカメラE5000/クールピクス 5000

COOLPIX 5000

• COOLPIX 5000 (Jp) •

使用説明書

COOLPIX5000 の説明書について

COOLPIX5000 には次の説明書が付属しています。製品をご使用の前にこれらの説明書をよくお読みください。

クイックスタートガイド

クイックスタートガイドは、COOLPIX5000 での撮影・再生から、撮影した画像をパソコンに転送するまでの基本操作をステップごとに簡単に紹介しています。

使用説明書（本説明書）

COOLPIX5000 の操作方法と撮影した画像の活用方法について、十分に理解していただけるように、簡単な操作から応用までを順を追って詳しく説明しています。

Nikon View 5 リファレンスマニュアル（CD-ROM）

COOLPIX5000 には、Nikon View 5 リファレンスマニュアルが付属しています。Nikon View 5 の内容についてはリファレンスマニュアルおよびこの使用説明書の「接続」の章をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容 (左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること (必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容 (左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠警　告（カメラについて）

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

⚠警　告（カメラについて）

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

AC アダプタご使用時に雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注　意（カメラについて）

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

プラグを抜く

長期間使用しない時は電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
AC アダプタでご使用されている場合には、AC アダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠警　告（リチウム電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警　告（リチウム電池について）

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

禁止

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠危　険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

ニコン COOLPIX5000 、995 、885 、880 、775 専用の充電式電池です、この機器以外には使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

⚠警　告（専用リチウムイオン充電池について）

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警　告

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警　告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

警　告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

ご確認ください

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客さまへ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入１年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

■大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失等）については、補償致しかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路内部に侵入したことなどが考えられます。万一このような状態になったときは、電源スイッチをOFFにセットしてバッテリーを入れ直し、電源スイッチをONにセットしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、カメラの電源スイッチをOFFにセットし、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源スイッチをONにセットしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

■本製品を安心してご使用いただくために

本製品は 、当社製のアクセサ リー（レンズ、スピードライト 、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）のアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。

・他社製品との組み合わせ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。
　その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

■商標説明

- CompactFlash™(コンパクトフラッシュ）は米国 SanDisk 社の商標です。
- Microsoft®および Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh, Mac OS, Power Macintosh, PowerBook, iMac, iBook, QuickTime は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe, Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標または特定地域における同社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズおよびカバーに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください
カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●液晶モニタを無理に回さないでください
液晶モニタは回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラと接続しているヒンジ部の故障の原因となります。

●急激な温度変化を与えないでください
極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について
お手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。レンズ面や液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固い物で拭くと傷になりますのでご注意ください。

●保管する際には
カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源スイッチがOFFの状態で行ってください
電源スイッチがONの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作には、十分注意してください。

●液晶モニタについて
・液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。また記録される画像には影響はありません。
・屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
・液晶モニタ表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて
明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。また撮影された画像には影響はありません。

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

バッテリーの使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、バッテリーが破裂したりする恐れがあります。次の使用上の注意をお守りください。

- ・バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
- ・使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。

●撮影後には液晶モニタを消灯にしてバッテリーの消耗を防ぐ

液晶モニタを消灯にしてファインダーのみで撮影することで、バッテリーの消耗を防ぎ、撮影コマ数を増すことができます。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんのでご注意ください。

●予備のバッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはリチャージャブルバッテリー、リチウム電池の入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は十分に充電されたリチャージャブルバッテリー、または新しいリチウム電池を使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

電池残量がなくなったリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったリチャージャブルバッテリーは、充電してご使用ください。

目　次

カメラのセットアップ 133

ご使用になる前に

この章は、次の 3 つのセクションで構成されています。

はじめに

この使用説明書の構成と、使用している記号について説明しています。

各部の名称と機能

カメラ各部の名称と機能について説明しています。

メニューガイド

液晶モニタに表示されるメニュー画面でカメラの設定内容を変更することができます。ここでは、撮影前や撮影および再生時のメニュー画面について説明しています。

はじめに

このたびはニコンデジタルカメラ COOLPIX5000 をお買い上げいただき、ありがとうございます。この使用説明書は、COOLPIX5000 で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この説明書をよくお読みの上、十分に理解してから正しくお使いください。

この使用説明書は、実際に操作をしながらカメラの使い方を自然にご理解いただくことを目的として、基本操作から応用操作へと順を追って次のように構成されています。

ご使用になる前に

この説明書について、カメラ各部の名称と機能、およびメニューガイドなどを紹介しています。

基本操作

デジタルカメラが初めての方でも、手軽に撮影・再生をお楽しみいただけるよう撮影前に必要な準備、基本的な撮影方法と確認方法について紹介しています。

用途に応じた撮影方法

プリントしたり、パソコンに転送して保存・加工したり、ホームページなどに使ったりするための画像を撮影する方法などを紹介しています。

各機能の詳細

カメラの操作ボタンによって行う撮影機能の操作やカメラのさまざまな撮影機能を設定する「撮影メニュー」について詳細に紹介しています。

カメラのセットアップ

カメラの基本的な設定や、コンパクトフラッシュカードのフォーマット、フォルダの操作などを行う「SET-UP メニュー」について紹介しています。

画像の再生

撮影した画像の基本的な再生方法や、再生に関する機能を設定する「再生メニュー」の操作方法、およびテレビ画面で画像を再生する方法について紹介しています。

接続

パソコンへの画像転送を行うアプリケーションソフトウェア・Nikon View 5 をパソコンにインストールするまでの方法と、画像の転送方法について紹介しています。

資料編

カメラの手入れ・保管方法、別売アクセサリー、警告表示や故障と思われる時の対処方法、主な仕様などについて紹介しています。

この説明書は、次の記号を使用しています。

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

カスタマーサポート

下記 URL のホームページで、サポート情報をご案内しています。
http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

COOLPIX5000 について

ここでは COOLPIX5000 の主な特長、機能について説明しています。

主な特長

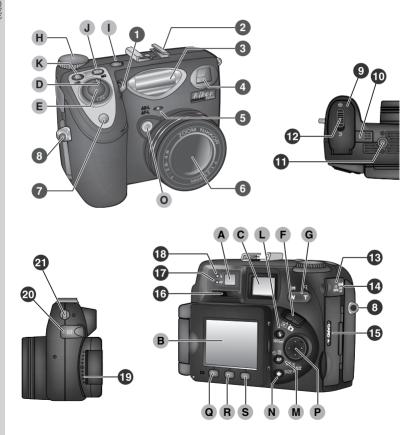
- 有効画素数 500 万画素。記録画素数が 2,560×1,920 画素と大きく、A3 サイズの印刷物で十分なクオリティを発揮できます。
- 短いレリーズタイムラグ、すばやいカメラ起動、オートフォーカス、ズーミングにより、一瞬のシャッターチャンスをとらえることができます。
- 最高 1/4000 秒の高速シャッタースピードを実現しています。
- 撮像素子からの生出力を、12bit のデータで保存できます（RAW 画像）。
- 独自の画像処理アルゴリズムにより細部の描写と鮮やかな色彩を再現します。
- 長時間露出時のノイズ除去モード、1,280×960 画素以下でのスムーズなカラーグラデーションを実現するクリアイメージモードを搭載しています。
- レンズは 7.1 ～ 21.4mm（35mm 判換算 28 ～ 85mm 相当）の 3 倍ズームニッコールで、3 枚の非球面レンズを採用しています。このレンズは画像の歪曲を極限まで除去します。
- 液晶モニタを開いて回転させることによって、自由なアングルでフレーミングが可能です。液晶モニタはコンパクトに収納できます。また、回転式なので、レンズと同方向に向けることができ、セルフポートレート撮影も簡単に行えます。
- マイクおよびスピーカーの搭載により、60 秒の音声付き動画撮影・再生ができます。

COOLPIX5000 には幅広い別売アクセサリーが用意されています。

● **バッテリーパック MB-E5000**

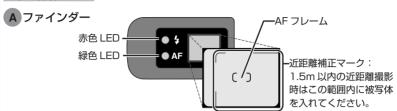
バッテリーパック MB-E5000 を使用すると、単 3 形アルカリ乾電池*6 本を使用して、より長時間の撮影が可能となります。また、縦位置シャッターボタンおよびズームボタンを装備し、縦位置での撮影に便利です（P.35）。

* リチウム電池、ニカド電池、ニッケル水素電池も使用できます。

● **外付けスピードライトおよびスピードライト関連アクセサリー**

ニコンスピードライトをカメラのアクセサリーシューに直接取り付けることができます。別売の調光コードを使用すれば 、カメラからスピードライトを離しての撮影も可能です（P.192）。

● **コンバータレンズ**

新設計 4.8mm（35mm 判換算 19mm 相当）のワイドコンバータを使用することができます。また、テレ、フィッシュアイなどの豊富なコンバータレンズやスライドコピーアダプタも使用することができます（P.191）。

各部の名称と機能

カメラ本体の名称や機能について紹介しています。詳しい説明は各部の名称の右側に記載しているページをご参照ください。

1 調光センサー……49
2 アクセサリーシュー……192
3 内蔵スピードライト……82
4 ファインダー……8
5 内蔵マイク……4
6 レンズ……4
7 セルフタイマー表示ランプ……81
8 ストラップ取り付け部……33
9 バッテリーカバー……34
10 バッテリーパック MB-E5000 用接点……35
11 三脚ネジ穴
12 バッテリーカバー開閉ノブ……34
13 デジタル端子（カバー下）……183
14 DC 入力端子（カバー下）
15 コンパクトフラッシュカードカバー……36
16 視度補正ノブ……45
17 緑色 LED……8
18 赤色 LED……8
19 スピーカー……4
20 オーディオビデオ出力端子（カバー下）……178
21 ストラップ取り付け部……33

A ファインダー……8
B 液晶モニタ……9
C 表示パネル……11
D 電源スイッチ……12
E シャッターボタン……12
F モードセレクター……12
G ズームボタン……13
H コマンドダイヤル……13
I FUNC.（FUNC.）ボタン……15
J MODE（露出モード）ボタン……15
K （露出補正）ボタン……15
L ／ISO（スピードライトモード／感度変更）ボタン……16
M AF／MF／／（フォーカスモード／マニュアルフォーカス／セルフタイマー／削除）ボタン……16
N ／SIZE（画質モード／画像サイズ）ボタン……17
O AE-L/AF-L ボタン……17
P マルチセレクター……18
Q MONITOR（）（モニタ）ボタン……18
R MENU（メニュー）ボタン……19
S QUICK（クイックレビュー）ボタン……19

表示と操作ボタン

A ファインダー

COOLPIX5000 はファインダーを使用する撮影と、液晶モニタを使用する撮影とが行えます。撮影の状況に応じて使い分けてください。被写体の距離が 1.5 m以内の近距離の場合は、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレが生じます。被写体の距離が近い場合は、ファインダー内の近距離補正マークを使用するか、または液晶モニタで構図を確認して撮影してください。

ファインダー横の赤色 LED と緑色 LED の状態は、次の通りです。

LED		意　味
赤色LED	点灯	スピードライトの充電が完了です。いつでもスピードライト撮影ができます。
	点滅	スピードライトが充電中です（P.84）。シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。
	消灯	被写体が明るいか、スピードライトが発光禁止になっているため、発光しません。
緑色（AF）LED	点灯	被写体にピントが合っています。
	高速点滅	AF フレーム内の被写体にピントを合わせることができません。AF ロック撮影（P.51）を行うか、マニュアルフォーカス（P.98）でピントを合わせてください。
	中速点滅	撮影した画像をコンパクトフラッシュカードに記録しています。コンパクトフラッシュカードを抜いたり、カメラの電源スイッチを OFF にセットしたりしないでください。
	低速点滅	電子ズーム（P.70）が作動しているか、画像サイズが 3：2（P.74）にセットされています。液晶モニタで構図を確認してください。

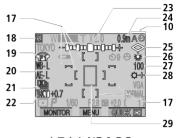
B 液晶モニタ

液晶モニタには、画像やカメラの設定内容に関する情報が表示されます。
レビュー再生時（☞ P.55）／簡易再生モード時（☞ P.56）／再生モード時（☞ P.158）には、撮影した画像を液晶モニタで確認できます。

液晶モニタを使用する場合は、右図のように開いてください。

液晶モニタをカメラ本体から開いた状態では、右図のように 270 度回転させることができますので、カメラのアングルを変えても撮影画面を確認することができます。レンズと同じ方向を向くように回転させることもできますので、腕を伸ばしてのセルフポートレート撮影などが簡単に行えます。液晶モニタがレンズと同方向を向いている場合は、液晶モニタの画像は左右逆になります。

カメラ本体に折りたたんだ状態で、液晶モニタを使用した撮影や再生が行えます。

液晶モニタを使用しない時は、折りたたんでカメラ本体に収納してください。

液晶モニタ使用上のご注意

液晶モニタをカメラ本体から開いた状態では、液晶モニタは回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラ本体と接続しているヒンジ部の破損の原因となります。

（撮影モード）時の液晶モニタの表示は次の通りです。

カスタム NO.A

カスタム NO.1,2,3

＊ 時計マークは日時設定されていない場合に点滅表示します。

C 表示パネル

表示パネルの表示は次の通りです。

1 感度変更（ISO 相当）マーク.............96

2 ホワイトバランス表示（FUNC. [FUNC.] ボタンにホワイトバランス設定時）.......... 149

3 バッテリーチェック表示.....................39

4 画質モード表示 72

5 露出モード表示 89

6 シャッタースピード・絞り値表示（モードによって表示が変わります）
- シャッタースピード表示.................89
- 絞り値表示..89
- 露出補正値表示 85
- マニュアルフォーカス距離表示 98
- 感度表示..96
- ホワイトバランス表示.................. 149
- 通信状態表示 183

7 連写モード表示 108

8 露出補正マーク 85

9 撮影可能コマ数表示............................44
露出状態表示 94

10 スピードライトモード表示.................82

11 測光方式表示 105

12 セルフタイマー／フォーカスモード表示 76

各部の名称と機能

D 電源スイッチ

カメラの電源の ON/OFF を切り換えます。
電源スイッチを ON にセットすると、操作音が一回鳴り、表示パネルと液晶モニタ（点灯時のみ）に表示が点灯します。

E シャッターボタン

シャッターボタンの操作には 2 段階あります。

シャッターボタンを軽く押して途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しするとピントと露出が決まります（1）。被写体にピントが合うとファインダー横の緑色 LED が点灯します。半押し中はピントと露出が固定されます。

シャッターボタンを半押しした状態からさらに深く押し込むと、シャッターがきれ、撮影を行います（2）。

F モードセレクター

撮影モードと再生モードを切り換えます。
撮影する場合には、📷（撮影モード）にセットします（P.43）。撮影した画像を再生する場合には、▶（再生モード）にセットします（P.158）。

G ズームボタン

構図を決める時に使います。ズームボタンの W（広角側）を押すと被写体がズームアウトし、撮影できる範囲が広くなります。ズームボタンの T（望遠側）を押すと、被写体がズームインし、小さな被写体や遠くの被写体を大きくとらえることができます。
簡易再生モード時（P.56）または 1 コマ再生モード時（P.158）に T（ズーム）ボタンを押すと､拡大表示モード（P.57、161）になり、W（ズーム）ボタンを押すとサムネイルモード（P.58、160）になります。また、動画再生時（P.164）には音声の大きさを変えることができます。

H コマンドダイヤル

コマンドダイヤルを使用すると、撮影メニュー項目の選択、撮影情報表示画面の切り換え、簡易再生モード･1 コマ再生モード時のサムネイル画像のページ送り、カスタム設定時のシャッタースピードや絞りのセットなどが行えます。
（撮影モード）時には、MODE（露出モード）ボタン、（露出補正）ボタン、（スピードライトモード）ボタン、AF（フォーカスモード）ボタン、（画質モード／画像サイズ）ボタンと組み合わせて下表のような操作を行えます。このうちいくつかは、カスタム NO.1、2 または 3 設定時のみ有効な操作もあります。

セット内容	操　作	機　能	
モード（カスタム NO.1,2,3)	MODE +	露出モードをセットします。	89
露出モードが P に設定（カスタム NO.1,2,3)		シャッタースピードと絞り値の組み合わせをセットします。	91
露出モードが S に設定（カスタム NO.1,2,3)		シャッタースピードをセットします。	92
露出モードが A に設定（カスタム NO.1,2,3)		絞り値をセットします。	93

セット内容	操作	機能	参照
露出モードがMにセット（カスタム NO.1,2,3）	ダイヤル	シャッタースピードと絞り値をセットします。	94
モード	±+ダイヤル	露出補正値をセットします。	85
モード（カスタム NO.1,2,3）	ISO+ダイヤル	感度（ISO相当）をセットします。	96
モード（カスタム NO.1,2,3）	MF+ダイヤル	マニュアルフォーカスの距離をセットします。	98
モード	SIZE+ダイヤル	画像サイズをセットします。	74
撮影メニューの項目の横に►が表示されている時	ダイヤル	サブメニューをセットします。	23
簡易再生時 1 コマ再生モード時	ダイヤル	撮影情報表示画面を切り換えます。	57 162
サムネイルレビュー時 サムネイルモード時	ダイヤル	前ページまたは次ページのサムネイル画像を表示します。	58 160

カスタム NO.（P.88）

カスタム NO.A は全てカメラまかせのフルオートモードです。カスタム NO.1、2 または 3 には好みのセット内容を記憶させていつでも呼び出すことができます。

I FUNC.（FUNC.）ボタン

初期設定の状態では、FUNC.（FUNC.）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してカスタム NO. をセットします。
カスタム NO.1、2 または 3 がセットされている場合、SET-UP メニューの「ボタン設定」（P.148）により、FUNC.（FUNC.）ボタンに割り当てる機能を選択することができます。選択された機能により、FUNC.（FUNC.）ボタンとコマンドダイヤルを使用して、メニュー操作を行うことなくホワイトバランスや測光方式をセットしたり、カメラ背面の AF（フォーカスモード）ボタンや、⚡（スピードライトモード）ボタンの機能を割り当てて使用することができます。

J MODE（露出モード）ボタン

📷（撮影モード）時にカスタム NO.1、2 または 3 がセットされている場合、MODE（露出モード）ボタンとコマンドダイヤルの操作により露出モードをセットします（P.89）。
カスタム NO. が A にセットされている場合は、露出モードは自動的にプログラムオート（P）にセットされ、MODE（露出モード）ボタンは機能しません。

K ☒（露出補正）ボタン

📷（撮影モード）時、☒（露出補正）ボタンとコマンドダイヤルの操作で露出補正値をセットします（P.85）。

各部の名称と機能

L ⚡／ISO（スピードライトモード／感度変更）ボタン

📷（撮影モード）時はスピードライトモードのセットをする場合に使用します。カスタム NO.1、2 または 3 がセットされている場合は、このボタンとコマンドダイヤルで感度変更（ISO 相当）をセットします。

セット内容	操　作	機　能	ボタン	👁
📷 モード	⚡	スピードライトモードのセット	⚡	82
📷 モード（カスタム NO.1,2,3）	ISO + コマンドダイヤル	感度変更（ISO 相当）	⚡ ISO	96

M AF／MF／セルフタイマー／削除（フォーカスモード／マニュアルフォーカス／セルフタイマー／削除）ボタン

📷（撮影モード）時は、フォーカスモードとセルフタイマーをセットする場合に使用します。
カスタム NO.1、2 または 3 がセットされている場合は、このボタンとコマンドダイヤルの操作によって、マニュアルフォーカスの距離をセットします。簡易再生モード、1 コマ再生モードおよびサムネイルモード時は、このボタンの操作により画像を 1 コマずつ削除します。

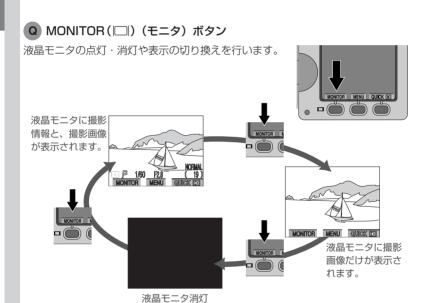
セット内容	操　作	機　能	ボタン	👁
📷 モード	AF	フォーカスモード、セルフタイマーのセット	AF（セルフタイマー）	76–81
📷 モード（カスタム NO.1,2,3）	MF+ コマンドダイヤル	マニュアルフォーカス	MF（AF）	98
簡易再生モード 1 コマ再生モード	削除	表示画像の削除	削除（AF）	56 158
サムネイルレビューモード サムネイルモード	削除	選択画像の削除	削除（AF）	58 160

N ⬥/ SIZE（画質モード／画像サイズ）ボタン

画質モードと画像サイズをセットする場合に使用します。

セット内容	操 作	機 能	ボタン	
モード	⬥	画質モードのセット	⬥	72
	SIZE +	画像サイズのセット	SIZE (⬥)	74

O AE-L/AF-L ボタン

被写体にピントが合った状態で AE-L/AF-L ボタンを押すとフォーカス（P.79）と露出値（P.106）がロックされます。シャッターボタンから指を離しても、このボタンを押し続けている間はフォーカスと露出値がロックされ続けます。

AE-L/AF-L ボタン

初期設定では、オートフォーカスでピントが合っている状態で AE-L/AF-L ボタンを押すと、フォーカス（AF）と露出値（AE）の両方がロックされます。カスタム NO.1、2 または 3 設定時に は、SET-UP メニューの「ボタン設定> AE-L,AF-L」(P.150）で AE-L/AF-L ボタンを押すとフォーカスまたは露出値の片方のみをロックする設定に変更できます。な お、AE-L/AF-L ボタンの設定にかかわらず、シャッターボタンを半押しすると、フォーカスと露出値の両方がロックされます。

P マルチセレクター

メニュー画面での項目の選択や、ページの切り換えなどを行います。また、レビュー再生／簡易再生モードや 1 コマ再生モード時のページ送り、サムネイルレビュー／サムネイルモードでの画像選択も行えます。

Q MONITOR（▭）（モニタ）ボタン

液晶モニタの点灯・消灯や表示の切り換えを行います。

液晶モニタに撮影情報と、撮影画像が表示されます。

液晶モニタに撮影画像だけが表示されます。

液晶モニタ消灯

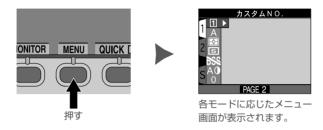
R MENU（メニュー）ボタン

MENU（メニュー）ボタンにより、撮影条件やカメラの設定内容などを変更するためのメニュー項目が表示されます。メニュー画面が 2 ページ以上ある場合は、MENU（メニュー）ボタンをもう 1 度押すことにより次ページを表示させます。最終ページが表示された状態で MENU（メニュー）ボタンを押すとメニュー画面の表示が終了します。

S QUICK▶（クイックレビュー）ボタン

（撮影モード）で QUICK▶（クイックレビュー）ボタンを押すと、最後に撮影した画像と表示画像番号が液晶モニタの左上の部分に縮小表示されます。

MONITOR（|□|）、MENU、QUICK▶ボタンについて

3 つのボタンは、液晶モニタの上に位置する時は、左から右へQUICK▶（クイックレビュー）ボタン、MENU(メニュー）ボタン、MONITOR（|□|）（モニタ）ボタンという配置になります。下に位置する場合は、左から右へ MONITOR（|□|）（モニタ）ボタン、MENU(メニュー）ボタン、QUICK▶（クイックレビュー）ボタンという配置になります。液晶モニタ点灯時には、それぞれのボタン名が液晶モニタ上に表示されます。液晶モニタ消灯時には、MONITOR（|□|）（モニタ）ボタンを押すと、液晶モニタが点灯します。

メニューガイド

液晶モニタに表示されるメニュー画面でカメラの設定を変更することができます。変更できる機能はモードにより異なります。

モード	メニュー	内 容	
撮影モード / 再生モード	SET-UP メニュー	SET-UP メニューではカメラの基本的な設定が行えます（カードフォーマット、日時設定など）。設定できる項目は、（撮影モード）と（再生モード）で異なります。カスタム No.1、2 または 3 がセットされている場合は、撮影メニュー画面から撮影SET-UP メニュー画面を表示させて、カメラの各設定を行います。再生 SET-UP メニューでは、テレビ再生時のビデオモードの設定や言語の選択などが行えます。	134—156
撮影モード（カスタム NO.1,2,3）	撮影メニュー	ホワイトバランスや測光方式など、撮影に関するより応用的な機能の設定が行えます。カスタム NO.1、2 または 3 がセットされている場合のみ設定が可能です。	100—131
再生モード	再生メニュー	画像の削除、プリント指定、パソコンへの転送など、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像データに関する設定が行えます。また、画像を自動的に順次再生するスライドショーの設定も行えます。	165—177

メニュー画面を表示するには

カメラの電源スイッチを ON にセットした状態で MENU（メニュー）ボタンを押すと、モードに応じたメニュー画面が表示されます。

各モードに応じたメニュー画面が表示されます。

メニューを選択・決定する

マルチセレクターでメニュー項目の選択、設定・決定を行います。

1

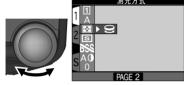
マルチセレクターを操作して、セットしたいメニュー項目を選択します。

2

選択したメニュー項目の詳細（サブメニュー）を表示させます。

3

セットしたいサブメニューを選択します。

4

選択したサブメニューを決定します（決定されたサブメニューの機能がセットされます）。

- １つ前のメニュー画面に戻るには、マルチセレクターの左 ◁ を押します。
- サブメニューにいくつかの選択肢がある場合は、ステップ３～４を繰り返してサブメニューからセットしたい機能を選択・決定します。

コマンドダイヤルを使用してセットする

撮影メニューの項目の横に ⊖ アイコンが表示されている場合は、項目の選択がメインメニュー画面からコマンドダイヤルで行えることを示しています。現在選択されている項目を示すアイコンは、メインメニュー画面上に表示されています。

1

コマンドダイヤルを回します。

2

選択したい項目のアイコンが表示されるまで回します。

メニュー画面を終了するには

メニュー画面を終了して撮影モードまたは再生モードに戻るには、MENU（メニュー）ボタンを押します。**PAGE 2** が画面の下に表示されている場合 は、MENU（メニュー）ボタンを押すことにより、次ページのメニュー画面が表示されます。**MENU OFF** が表示されている場合は MENU（メニュー）ボタンを押すことにより撮影モードまたは再生モードに戻ります。

メニュー画面が表示されている時に撮影を行うには

（撮影モード）時に、メニューの設定を行っている場合でも、シャッターボタンを半押しすると撮影画面に切り換わり、すぐに撮影できます。撮影後は再びメニュー画面に戻ります。

メニュー画面が 2 ページ以上ある場合

メニュー画面のページを切り換える場合や、撮影メニュー画面または再生メニュー画面から SET-UP メニュー画面に切り換える場合は次のようにします。

1

メインメニュー画面を表示させます。

2

マルチセレクターを操作して、ページのタブを選択します（メニュー画面左側の「1」のタブが赤く表示されます。

3

セットしたいメニューのページ番号または SET-UP メニューを表す「S」を選択します。

4

選択したメニュー画面を表示します。

- メニュー画面のページの切り換えは、マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して画面をスクロールさせて行うこともできます。**PAGE 2** が画面の下に表示されている場合は MENU（メニュー）ボタンを押すことにより、メニュー画面の 2 ページ目を表示させることができます。**MENU OFF** が表示されている場合は、MENU（メニュー）ボタンを押すことにより撮影モードまたは再生モードに戻ります。

撮影メニュー画面を表示させる

撮影メニュー画面は、カスタム NO.1、2 または 3 がセットされている場合のみ表示させることができます。SET-UP メニューでカスタム NO.A がセットされている場合は次のようにして、カスタム NO.1、2 または 3 にセットします。

1

MENU(メニュー)ボタンを押して、SET-UP メニュー画面を表示させます。

2

マルチセレクターを操作して、カスタム NO. を選択します。

3

カスタム NO.1、2 または 3 を選択します。

4

選択したカスタム NO.1、2 または 3 の撮影メニュー画面が表示されます。

- カスタム NO.1、2 または 3 のそれぞれに、メニューの機能の組み合わせを記憶させることができます。頻繁に使用する機能や、撮影状況に応じた機能の組み合わせがあれば、カスタム NO.1、2 または 3 を選び、その組み合わせをカメラに設定すると、その機能の組み合わせが記憶されます。設定されたカスタム NO. を再度選択すると、その組み合わせを呼び出すことができます。
- カスタム NO.A(オート撮影)の SET-UP メニュー画面に戻るには、カスタム NO. を選択してマルチセレクターで A のアイコンを選択します(P.47)

FUNC.(FUNC.)ボタン(P.149)

初期設定では、FUNC.(FUNC.)ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより撮影メニュー画面を表示しなくてもカスタムＮＯ. を変更することができます。FUNC.(FUNC.)ボタンが押されている間は、液晶モニタの左上および表示パネルのシャッタースピード/絞り値表示部に、現在設定されているカスタムＮＯ. が表示されます。カスタム NO.1、2 または 3 設定時には、液晶モニタの左上にカスタム NO. が常に表示されます。

メニュー一覧

撮影メニュー1

撮影メニューは2ページで構成され、撮影に関する応用的な機能の設定を行います。これらの機能は、カスタムNO.1、2または3の場合に設定可能です。

カスタムNO.

カスタムNO.Aを選択すると、カメラまかせのオート撮影が行えます。撮影者の意図を反映させる場合にはカスタムNO.1、2または3を選択します。

88

ホワイトバランス

正確な色再現のため、光源に応じたホワイトバランスをセットします。

102—104

測光方式

測光方式を選択します。

105—107

連写

単写、連写H、連写L、マルチ連写、高速連写、UH連写、動画の選択を行います。

108—111

BSS

BSS（ベストショットセレクタ：手ブレの影響が最も少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。

112—113

階調補正

プリンター出力やパソコンでのレタッチのため、画像のコントラストと明るさを変化させます。

114

彩度調整

画像の鮮やかさの調整や、モノクロ画像の撮影を設定します。

115

撮影メニュー 2

コンバータ

各種コンバータを使用する場合に適したカメラの設定を行います。

116—117

露出制御

露出固定、BULB 時間制限の設定を行います。

118—119

フォーカス

AF エリアの選択、AF モードの選択、ピーキングなどを行います。

120—122

輪郭強調

撮影した画像の輪郭の強調度合を変化させます。

123

ブラケティング

露出またはホワイトバランスをずらした撮影をカメラが自動的に行います。

124—127

ノイズ除去

デジタル画像特有のノイズを軽減することができます。

128—129

ユーザー設定クリア

カスタム NO. でセットした設定をクリアします。

130—131

SET-UP メニュー

選択できる項目はセットされている操作モード、カスタム NO. によって異なります。

カスタム NO.

カスタム NO.A

カスタム NO.A を選択すると、カメラまかせのオート撮影が行えます。撮影者の意図を反映させる場合にはカスタム NO.1、2 または 3 を選択します。

134—136

フォルダ設定

カスタム NO.A,1,2,3

撮影に使用するフォルダの選択、新規作成、名称変更、削除などのフォルダ操作を行います。

137—141

モニタ設定

カスタム NO.1,2,3 ／ ▶

液晶モニタの点灯・消灯、撮影後に画像を表示させるレビューの設定、レリーズ応答速度、および画面の明るさと色合いの調整を行います。

146—147

ボタン設定

カスタム NO.1,2,3

カメラの電源スイッチを OFF にセットした時の操作ボタンのセット内容の記憶、および FUNC. (FUNC.) ボタン、AE-L/AF-L ボタンの機能をセットします。

148—150

ズーム

カスタム NO.1,2,3

電子ズームの ON/OFF 、ズーム時の F 値保持をセットします。

151

パワーオフ設定

全モード

液晶モニタのオートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。

143

連番モード

カスタム NO.A,1,2,3

画像のファイル名に連続する通し番号を自動的に付けます。

144—145

カードフォーマット

全モード

コンパクトフラッシュカードを COOLPIX5000 で使用するためのフォーマットを行います。

144

スピードライト

カスタム NO.1,2,3

発光量補正、発光切替、撮影確認発光をセットできます。

152—153

操作音

全モード

シャッターレリーズなどのカメラの操作状況や、状態を知らせる操作音の ON/OFF がセットできます。

142

日時設定

全モード

日付と時刻をセットします。

145

info.txt

カスタム NO.1,2,3

撮影情報をテキストファイルとして保存します。

154

ビデオモード

▶

ビデオ信号の出力方式を NTSC または PAL にセットできます。

154

インターフェース

カスタム NO.1,2,3

ビデオ出力方式や USB 通信方式を選択します。

155

言語

カスタム NO.1,2,3 ／ ▶

液晶モニタの表示やメニューに表示する言語を選択します。

156

削除禁止

カスタム NO.1,2,3

誤って画像を削除しないよう、削除機能およびカードフォーマット機能を禁止します。

156

再生メニュー

画像の削除、カードに記録された画像の処理、スライドショーでの画像再生などを行います。

削除

選択画像削除、全画像削除、プリント指定解除、転送設定解除などの操作を行います。

166—168

フォルダ設定

再生するフォルダの選択と、新規作成、名称変更、削除などのフォルダ操作を行います。

169

スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います。

170—171

プロテクト設定

記録されている画像を不用意に削除しないようにプロテクト設定することができます。

172

非表示設定

再生画面で画像を表示しないように設定することができます。

173

プリント指定

DPOF対応のプリンタでプリントするための画像を指定します。

174—175

転送画像設定

パソコンに転送する画像を選択・設定することができます。

176—177

この章は、次の 3 つのセクションで構成されています。

撮影前の準備

撮影前の準備をステップごとに説明しています。

簡単な撮影

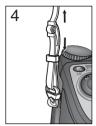
基本的な撮影方法をステップごとに説明しています。

再生（レビュー再生／簡易再生）と削除

撮影中に画像を簡単に再生したり削除したりする方法を説明しています。

撮影前の準備

撮影前の準備を行います。各ステップの詳細については、それぞれの参照ページをご覧ください。

	ステップ	参照
ステップ1	ストラップを取り付けます	33
ステップ2	バッテリーを入れます	34–35
ステップ3	コンパクトフラッシュカードを入れます （コンパクトフラッシュカードのフォーマットについて）	36–38
ステップ4	バッテリーの容量を確認します	39
ステップ5	日付と時刻をセットします	40–41

ステップ 1：ストラップを取り付けます

カメラの落下を防止するため、図のようにストラップを取り付け、使用してください。

レンズキャップについて

レンズキャップの取りはずし・取り付けは、レンズキャップ装着レバーを押し込んで行ってください（イラスト①）。レンズキャップの紛失を防止するため、付属のひもをレンズキャップの穴に通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします（イラスト②）。

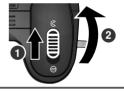
レンズキャップ装着時のご注意

レンズキャップが装着されたまま電源スイッチを ON にセットすると液晶モニタにエラーメッセージが表示されます。メッセージを解除するには、カメラの電源スイッチを OFF にセットしてレンズキャップを取りはずしてください。

ステップ 2：バッテリーを入れます

このカメラに付属している専用 Li-ion リチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL1 、または市販の 6V リチウム電池（2CR5）を 1 本使用します。

2.1 バッテリーを充電します。

付属の EN-EL1 はフル充電されていませんので、付属のバッテリーチャージャーを使用して充電を行ってください。充電の方法についてはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。

2.2 カメラの電源スイッチを OFF にセットします。

三脚をご使用の場合は、次の手順に進む前にカメラを三脚から取りはずしてください。

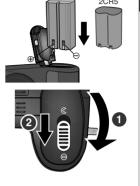
2.3 バッテリーカバーを開けます。

バッテリーカバー開閉ノブを ☇ 側にスライドさせて（❶）、バッテリーカバーを開けます（❷）。

バッテリーに関する注意書きをお読みください

本説明書のバッテリーに関する注意書きや、バッテリーの説明書などもよくお読みの上、正しくご使用ください。

時計用のバックアップ電池について

COOLPIX5000 の時計（日付・時刻）用の電池は、カメラに付属の専用リチャージャブルバッテリー EN-EL1 とは別に、カメラに内蔵されています。カメラにバッテリーを入れるか、別売の専用ACアダプタを使用して家庭用電源に接続すると、時計用電池の充電を開始します。この状態で10 時間継続すると、カメラのバッテリーを取り出したり、AC アダプタをはずしても記憶された日時は約 3 日間保持されます。長時間カメラにバッテリーが入っていない場合は、記憶された日時データは失われますので、再度日時を設定してください。

- 充電が不十分な場合は、一度セットした日時データは失われることがあります。
- 日時データが失われた場合は、液晶モニタに時計マークが点滅します。

2.4 バッテリーを入れます。

リチャージャブルバッテリー EN-EL1 を右の図のようにカメラの中に入れます。バッテリーの向きに注意して挿入してください。6V リチウム電池（2CR5）をご使用になる場合も、EN-EL1 同様の向きにして挿入してください。

2.5 バッテリーカバーを閉じます。

バッテリカバーを閉じて（❶）、バッテリーカバー開閉ノブを ⊜ 側にスライドさせます（❷）。カメラの操作中にバッテリーが外れてしまわないよう、カバーがしっかりと閉じていることをご確認ください。バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。

バッテリー挿入時のご注意

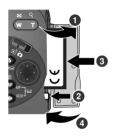
カメラにはじめてバッテリーを入れる場合、およびカメラを長期間使用しなかった後にバッテリーを入れる場合は、カメラの電源スイッチが OFF になっていても、カメラの初期化を行うためにいったんレンズが繰り出します。この時、レンズキャップが装着されていると液晶モニタにエラーメッセージが表示されますが、レンズキャップを取りはずして電源スイッチを ON にすると通常の状態となります。

バッテリーの取りはずしについて

バッテリーを取りはずしても、コンパクトフラッシュカードに記録された画像に影響はありませんが、日時と言語以外の設定は全てリセットされます。

使用できるその他の電池および電源について

COOLPIX5000の電源には、市販の 2CR5 リチウム電池を使用することもできます（2CR5 リチウム電池は充電できません）が、カメラに付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL1 のご使用をおすすめしま す。EN-EL1 は、COOLPIX5000、995、885、880、775 デジタルカメラ専用のバッテリーで、別売の AC アダプタ／バッテリーチャージャー EH-21 で充電することができます。再生など長時間使用する場合には、EH-21をAC アダプタとして使用することをおすすめします。また、別売のバッテリーパッ ク MB-E5000 を使用すると、単 3 形のアルカリ乾電池、リチウム電池、ニカド電池またはニッケル水素電池 6 本を使用してカメラに長時間電源を供給することができま す。MB-E5000 にはシャッターボタンとズームボタンが装備されているので、縦位置での撮影にも便利です。詳細については、MB-E5000 の使用説明書をご覧ください。

ステップ 3：コンパクトフラッシュカードを入れます。

COOLPIX5000 はコンパクトフラッシュカードに画像や撮影データを記録します。ここではコンパクトフラッシュカードをカメラに装着する方法について説明します。

3.1 カメラの電源スイッチを OFF にセットします。

3.2 コンパクトフラッシュカードを入れます。

コンパクトフラッシュカードカバーを開けて（❶）イジェクトレバーが押し込まれていることを確認します（❷）。コンパクトフラッシュカードのラベル面の▲印をカメラの前側に向けて差し込み、コンパクトフラッシュカードを矢印方向にしっかりと止まるまで挿入し（❸）、コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます（❹）。

コンパクトフラッシュカードを入れる時のご注意

イジェクトレバーが上がったまま、コンパクトフラッシュカードカバーを閉じると、カードが少しイジェクトされるため、カメラの電源スイッチを ON にセットした時にエラーの原因となります。コンパクトフラッシュカードを装着する時は、必ずイジェクトレバーが押し込まれていることを確認してください。また、コンパクトフラッシュカードを装着する時は、カードの向きに注意して差し込んでください。向きを間違えて装着すると、カメラおよびコンパクトフラッシュカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。

コンパクトフラッシュカードを取り出す時は

コンパクトフラッシュカードを取り出す時は、必ずカメラの電源スイッチを OFF にセットしてください。コンパクトフラッシュカードカバーを開け、イジェクトレバーを押すとレバーが少し飛び出します。イジェクトレバーをもう一度押し込むと（❶）、カードが少し出てきます（❷）。指でつまんでカードを取り出してください。

コンパクトフラッシュカードのフォーマットについて

初めてコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX5000に使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードを使用できる状態にする必要があります（この作業を「フォーマット」といいます）。なお、付属のコンパクトフラッシュカードはフォーマット済みです。

A

モードセレクターを ▶（再生モード）に合わせて、電源スイッチを ON にセットします。

B

MENU（メニュー）ボタンを押します。再生メニュー画面が表示されます。

C

マルチセレクターの左 ◁ を押して、ページタブを選択します。

D

SET-UP メニューのページタブ「S」を選択します。

E

SET-UP メニュー画面を表示させせます。

F

「カードフォーマット」を選択します。

マルチセレクターの右▷を押して「カードフォーマット」の画面に切り換えます。

「フォーマットする」を選択します（カードフォーマットを行わない場合は、MENU（メニュー）ボタンを押すか、「いいえ」を選択してからマルチセレクターの右▷を押します）。

マルチセレクターの右▷を押すとすぐに、カードフォーマットが開始され、イラストのようなメッセージ画面が表示されます。

カードフォーマット中のご注意

「カードフォーマット中」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、電源スイッチを OFF にセットしたり、コンパクトフラッシュカードを取り出したりしないでください。

フォーマットの前に

カードをフォーマットすると、カード内のデータは全て消去されます。フォーマットする前に保存したい画像をコンピュータに転送することをおすすめします (P.180) 。

SET-UP メニューの「カードフォーマット」について

SET-UP メニュー「カードフォーマット」の項目は、撮影モード時にも選択できます。(P.144)

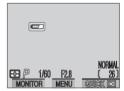
参照

P.192　使用できるコンパクトフラッシュカード

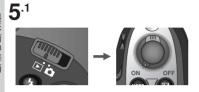
ステップ 4：バッテリーの容量を確認します。

撮影する前に液晶モニタのバッテリーチェック表示を確認します。

4.1 モードセレクターを（撮影モード）に合わせ、カメラの電源スイッチを ON にセットします。

4.2 表示パネルまたは液晶モニタでバッテリーチェック表示を確認します。

バッテリーの容量は表示パネル上のバッテリーチェック表示で確認できます。バッテリーの容量が少なくなった場合は、液晶モニタ上にもバッテリーチェック表示が表れます。
表示パネルに が表示されている場合は、バッテリーの容量は十分です。

表示パネルや液晶モニタ上に が表示されている場合は、バッテリーの容量が少なくなっています。充電するか、新しいバッテリーと交換することをおすすめします。

表示パネルや液晶モニタ上に が点滅表示されている場合は、バッテリーの容量が少なくなっています。充電するか新しいバッテリーと交換しない限り撮影が行えません。

カメラの電源スイッチを ON にセットする前に

モードセレクターが （撮影モード）にセットされている場合、レンズキャップが装着されたまま電源スイッチを ON にセットすると液晶モニタにエラーメッセージが表示されます。メッセージを解除するには、カメラの電源スイッチを OFF にセットしてレンズキャップを取りはずしてください。

ステップ 5：日付と時刻を設定します

ご購入時は時計の日付と時刻が設定されていません。
初めてご使用になる時は、以下の手順にしたがって日時の設定を行ってください。
撮影した画像と動画に設定された日付と時刻が撮影日時情報として記録されます。

5.1

モードセレクターを ▶（再生モード）に合わせて、電源スイッチを ON にセットします。

5.2

MENU（メニュー）ボタンを押します。
再生メニュー画面が表示されます。

5.3

ページタブを選択します。

5.4

「S」のタブを選択します。

5.5

マルチセレクターの右 ▷ を押すと、SET-UP メニュー項目を選択できるようになります。

5.6

日時設定を選択します。

5.7

日付の設定画面が表示されます。

5.8

設定する項目（年、月、日、時間、分）を選択します（選択された項目は赤く表示され点滅します）。

5.9

選択された項目の数字を設定します。手順5.8と5.9を繰り返して、現在の日付・時刻に合わせます。

5.10

「年月日」が赤く表示されます。

5.11

「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

5.12

マルチセレクターの右▷を押すと、日付と時刻がセットされ、SET-UPメニュー画面に戻ります。

日付と時刻が設定されていない場合、撮影モード時に液晶モニタの右上に時計マークが点滅し、撮影した画像の撮影日時情報は0000.00.00 00：00と記録されます。

簡単な撮影

ここでは、カスタム NO. A（オート撮影）が設定されている場合の撮影の基本手順を説明します。測光、ピント合わせなど各機能の設定が自動的に行われるので、ほとんどの撮影に対応してきれいな写真を撮ることができます。

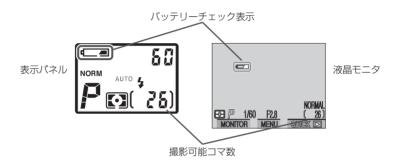
	ステップ	👁
ステップ1	撮影を始める前に	43–45
ステップ2	カメラの設定内容を確認します	46–47
ステップ3	構図を決めます	48–49
ステップ4	ピントを合わせて撮影を行います	50–51
ステップ5	撮影した画像を確認します	52–53
ステップ6	撮影を終了します	53

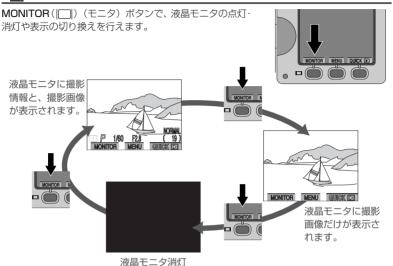
ステップ 1：撮影を始める前に

撮影を始める前に、次の手順を行ってください。

1.1 レンズキャップを取りはずします。

モードセレクターが 📷（撮影モード）にセットされている場合、レンズキャップが装着されたまま電源スイッチを ON にセットすると液晶モニタにエラーメッセージが表示されます。メッセージを解除するには、カメラの電源スイッチを OFF にセットしてレンズキャップを取りはずしてください。

1.2 モードセレクターを 📷（撮影モード）にセットします。

1.3 カメラの電源スイッチをONにセットします。

操作音が一度鳴り、現在の設定内容が表示パネルと液晶モニタに表示されます。液晶モニタには撮影画面も表示されます。

1.4 表示パネルと液晶モニタの表示を確認します。

撮影前に、バッテリー容量と撮影可能コマ数を確認します。バッテリーチェック表示 ( ) が表示パネルと液晶モニタに点灯表示した場合は、バッテリー容量が十分ではありません。早めにバッテリーを充電または交換してください。バッテリーチェック表示が点滅表示した場合は、バッテリーが消耗していて撮影が行えません。バッテリーを充電または交換してください (P.34) 。

撮影可能コマ数も表示パネルと液晶モニタ上に表示されます。この数字が 0 になった場合は、新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、記録されている画像を削除してください (P.166) 。画質モードや画像サイズを変更することによって、撮影可能な状態になる場合があります (P.71) 。

液晶モニタの表示について

MONITOR（|□|）（モニタ）ボタンで、液晶モニタの点灯・消灯や表示の切り換えを行えます。

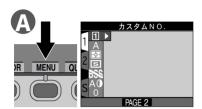
視度補正について

被写体にピントが合っているにもかかわらずファインダー内がはっきり見えない場合は、以下の手順で視度補正ノブで調節してください：
液晶モニタを開き、（A）カメラを構えてファインダーの中をのぞきます（B）。視度補正ノブを AF フレームが最もはっきり見える位置に動かします（C）。

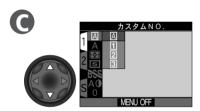
視度補正ノブ使用時のご注意

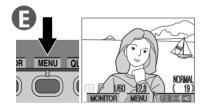
ファインダーをのぞきながら視度補正ノブを操作する時は、誤って指で目を傷つけないようにご注意ください。

基本操作 — 簡単な撮影

ステップ 2：カメラの設定内容を確認します

カスタム NO.A（オート撮影）の場合、（スピードライトモード）ボタン、AF（フォーカスモード）ボタン、（画質モード）ボタンおよび（露出補正）ボタンにより下表の操作が行えます。ご購入後にカメラを初めてご使用になる場合、カメラのこれらの機能は下表のように設定されています（この状態を「初期設定」といいます）。この「簡単な撮影」の章では、ほとんどの場合、簡単に撮影が行えるよう、初期設定の状態で操作手順を説明しています。これらを初期設定から変更したい場合は、参照ページをご覧ください。

カメラの機能	初期設定	内　容	操作ボタン	
スピードライトモード	自動発光	被写体が暗い時にスピードライトが自動的に発光します。		82—84
フォーカスモード／セルフタイマー	オートフォーカス	カメラとの距離が 50cm 以上の被写体に自動的にピントを合わせます。セルフタイマーをセットすることもできます。	AF ()	76—81
画質モード	NORMAL	画質とファイルサイズのバランスのよい、スナップ撮影に適した圧縮率で撮影します。		72—73
画像サイズ	FULL	2,560×1,920 ピクセルの画像が撮影されます。画質モードが NORMAL の場合、32MB のコンパクトフラッシュカードに約 26 枚の画像が記録できます。	SIZE () +	74—75
露出補正	±0	露出補正は行いません。	+	85—86

カスタム NO.A に戻すには

カスタム NO.1、2 または 3 にセットされた状態から、再びカスタム NO. を A に戻す場合は以下の手順で行います（カスタム NO.1、2 または 3 でセットした内容は保持されます）。

MENU（メニュー）ボタンを押して撮影メニュー画面を表示させます。

マルチセレクターを操作して、カスタム NO. を選択します。

カスタム NO.A を選択します。

カスタム NO.A の SET-UP メニュー画面が表示されます。

MENU（メニュー）ボタンを押して SET-UP メニューを終了させます。

FUNC.（FUNC.）ボタン（P.149）

初期設定では、FUNC.（FUNC.）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより撮影メニュー画面を表示しなくてもカスタムＮＯ. を変更することができます。FUNC.（FUNC.）ボタンが押されている間は、液晶モニタの左上および表示パネルのシャッタースピード／絞り値表示部に、現在設定されているカスタムＮＯ. が表示されます。カスタム NO.1、2 または 3 設定時には、液晶モニタの左上にカスタム NO. が常に表示されます。

基本操作 ― 簡単な撮影

ステップ 3：構図を決めます

カメラを構えて構図を決めます。

3.1 カメラを構えます。

手ブレを防ぐためカメラは両手でしっかりと持ってください。構図を決めるのは液晶モニタを見ながら（A）でも、ファインダーをのぞきながら（B）でもどちらでも行えます。

グリップ部には、調光センサーの指がかりを防ぐための突起があります。突起の上に指を置かないでください。

3.2 構図を決めます。

ズームボタンを押して構図を決めます。ズームボタンの W を押すと、カメラはズームアウト（広角側にズーミング）して撮影範囲が広くなります。ズームボタンの T を押すと、カメラはズームイン（望遠側にズーミング）し、被写体を大きく写すことができます。

最もT側（広角側）にした状態でさらにズームボタンの T を2秒以上押し続けると、電子ズームが働いて被写体をさらに大きく写すことができます (P.70)。

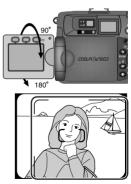
ズームアウト　ズームイン

ズームボタンを押している間、液晶モニタにはズーム量を示すインジケーターが表示されます。

レンズ、スピードライトや調光センサーをさえぎらないようご注意ください

撮影の際に、指や髪の毛などでレンズやスピードライト発光部をさえぎらないようにご注意ください。画像が暗くなったり、部分的にぼやけたりすることがあります。また、カメラのグリップには、調光センサーへの指がかりを防ぐための突起があります。この突起の上に指を置くと、調光センサーの前に指が出ることがありますので、**突起の上に指を置かないでください。**調光センサーが指などでさえぎられると、スピードライトが正しく機能しないことがあります。

カメラを動かしてみましょう

ズームボタンによるズーミングは構図を決める上で大きな役割を果たしますが、構図の基本はカメラの位置です。構図を決める際にカメラを動かしてみましょう。もし時間があるなら、被写体を上から見下ろしたり下から見上げたりと、いろいろ角度を変えて見てみましょう。一番いい構図が見つかるかもしれません。

液晶モニタとファインダーについて

液晶モニタを使用して構図を決める場合は、表示された画像と同じ画像が撮影されます。また、カメラの設定内容を確認しながら構図を決めることができます。ファインダーを使用する場合は、見える範囲と撮影して得られる画像が正確に一致しない場合があります。次のような場合は液晶モニタを使用して撮影してください。

- 50cm より近距離でマクロモード (P.77) を使用する場合
- 電子ズームを使用する場合 (P.70)
- 画像サイズを 3：2 に設定する場合 (P.75)
- 別売のコンバータレンズを使用する場合 (P.116)

液晶モニタを使用すると、カメラの角度を自由に変えられるという利点もあります。カメラのレンズを自分自身に向けてセルフポートレート用に構図を簡単に決めることができます (P.9) 。

ファインダーを使用して構図を決める場合は、液晶モニタを消灯するとバッテリーの消費を節約できます (P.18) 。また、明るい場所で液晶モニタが見えにくい時はファインダーを使用すると便利です。1.5 m以内の近距離でファインダーを使用して構図を決める場合は、ファインダー内の近距離補正マークを使用します。

1.5 m以内の撮影で使用します。

ステップ 4：ピントを合わせて撮影を行います

4.1 ピントを合わせます。

カスタム NO.A（オート撮影）の場合は、液晶モニタまたはファインダーの中央にある被写体（ファインダーの AF フレーム内の被写体）にオートフォーカスでピントが合います。オートフォーカスでピントを合わせる場合は、シャッターボタンを半押しし、ファインダー左側の赤色 LED と緑色 LED の状態を確認してください。

ランプの状態		意　味
赤色LED	点灯	撮影と同時にスピードライトが発光します。
	点滅	スピードライトが充電中です。シャッターボタンから指を離して、もう一度押し直してください。
	消灯	スピードライトが必要ないか、発光禁止になっています。
緑色LED	点灯	被写体にピントが合っています。
	高速点滅	AF フレーム上の被写体にピントを合わせることができません。同距離の他の被写体にピントを合わせ、AF ロックを使って構図を変えてください。

4.2 撮影します。

シャッターボタンを最後まで深く押し込んで撮影します。

AF エリア選択について

オートフォーカスでピント合わせが行えない場合、カスタム NO.1、2 または 3 に設定すると、マニュアルフォーカスでピント合わせを行うことができます (P.98) 。被写体が画面の中央にない場合は、AF エリア選択を AUTO または MANUAL にセットすれば (P.120) 、AF ロックを行わずにピント合わせが行えます。

被写体が構図の中央にない場合は：AF ロック撮影

構図によっては写したい被写体が画面の中央にない場合もあります。被写体が画面の中央にない場合にシャッターボタンを半押しすると、被写体にピントが合わないで背景にピントが合ってしまいます。AF ロックを使用すれば被写体にピントを合わせた後で構図を変えることができます。

1 ピントを合わせます。

写したい被写体を画面の中央に合わせてシャッターボタンを半押しします。

2 緑色 LED の点灯を確認します。

シャッターボタンを半押ししながら、ファインダー横の緑色 LED が点灯していることを確認します。緑色 LED の点灯はピントが合っていることを表しています。

3 構図を変えて撮影します。

シャッターボタンを半押ししたまま構図を変え、シャッターボタンを深く押し込んで撮影します。

AF ロック中は被写体との撮影距離を変えないでください。被写体が動いた場合は、ピントを合わせ直してください。

ステップ 5：撮影した画像を確認します

画像をコンパクトフラッシュカードに記録している時は、ファインダー左側の緑色 LED が点滅し、液晶モニタに[▲]アイコンが表示されます（液晶モニタ点灯時）。液晶モニタ点灯時は、撮影したばかりの画像が数秒間表示されます。画像が表示されている間は次のような操作が可能です。

目　的	ボタン	カメラの動作
画像削除	🗑（AF）	撮影画像の記録中、液晶モニタに 🗑（クイックデリートマーク）が表示されている間に 🗑（AF）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、「はい」か「いいえ」を選択し、右 ▷ を押して選択を実行します。 ●「いいえ」を選択すると画像を削除せずに、撮影モードに戻ります。 ●「はい」を選択すると画像が削除されます。
一時停止	⚡	撮影画像の記録中、液晶モニタに ▯▯（静止画延長マーク）が表示されている間に、⚡ボタンを押すと、撮影画像の静止画表示が 20 秒間延長され、液晶モニタに REC マークが表示されます。何も操作されないと 20 秒後に画像が記録され、通常の画面に戻ります。REC マークが表示されている間に ⚡ ボタンを押しても画像が記録されます。記録をキャンセルする場合には 🗑（AF）ボタンを押すと削除確認画面が表示され、削除することができます。
記録	シャッターボタン	半押しすると画像が記録され、撮影モードに戻ります。

☑ 画像記録中のご注意

画像記録中は、緑色 LED が中速点滅し、液晶モニタに[▲]アイコンが表示されます。緑色 LED の点滅が止まり、液晶モニタの[▲]アイコンが消灯するまでは、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたり、電源スイッチを OFF にセットしたりしないでください。画像が失われたり、コンパクトフラッシュカードが破損する場合があります。

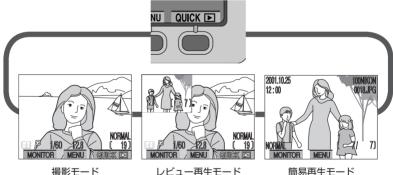
目　的	ボタン	カメラの動作
次の撮影	シャッターボタン	シャッターボタンを深く押し込むと、液晶モニタに表示されている画像をコンパクトフラッシュカードに記録している間に次の撮影が行えます。新しく撮影した画像は、コンパクトフラッシュカードに保存される前にカメラ内の一時保存メモリに保存され、一時保存メモリの空き容量がなくなるまで撮影を続けることができます（画像サイズがFULL、画質モードがNORMALの画像を約10コマ一時保存できます）。一時保存メモリの空き容量がなくなると、砂時計マーク⌛が表示され、撮影することができなくなります。一時保存メモリに空き容量ができ⌛マークが消えると、再び撮影をすることができます。

ステップ6：撮影を終了します

撮影が終わったら、カメラを保管する前に以下の手順を行ってください。

6.1 電源スイッチをOFFにセットします。

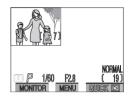
6.2 レンズキャップを取り付け、液晶モニタを収納します。

レンズとモニタにほこりや汚れがつかないよう、レンズキャップを取り付け、液晶モニタの点灯面が内側になるように折りたたんで収納します。

再生（レビュー再生／簡易再生）と削除

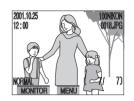
COOLPIX5000 のレビュー再生／簡易再生モードを使えば、撮影後すぐに画像を確認することができ、カメラの設定や構図などをチェックしながら撮影を行うことができます。

- カメラのモードセレクターが（撮影モード）にセットされている時にレビュー再生／簡易再生モードを使うことができます。QUICK（クイックレビュー）ボタンを一度押すと撮影後の画像が液晶モニタの左上に縮小表示され、もう一度押すと画面いっぱいに表示され、さらにもう一度押すと撮影モードに戻ります。
- もし、撮影した画像が暗かったら：スピードライト発光部から指を離してもう一度撮影してみてください。
- もし、浜辺の真っ白な砂がくすんだ灰色に見えていたら：露出補正を行い、もう一度撮影してみてください (P.85) 。
- クローズアップで撮った花がブレていたら：BSS（ベストショットセレクタ）をセットにして撮り直してみてください (BSS：P.112) 。
- 意図した写真が撮れた場合は、不要な画像を消去して撮影可能コマ数を増やすことができます。

撮影モード

レビュー再生モード
現在使用されているフォルダの画像が液晶モニタの左上に縮小表示されます。次の撮影を行う前に、撮影した画像の確認が行えます。

簡易再生モード
現在使用されているフォルダの画像が画面いっぱいに、または4コマもしくは9コマのサムネイル画像として表示されます。画像削除、画像情報の表示などが行えます。

レビュー再生モード

QUICK ▶（クイックレビュー）ボタンを押すとレビュー再生モードになり、コンパクトフラッシュカードに最後に記録された画像が液晶モニタの左上に縮小表示されます。レビュー再生モード時には、以下の操作が行えます。

目的	ボタン	カメラの動作
前後の画像を見る	（マルチセレクター）	マルチセレクターの上△または左◁を押すと、現在表示されている画像の前に撮影された画像が表示されます。マルチセレクターの下▽または右▷を押すと後に撮影された画像が表示されます。押し続けると画面が早送りされます。
簡易再生モードにする	QUICK ▶	簡易再生モード（次ページ参照）になり、画像が全画面表示されます。
撮影モードに戻る	シャッターボタン	シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ってピント合わせが行われます。シャッターボタンを深く押し込むと撮影できます。

他のボタンは、撮影モード時と同様に操作できます。

簡易再生モード

レビュー再生モード時に QUICK ▶（クイックレビュー）ボタンを押すと、簡易再生モードになり、レビュー再生モード時に表示されていた画像が全画面表示されます。簡易再生モード時には、以下の操作が行えます。

目 的	ボタン	カメラの動作
前後の画像を見る	マルチセレクター	マルチセレクターの上 △ または左 ◁ を押すと、現在表示されている画像の前に撮影された画像が表示されます。マルチセレクターの下 ▽ または右 ▷ を押すと後に撮影された画像が表示されます。押し続けると画面が早送りされます。
サムネイル画像を見る	▦（W）	▦（W）ボタンを押すと、4 コマのサムネイル画像が表示されます (☞ P.58) 。
表示されている画像を削除する	🗑（AF）	🗑（AF）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、「はい」か「いいえ」を選択し、右 ▷ を押して選択を実行します。 削 除 / 1 枚削除します よろしいですか？ / いいえ / は い ▷ / MENU OFF •「いいえ」を選択すると画像を削除せずに、簡易再生モードに戻ります。 •「はい」を選択すると画像が削除されます。

目　的	ボタン	カメラの動作
拡大表示モードに切り換える	T (🔍)	ズームボタンの T (🔍) を押すと現在表示されている画像の拡大表示モードになります (P.161) 。画像が拡大されている間は、マルチセレクターで画面をスクロールさせ、見たい部分に移動できます。拡大表示モードをキャンセルするにはズームボタンの W を押します。
画像情報を見る	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回すと現在表示されている画像の詳細情報表示画面に切り換わります (P.162) 。
撮影モードに戻る	QUICK ▶／シャッターボタン	QUICK ▶（クイックレビュー）ボタンを押すと簡易再生モードを終了して撮影モードに戻ります。また、シャッターボタンを半押しすると、撮影モードに戻ってピント合わせを行い、シャッターボタンを深く押し込むと、撮影が行えます。

再生モード (P.157)

この章で説明したレビュー再生／簡易再生モードは撮影モード時にモードセレクターを切り換えずに画像を確認する方法です。モードセレクターを ▶（再生モード）にセットすると再生モードになります。この章で説明している簡易再生・サムネイルレビューモード（再生モードでは 1 コマ再生／サムネイルモード）の他に、再生モードでは、全画像削除、再生時のフォルダの選択、画像のプロテクト設定、画像の非表示設定、スライドショー、パソコンへの転送画像設定、プリント指定などを行うことができます。

サムネイルレビューモード

簡易再生モード時に ▦（W）（サムネイル／ズーム）ボタンを押すと、液晶モニタに 4 コマのサムネイル画像（縮小画像）が一覧表示されます。サムネイルレビューモード時には、以下の操作が行えます。

目　的	ボタン	カメラの動作
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターの上下左右を押すと、サムネイル画像が選択されます。
画面のスクロール	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回すと一画面分のスクロールを行います。
サムネイルコマ数を変更する	▦（W）／T	サムネイル画像が 4 コマ表示されている時に ▦（W）（サムネイル／ズーム）ボタンを押すと、9 コマ表示に切り換わります。T（ズーム）ボタンを押すと、9 コマ表示時は 4 コマ表示、4 コマ表示時は 1 コマ表示に切り換わります。
選択された画像を削除する	🗑（AF）	🗑（AF）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、「はい」か「いいえ」を選択し、右 ▷ を押して選択を実行します。 削　除 1 枚削除します よろしいですか？ いいえ は　い ▷ MENU OFF ●「いいえ」を選択すると画像を削除せずに、サムネイルレビューモードに戻ります。 ●「はい」を選択すると選択画像が削除されます。
撮影モードに戻る	QUICK ▶／シャッターボタン	QUICK ▶（クイックレビュー）ボタンを押すとサムネイルレビューモードを終了して撮影モードに戻ります。また、シャッターボタンを半押しすると、撮影モードに戻ってピント合わせを行い、シャッターボタンを深く押し込むと、撮影が行えます。

用途に応じた撮影方法

プリント用の画像を撮影する

60—61

パソコンで利用する画像を撮影する

62—65

デジタルカメラで撮影した画像はデジタルデータとしてメモリカードに記録されます。デジタル画像データは手軽にプリントしたり、パソコンで利用することができます。

プリント用の画像を撮影する

家庭用プリンタやプリントショップでプリントするための画像を撮影する方法などを紹介します。

パソコンで利用する画像を撮影する

撮影した画像はパソコンに転送して保存・加工したり、ホームページなどに使用することができます。ここでは、パソコンでの利用に適した画像を撮影する方法などを紹介します。

プリント用の画像を撮影する

撮影した画像は、パソコンに転送してプリントしたり、プリントショップでプリントしてもらうことができます。美しい仕上がりのプリントを得るには撮影時の画像サイズと画質モードが重要な要素になります。

プリント用の画像を撮影する

撮影した画像を高精細なプリンタで出力する場合には、画像サイズを大きく、画質モードを高画質の設定にするとクオリティの高い作品に仕上げることができます。プリント用の画像を撮影する場合は、次の設定で撮影を行うことをおすすめします。

画像サイズをFULL、3：2、UXGAに設定し、画質モードをFINEまたはNORMALに設定して撮影を行うと、クオリティの高いプリントを得ることができます。画質モードをRAWまたはHIに設定すると最高のクオリティを得られますが、ファイルサイズも非常に大きくなるため、コンパクトフラッシュカードの容量、パソコンのハードディスクの容量、転送時間の制約を考慮に入れて使用してください。
撮影した画像をパソコンに転送してプリントする場合は、次ページのプリントサイズの表を参考にして撮影時の画像サイズの設定を行ってください。

参照

P.72　画質モード
P.74　画像サイズ

DPOF 対応プリンタでのプリント

デジタルカメラで撮影した画像をラボプリントサービスや、家庭用のプリンタで自動プリントするための記録フォーマットが「DPOF」(Digital Print Order Format)です。DPOF は、現在各社独自仕様となっているプリント情報を標準化することで、より効率的なプリントを実現するための規格です。
再生メニューの「プリント指定」(P.174)によってプリント指定を行うと、従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF に対応したプリンタを使用すると、画像を記録したコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます。

リムーバブルメディアからのプリント

DPOF に対応していないプリントショップの場合でも、プリントしたい画像を他の記録メディアにコピーして持ち込めば、プリントすることができます(あらかじめプリント価格、対応可能な記録メディア、ファイル形式などをプリントショップにご確認ください)。Nikon View 5 を使用すると、画像をリムーバブルメディアなどにコピーすることができます。カメラとパソコンを接続して行う操作については、Nikon View 5 リファレンスマニュアルをご覧ください。

プリントサイズ

プリントされる画像の大きさはプリンタの解像度によります(解像度が高いとプリントサイズが小さくなります)。下表は各画像サイズで撮影された画像を 300dpi の解像度でプリントした場合のサイズを示しています。

画像サイズ	300 dpi でプリントした時のサイズ
FULL	21.5×16cm
3:2	21.5×14.5cm
UXGA	13×10cm
SXGA	10×8cm
XGA	9×7cm
VGA	5×4cm

パソコンで利用する画像を撮影する

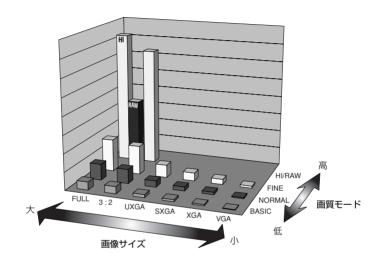
撮影した画像は、パソコンに転送して保存・加工したり、インターネットで使用するなど、さまざまな用途に利用することができます。撮影した画像をどう使うかによって、その画像に必要な画質モードや画像サイズは変化するため、用途に合わせて撮影時の画質モードと画像サイズを設定してください。

加工用の画像を撮影する

画像の一部を切り取る、変形させる、合成する等の加工を行う場合には、画像サイズを大きく、画質モードを高画質の設定にすると、クオリティの高い作品に仕上げることができます。画像加工にお使いになる場合は、次の設定で撮影を行うことをおすすめします。

画質モードを FINE または NORMAL に設定し、画像サイズを FULL 、3：2 、UXGA に設定して撮影すると、クオリティの高い画像を作成することができます。画質を RAW または HI に設定すると最高のクオリティを得られますが、ファイルサイズも非常に大きくなるため、コンパクトフラッシュカードの容量、パソコンのハードディスクの容量、転送時間の制約を考慮に入れて使用してください。

ホームページ用の画像を撮影する

撮影した画像をホームページなどでお使いになる場合は、次の設定で撮影を行うことをおすすめします。

画像サイズをVGAまたはXGAに設定して､画質モードをBASICまたはNORMALに設定するとファイルサイズを小さくすることができます。ファイルサイズが小さいとデータ転送にかかる時間も短くなります。
画質モードと画像サイズの組み合わせによって、ファイルサイズとデータ送信時間は下表のように変わります。

画質モード	画像サイズ（ピクセル）	ファイルサイズ（約）	送信時間 (28.8Kbps)
BASIC	XGA（1024×768）	100KB	約40秒
NORMAL	VGA（640×480）	90KB	約35秒
BASIC	VGA（640×480）	50KB	約20秒

画質モード、画像サイズとファイルサイズ

下図は画質モード、画像サイズとファイルサイズの関係を表しています。

参照

P.72　画質モード
P.74　画像サイズ

撮影した画像をインターネットで利用する

撮影した画像をパソコンに転送すると、画像をホームページにアップロードしたり、電子メールに添付して送ることができます（詳細については電子メールソフトなどのドキュメントを参照してください）。画像をパソコンに転送する方法については、この使用説明書の「接続」（P.179）の章をご参照ください。

各機能の詳細

「基本操作－簡単な撮影」ではカスタム NO.A(オート撮影）での基本的な撮影方法を紹介しました。この章ではカスタム NO.1、2 または 3 設定時に使用することができる撮影機能や動画撮影などを 2 つのセクションで紹介します。

撮影機能の詳細

ズーム、画質モード / 画像サイズの設定、フォーカスモード、スピードライトモード、露出補正などのよく使用される撮影機能の詳細について説明します。

応用編

カスタム NO.1、2 または 3 設定時にセットできるカメラの様々な設定に関して説明します。

撮影機能の詳細

撮影モードでの使用方法

この章では （撮影モード）時に行うことのできる様々な操作について説明します。次の表をご覧ください。

操作するボタン	参照先	ページ
W T	光学ズームと電子ズーム （構図を決める）	69—70
画質モードボタン	画質モードと画像サイズ （メモリを効率よく使用する）	71—75
AF	フォーカスモード （近くにまたは遠くにピントを合わせる）	76—79
AF	セルフタイマー撮影	80—81
スピードライトボタン	スピードライトモード （スピードライト撮影を行う）	82—84
露出補正ボタン	露出補正 （露出を意図的に変える）	85—86

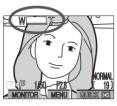
光学ズームと電子ズーム：構図を決める

このカメラには 2 種類のズーム機能が装備されています。カメラのズームレンズを使用して被写体を 3 倍まで拡大する光学ズームと、デジタル処理によってさらに被写体を 4 倍まで拡大する電子ズームです。

光学ズーム

ズームボタンを押しながら、液晶モニタまたはファインダーで構図を確認することができます。

ズームアウト
（広角側にズーム）

ズームイン
（望遠側にズーム）

ズームボタンを押している間、液晶モニタ上にズーム状態が表示されます。

光学ズームと電子ズーム

電子ズームは、カメラのセンサーがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームと違い、画像の中央部分を電子的に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。電子ズーム作動中はファインダーで構図を確認することはできません、液晶モニタで確認してください。

電子ズーム

光学ズームを最も望遠側にして、T（ズーム）ボタンを 2 秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動します。

光学ズームの最望遠側

2 秒間押し続けます。

液晶モニタに電子ズーム倍率が表示されます。

緑色 LED が低速点滅して、ファインダー内の画像と撮影画像にずれがあることを警告します。

デジタルズーム作動中は、T（ズーム）ボタンを押すごとに、ズーム倍率が高くなり、最大 4 倍まで（連写モードが動画にセットされている場合は 2 倍まで P.109）拡大されます。W（ズーム）ボタンを押すと倍率は低くなり、さらに W（ズーム）ボタンを押すと電子ズーム倍率が消え、電子ズームは解除されます。

電子ズームを使用できない場合

液晶モニタ消灯時は、電子ズームを使用することができません。また次のような場合にも使用することができません。

- 画質モードが RAW または HI に設定されている場合（P.72）。
- 連写モードがマルチ連写、U H連写にセットされている場合（P.108）。
- 彩度調整がモノクロモードにセットされている場合（P.115）。
- カスタム NO.1、2 または 3 設定時、撮影 SET-UP メニューの「ズーム>電子ズーム」が OFF にセットされている場合（P.151）。

画質モードと画像サイズ：メモリを効率よく使用する

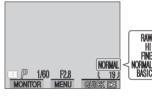
撮影された画像のファイルサイズは、画質モードと画像サイズによって決定されます。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変化します。32MB、64MB、96MBのコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです（JPEG圧縮の性質上、撮影コマ数は画像の絵柄によって大きく異なります）。

カード	画質モード	画像サイズ					
		FULL	3:2	UXGA	SXGA	XGA	VGA
32MBカード	RAW	3	—	—	—	—	—
	HI	2	2	—	—	—	—
	FINE	13	14	32	50	75	173
	NORMAL	26	28	62	95	139	289
	BASIC	51	55	118	173	243	459
64MBカード	RAW	7	—	—	—	—	—
	HI	4	4	—	—	—	—
	FINE	26	29	65	100	151	347
	NORMAL	52	57	125	190	278	578
	BASIC	103	111	236	347	488	918
96MBカード	RAW	11	—	—	—	—	—
	HI	6	7	—	—	—	—
	FINE	39	43	97	150	227	520
	NORMAL	78	86	188	285	418	867
	BASIC	155	167	354	520	731	1377

撮影コマ数について

上記の撮影コマ数は計算値ですので、コンパクトフラッシュカードにより実際の撮影コマ数は若干の違いがあります、液晶モニタまたは表示パネルでご確認ください。

画質モード

画像を記録する際に、処理を施して画像ファイルの容量を小さくすることを圧縮といいます。COOLPIX5000 は、NEF 形式や TIFF 形式で画像を圧縮せずに保存したり、JPEG 形式で圧縮して保存することができます。圧縮率が高くなれば画像ファイルサイズは小さくなり、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数が増加しますが、画質が低下してブロックパターンが見えるようになる場合もあります。画質への影響は被写体の内容や、プリントするサイズ、モニタに表示するサイズによって異なります。

画質モードをセットするには、表示パネルまたは液晶モニタにセットしたい画質モードが表示されるまで ◆(画質モード）ボタンを押します。

◆（画質モード）ボタンを押します。

表示パネルと液晶モニタに画質モードが表示されます。

RAW モード時の表示パネルの画質モード表示について

画質モードが RAW にセットされている時は、表示パネルの HI 表示が点滅します。

NEF 形式

NEF形式（Nikon Electronic Image Format）は、ニコン専用画像フォーマットです。NEF形式の画像ファイルを開くにはNikon View 5またはNikon Capture 3（別売）が必要となります。NEF形式で保存すると、パソコン上で画像処理や補正を行った場合も、品質を劣化させることなく高品位の画質を維持することができます。

RAW 画像を HI 画像に変換する

RAW 画像（NEF 形式）をNikon View 5またはNikon Capture 3（別売）以外のアプリケーションで使用するには、HI 画像（TIFF 形式）に変換してください。TIFF 形式のファイルはほとんどのアプリケーションに対応します。COOLPIX5000 では、再生モードの 1 コマ再生時に RAW 画像を HI 画像に変換することができます（P.159）。変換すると新しいファイル名となり、画像ファイルの拡張子が .NEF から .TIF に変わります。

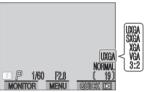
画質モードは次の 5 種類から選択できます。

画質モード	ファイル形式	内　容
RAW	NEF	画像の処理、圧縮を行わないため、細部の描写が維持されます。CCD（撮像素子）からの生出力をNEF形式 (Nikon Electronic Image Format) で保存します。画像サイズがFULLの場合のみ設定できます。画質モードHIの画像に比べてファイルサイズが小さくなります。
HI	TIFF	画像の圧縮を行わないため、細部の描写が維持されます。幅広いアプリケーションに対応できる TIFF 形式で保存します。画質を優先する場合に使用します。画像サイズが FULL 、3：2 の場合のみ設定できます。
FINE	JPEG	精細な画質で、画像を拡大する場合や、プリンタで細かく表現したい場合などに適しています。画像データは約 1/4 に圧縮されます。
NORMAL	JPEG	通常の画質で、一般的にはこの画質モードを使用します。画像データは約 1/8 に圧縮されます。
BASIC	JPEG	基本的な画質で、電子メールに添付したりホームページに掲載したりする場合に適しています。画像データは約 1/16 に圧縮されます。

JPEG

「JPEG 」（ジェイペグと読みます）は、JPEG圧縮規格を策定した「Joint Photographic Experts Group」の略です。

画像サイズ

画像サイズは、画像の実際の大きさ（単位：ピクセル）です。画像サイズが小さい画像はファイルサイズも小さいため、電子メールで送ったり、ホームページなどで使用する場合に適しています。大きなサイズの画像は、大きくプリントするなどの用途に適しています。コンパクトフラッシュカードの容量や使用目的に応じて、画像サイズを選択してください。
画像サイズをセットするには、（画質モード）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回し、表示パネルまたは液晶モニタにセットしたい画像サイズを表示させます。

+
（画質モード）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

表示パネルと液晶モニタに画像サイズが表示されます。

画像サイズが FULL の場合は表示されません。

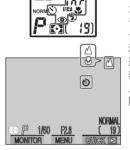
画像サイズは次の 6 種類から選択できます。

画像サイズ	サイズ（ピクセル）	プリント時のサイズ（300dpi）の場合
（表示なし）FULL	2560×1920	約 21.5×16cm
UXGA	1600×1200	約 13×10cm
SXGA	1280×960	約 10×8cm
XGA	1024×768	約 9×7cm
VGA	640×480	約 5×4cm
3：2	2560×1704	約 21.5×14.5cm

プリントサイズについて

プリントされる画像の大きさはプリンタの解像度によります（解像度が高いとプリントサイズが小さくなります）。

参照

P.60　プリント用の画像を撮影する
P.62　加工用の画像を撮影する
P.63　ホームページ用の画像を撮影する

フォーカスモード：近くにまたは遠くにピントを合わせる

フォーカスモードは、4 種類のモードから選択できます。初期設定では、レンズから 50cm以上離れた被写体に自動的にピントが合う通常AFモードに設定されています。通常AFモードは、スナップ撮影など一般的な撮影に対応しますが、木の枝越しに見える景色や窓から見える景色を撮影する時や、花や名刺などを接写する場合などに、撮影状況に応じたフォーカスモードを選択できます。また、セルフポートレート撮影や近接撮影時などには、シャッターボタンを押す時の手ブレを防止するため、セルフタイマー撮影にセットすると便利です（三脚のご使用をおすすめします)。

フォーカスモードをセットするには、表示パネルまたは液晶モニタに設定したいフォーカスモードが表示されるまで AF（フォーカスモード）ボタンを押します。

AF（フォーカスモード）ボタンを押します。

表示パネルと液晶モニタにフォーカスモードが表示されます。遠景モードをセットすると、液晶モニタには ▲ マークが表示され、表示パネルには M-F が表示されます。遠景モードを選択した直後には、表示パネルのシャッタースピード／絞り値表示部分に InF が短時間表示されます。

フォーカスモードは次の４種類から選択できます。

フォーカスモード	機　能	こんな時に
（表示なし）通常 AF モード	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。	レンズから 50cm 以上の被写体を撮影する時に使用します。
遠景モード	ピントは無限遠に固定されます。スピードライトは使用できません。	窓越しの景色や風景、建物など、遠くにある被写体などを撮影する時に使用します。
マクロモード	レンズ前 2cm ～無限遠にある被写体にピントを合わせます。	近接撮影に使用します。
セルフタイマー撮影	約 10 秒または約 3 秒のセルフタイマー撮影を行います。マクロモード撮影も可能になり、マクロモードマーク（）も同時に表示されます。	セルフポートレート撮影やシャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止したい時に使用します。

マクロモードについて

液晶モニタのマクロモードマーク（）が黄色で表示されるズーム位置（広角側）では、レンズ前 2cm までの被写体にピントを合わせることができます。光学ズームがミドルポジションから望遠側にセットされている場合は、ごく近い距離にある被写体にピントを合わせることはできません。
ただし、印刷物や名刺などの撮影を行う場合は、ピントが合う範囲でズームを歪曲の少ない望遠側にセットすることをおすすめします。

各機能の詳細 ― 撮影機能の詳細

オートフォーカス

通常 AF モード、マクロモードでは、フォーカス（ピント）は、カメラが自動的に合わせます。カスタム NO.A 設定時に液晶モニタが点灯している場合は、カメラは常にピント合わせを行います (C-AF 、P.121)。液晶モニタ消灯時は、シャッターボタンを半押しするまでカメラはピント合わせを行いません（S-AF 、P.121)。いずれの場合も、シャッターボタンを半押しするとフォーカスがロックされ、シャッターボタンが半押しされている間はロックされ続けます（AF ロック、P.51)。カスタム NO.1、2 または 3 設定時には、撮影メニューの「フォーカス＞ AF-MODE」で液晶モニタ点灯時にも S-AF をセットすることができます（P.121)。

オートフォーカスでよい結果を得るには

オートフォーカスに適した被写体は次のような場合です。

- 被写体と背景のコントラストに差がある場合（被写体が背景と同じ色の場合はオートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合があります)。
- 光が被写体に均等に当たっている場合。

オートフォーカスが苦手な被写体は次のような場合です。

- 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合。オリの中の動物などを撮影する場合は、動物もオリも AF フレーム内にあり、さらに動物よりもオリの方がカメラの近くにあるので、オートフォーカスがうまく作動しない場合があります。
- 被写体が非常に暗い場合（ただし、被写体が背景より明るすぎても、オートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合があります)。
- 動きの速い被写体。

オートフォーカスでのピント合わせが正常に行えない場合は、AF ロックで撮影したい被写体と同距離の他の被写体にピントを合わせるか（P.51)、被写体までの距離を測ってマニュアルフォーカスでピントを合わせてください（P.98)。

AE-L/AF-L ボタンでオートフォーカスをロックする

オートフォーカスのピントは、カメラの前面にある AE-L/AF-L ボタンでロックすることができます。カスタム NO.1、2 または 3 設定時に、AE-L/AF-L ボタンを押すと、初期設定では、露出値（AE）とフォーカス（AF）の両方がロックされますが、SET-UP メニューの「ボタン設定＞ AE-L, AF-L」（P.150）で露出値かフォーカスのいずれか一方のみをロックする設定にすることができます。AE-L/AF-L ボタンでフォーカスだけをロックする設定にした場合、AE-L/AF-L ボタンを押している間はフォーカスをロックしたままで、シャッターボタンで測光し、撮影を行うことができます。

1 SET-UP メニューの「ボタン設定＞ AE-L, AF-L」を「AF-L」にセットします（P.150）。

2 ピントを合わせます。

被写体を画面中央に置いて、シャッターボタンを半押しします。ピントが合うとファインダー横の緑色 LED が点灯します。被写体にピントが合っていることを確認したら AE-L/AF-L ボタンを押してフォーカスをロックし、シャッターボタンから指を離します（シャッターボタンを半押しし続けると、露出値とフォーカスの両方がロックされ続けます）。AE-L/AF-L ボタンが押されている間、フォーカスがロックされ続けます。

3 構図を変えて撮影します。

AE-L/AF-L ボタンを押しながら構図を変え、シャッターボタンを半押しして測光し、シャッターボタンを深く押し込んで撮影します。

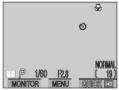
セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから約 10 秒または約 3 秒後にシャッターがきれます。撮影者自身が被写体となるセルフポートレート撮影の場合は、シャッターボタンを押してからカメラの前に移動する時間が必要なため、10 秒にセットしてください。また、シャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止する場合には、セルフタイマーを 3 秒にセットすると便利です。

セルフタイマーの使用方法

1 カメラを固定します。

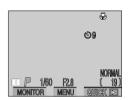
三脚を使用することをおすすめします。三脚を使用しない場合は、平らで安定した場所にカメラを設置します。

2 セルフタイマー撮影にセットします。

AF／セルフタイマー（フォーカスモード／セルフタイマー）ボタンを押して、表示パネルまたは液晶モニタにセルフタイマー表示（セルフタイマー）を表示させます。セルフタイマー撮影にセットすると、マクロモード撮影も可能になり、マクロモードマーク（マクロ）も同時に表示されます。

AF／セルフタイマー（フォーカスモード／セルフタイマー）ボタンを押します。

表示パネルと液晶モニタにセルフタイマー表示が表示されます。

3 構図を決めます。

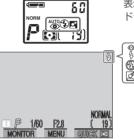
カメラの各機能をセットし、構図を決めます。

4 セルフタイマーを作動させます。

シャッターボタンを深く押し込むと、セルフタイマーが作動し始めます。シャッターボタンを1回押すと10秒に、2回押すと3秒にセルフタイマーが設定され、作動します。作動中のセルフタイマーを一時停止するには、さらにもう一度シャッターボタンを押します。

シャッターボタンを押すと、シャッターボタンの前にあるセルフタイマー表示ランプが点滅を開始します。シャッターがきれる1秒前まで点滅が続き、最後に約1秒間点灯した後にシャッターがきれます。セルフタイマー時には、連写モードは自動的に単写にセットされます。

深く押し込みます

液晶モニタに撮影までの秒時がカウントダウン表示されます

セルフタイマー撮影時のピントの合わせ方

セルフタイマー撮影では、シャッターがきれる瞬間に被写体が画面の中央にない場合は、背景にピントが合ってしまい、結果としてピントの合っていない画像が撮影されてしまいます。このようなことを避けるため、カスタムNO.1、2または3にセットして（P.88）、撮影メニューの「フォーカスエリア＞AFエリア選択」をMANUALにセットし、マルチセレクターでAFエリアを被写体があるエリアに合わせます（P.120）。セルフポートレート撮影をする場合や被写体が画面内のどこに位置するかわからない場合は、カスタムNO.1、2または3をセットして、マニュアルフォーカスでピント合わせを行います（P.98）。撮影距離をセットした後にフォーカスモードを変更すると、マニュアルフォーカスがキャンセルされてしまうため、セルフタイマーモードをセットしてからマニュアルフォーカスの撮影距離をセットしてください。

スピードライトモード：スピードライト撮影を行う

撮影状況に応じてスピードライトモードを選択することができます。スピードライトモードをセットするには、表示パネルまたは液晶モニタにセットしたいスピードライトモードが表示されるまで（スピードライトモード）ボタンを押します。

（スピードライトモード）ボタンを押します。

表示パネルと液晶モニタにスピードライトモードが表示されます。

スピードライトモードは次の 5 種類から選択できます。

スピードライトモード	機　能	こんな時に
AUTO ⚡ 自動発光モード	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	ほとんどの撮影状況に対応できます。
発光禁止モード	被写体が暗い場合でもスピードライトは発光しません。	被写体が調光距離範囲外にある場合や暗い場所で自然光を捉えたい場合、またはスピードライトの使用が禁止された場所で撮影する時などにセットします。手ブレを防ぐため、三脚の使用をおすすめします。
AUTO ⚡ 赤目軽減自動発光モード	スピードライトが本発光する前にプリ発光し、被写体の瞳孔を収縮させてスピードライト光が網膜に反射して起きる赤目現象を軽減します。	ポートレート撮影に使用します(被写体が調光範囲内にいてプリ発光を見つめると効果的です)。シャッターボタンを押してからプリ発光後シャッターがきれるまで多少時間がかかりますので、動き回っている被写体や早くシャッターをきりたい場合などにはおすすめできません。
⚡ 強制発光モード	撮影の際に必ずスピードライトが発光します。	日中シンクロを行う場合や逆光の場合に使用します。
⚡ スローシンクロモード	自動発光モードをスローシャッターと組み合わせて撮影します。	夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの被写体もきれいに写したい場合に使用します。シャッタースピード表示が黄色く表示されている場合は、手ブレに注意してください。三脚の使用をおすすめします。

レディライト（赤色 LED）

スピードライト発光後は、スピードライトを充電する時間が必要です。スピードライト充電中にシャッターボタンを半押しすると、ファインダー横の赤色 LED が点滅して警告します。いったんシャッターボタンから指を離して、再度シャッターボタンを半押しし、赤色 LED の点灯を確認してから撮影を行ってください。

スピードライト使用時のご注意

スピードライトを使用する場合は、指などでスピードライト発光部や調光センサーをふさがないようにしてください。スピードライトが発光したにもかかわらず画像が暗い場合は、スピードライト発光部がふさがれていた可能性があります。スピードライト発光部や調光センサーがさえぎられていないことを確認して、もう一度撮影してください。

暗い場所での撮影

暗い場所でスピードライトを発光禁止モードまたはスローシンクロモードに設定して、撮影する場合は、シャッタースピードが遅くなって画像がブレる場合がありますので、三脚の使用をおすすめします。シャッタースピードが 1/4 秒より低速の場合は液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯し警告します。シャッタースピードが 1/4 秒より低速の場合は液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯します。その際、撮影画像にノイズが出ることがあります。その場合、ノイズ除去を ON にセットしてください（P.128）。

次の場合は内蔵スピードライトが自動的に発光禁止モードになります。

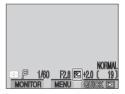
- フォーカスモードが遠景モードにセットされている場合（P.77）。
- カスタム NO.1、2 または 3 設定時に、セットアップメニューの「スピードライト＞発光切替」が内蔵発光禁止にセットされている場合、または AUTO にセットされていて、外付けスピードライトがカメラのアクセサリーシューに装着されている場合（P.152）。
- カスタム NO.1、2 または 3 設定時に、BSS が ON にセット（P.112）、連写が単写以外にセット（P.108）、コンバータが OFF 以外にセット（P.116）、「露出制御＞露出固定」が ON にセット（P.118）、またはノイズ除去がクリアイメージモードにセット（P.128）されている場合。

スピードライトの撮像感度連動範囲について

スピードライトの撮像感度連動範囲は AUTO、100、200、400 です。スピードライトを使用する場合は撮像感度を AUTO、100、200、400 のいずれかにセットしてください（P.96）。800 は自然光での撮影を目的とした感度ですので、おすすめできません。

露出補正：露出を意図的に変える

被写体が極端に明るい、あるいは暗い場合や、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、作画意図に応じてカメラが決めた適正露出を意図的に変える露出補正を行うことができます。

露出補正値は－ 2.0EV から＋ 2.0EV の範囲で、1/3 ステップごとにセットすることができます。露出補正値をセットするには、（露出補正）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

+
（露出補正）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

表示パネルと液晶モニタに露出補正値が表示されます。±0.0 以外にセットされると、（露出補正）ボタンから指を離した時に アイコンが表示パネルと液晶モニタに表示されます。

露出補正値の選択

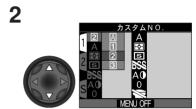
構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合などは、＋側にセットしてください。また、構図の大部分が非常に暗い場合(濃い緑の森を撮影する場合など)、背景が被写体よりも暗すぎる場合などは、－側にセットしてください。カメラは適正露出になるように、構図全体が明るい時は自動的に露出値を－側に、暗い時は自動的に露出値を＋側に決定する傾向があります。そのため、被写体の背景が極端に明るい場合は被写体が暗くなり、被写体の背景が極端に暗い場合は被写体の明るさが増す「色あせ」現象が起こります。

露出補正値をセットする場合は、液晶モニタで被写体を確認しながら調整することをおすすめします。画像が暗すぎる時は補正値を＋側に、明るすぎる時は補正値を－側にセットしてください。

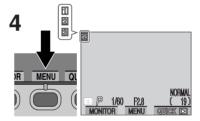
応用編

カスタム NO.1、2 または 3 設定時の操作

ここでは、撮影メニューのカスタム NO.1、2 または 3 を設定した場合のみにできる操作を紹介します。カスタム NO.1、2 または 3 設定時は、これまでに説明してきた様々な設定以外にも、次のような操作を行うことができます。

ボタン	参照先	👁
MODE	露出モード（シャッタースピードと絞りを制御する）	89—95
ISO (⚡)	撮像感度（感度を上げる）	96—97
MF (AF)	マニュアルフォーカス（撮影距離をセットする）	98—99
撮影メニュー	撮影メニュー項目	100—131

カスタム NO. の設定

この章で紹介する機能は、カスタム NO. が 1、2 または 3 に設定してあるときのみセットできます。これらの機能をセットするには、（撮影モード）にセットして次の方法でカスタム NO. を 1、2 または 3 にセットします。

1

マルチセレクターを操作してカスタム NO. のメニュー画面を表示させます。

2

任意のカスタム NO. を選択します。

3

マルチセレクターの右 ▷ または左 ◁ を押すと選択されたカスタム NO. のメニュー画面が表示されます。

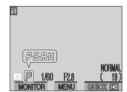
4

MENU（メニュー）ボタンを押してメニュー画面を終了すると、セットされたカスタム NO. が液晶モニタに表示されます。

カスタム NO.1、2 または 3 のそれぞれに撮影メニューの機能（ホワイトバランス、測光方式、連写、BSS 、階調補正、彩度調整、コンバータ、輪郭強調）の組み合わせを記憶させることができます。頻繁に使用する機能や撮影状況に応じた組み合わせがあれば、例えばカスタム NO.1 を選び、その組み合わせをカメラに設定すると、その機能の組み合わせは記憶され、電源スイッチを OFF にセットしたり、他のカスタムNO. を選択しても、カスタム NO.1 を再度選択すると、その組み合わせを呼び出すことができます。同様にカスタム NO.2・3 にもそれぞれの機能の組み合わせを設定することができ、いずれかのカスタム NO. を選択すると、その NO. でカメラに記憶された機能の組み合わせを簡単に呼び出すことができます。

露出モード：シャッタースピードと絞りを制御する

カスタム NO. A（オート撮影）設定時は、適正露出になるようにカメラが自動的にシャッタースピードと絞りを制御するプログラムオートモードになります。カスタム NO.1、2 または 3 設定時には撮影意図に合わせて 4 つの露出モードを選択できます。露出モードの設定は、MODE（露出モード）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して行います。

+

MODE（露出モード）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

表示パネルと液晶モニタに露出モードが表示されます。

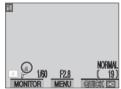
FUNC.（FUNC.）ボタン（P.149）

初期設定では、FUNC.（FUNC.）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより撮影メニュー画面を表示しなくてもカスタムＮＯ. を変更することができます。FUNC.（FUNC.）ボタンが押されている間は、液晶モニタの左上および表示パネルのシャッタースピード／絞り値表示部に、現在設定されているカスタムＮＯ. が表示されます。カスタム NO.1、2 または 3 設定時には、液晶モニタの左上にカスタム NO. が常に表示されます。

露出モードは、次の 4 種類から選択できます。

露出モード	機能	こんな時に
P プログラムオート	適正露出になるようにカメラがシャッタースピードと絞り値をセットします。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトも行えます。	ほとんどの撮影状況に適しています。
S シャッター優先オート	シャッタースピードをセットすると、カメラが適正露出になるように絞り値をセットします。	速いシャッタースピードは被写体の動きを写し止めます。遅いシャッタースピードは被写体の動きを強調します。
A 絞り優先オート	絞り値をセットすると、カメラが適正露出になるようにシャッタースピードをセットします。	開放側（小さい数値）の絞りをセットすると、背景の描写をやわらげます。最小絞り側（大きい数値)の絞りをセットすると、被写界深度を深くして、主要被写体から背景までにピントを合わせることができます。
M マニュアル	絞りもシャッタースピードも撮影者が自由にセットできます。	撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたい場合に使用します。

P プログラムオート

被写体の明るさに応じてシャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定し、ほとんどの撮影状況で最適な露出を決定します。プログラムシフト、露出補正 (P.85) またはブラケティング (P.124) によって撮影者の意図も反映できます。

プログラムシフト

カスタム NO.1、2 または 3 設定時、コマンドダイヤルを回すことによって露出値を変えずに、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。

コマンドダイヤルを回します。

シャッタースピードと絞り値が液晶モニタに表示されます。
プログラムシフト中は、表示パネルと液晶モニタの露出モード表示の横にプログラムシフトマーク（*）が点灯します。

プログラムシフトについて

プログラムシフトは液晶モニタが点灯時のみ行えます。

表示パネルのシャッタースピード／絞り値表示

表示パネル上にはシャッタースピードまたは絞り値のどちらか一方が表示されます。表示を切り換えるには MODE（露出モード）ボタンを押します。

プログラムシフトを解除するには

プログラムシフトマーク（*）が消灯するまでコマンドダイヤルを回して解除します。カスタム NO. の設定を変える、▶（再生モード）にセットする、露出モードを変える、電源スイッチを OFF にセットするなどの操作を行った場合もプログラムシフトは解除されます。

S シャッター優先オート

シャッター優先オートではコマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定します。シャッタースピードは 8 秒から 1/2000 秒まで 1EV（1 段）ごとにセットできます。

コマンドダイヤルを回します。

表示パネルと液晶モニタにシャッタースピードが表示されます。

設定されたシャッタースピードでカメラの制御範囲を超えるような場合は、シャッターボタンを半押しすると表示パネルおよび液晶モニタ上のシャッタースピード表示が点滅します。この場合、シャッタースピードを変えてください。また、1/4 秒より低速のシャッタースピードでの撮影では、撮影画像に星状のノイズが出る場合があります。このため、1/4 秒より低速のシャッタースピードをセットすると、液晶モニタ上のシャッタースピード表示が黄色く点灯して警告します。この場合は、より高速のシャッタースピードにセットし直すか、ノイズ除去（P.128）を ON にセットすることをおすすめします。

シャッタースピードの使用制限

連写モードで UH 連写または動画を設定した場合（P.109）、1 秒間に撮影されるコマ数は一定になります。1 コマが進む速さ（UH 連写では 1/30 秒、動画では 1/15 秒）以下の低速にシャッタースピードをセットすることはできません。

A 絞り優先オート

絞り優先オートではコマンドダイヤルを回して絞り値を設定します。絞り値は開放絞りから F8（最小絞り側）まで 1/3 ステップごとにセットできます（ただし、ズーム位置によっては、最小絞り値が F8 にならない場合があります）。

コマンドダイヤルを回します。

表示パネルと液晶モニタに絞り値が表示されます。

設定された絞り値でカメラの制御範囲を超えるような場合は、シャッターボタンを半押しすると表示パネルおよび液晶モニタ上の絞り値表示が点滅します。この場合は、絞り値を変えてください。

1/4000 秒の高速シャッタースピード

被写体の明るさによりますが、ズームを広角側にセットして、絞りを最小側（大きい数値）にセットすると、1/4000 秒の高速シャッタースピードが実現可能になります。

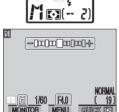
絞りとズーム

絞り値（F値）とはレンズの明るさを示す値で、レンズの焦点距離を有効口径（レンズの中にある絞りとそこを通る光の関係を数値化したもの）で割った数値のことをいいます。この数値が小さくなるにしたがい明るくなり、大きくなるにしたがい暗くなります。また、そのレンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。COOLPIX5000のレンズ（7.1～21.4mm F2.8～4.8）はズーミングによって絞り値が変化します。ズームイン（望遠側にズーム）すると絞り値が大きくなり、ズームアウト（広角側にズーム）すると、絞り値が小さくなります。撮影SET-UPメニューの「ズーム>ズーム時 F 値保持」（P.151）をONに設定することにより、この絞り値の変化を最小限におさえることができます（制御できる絞り値の範囲はF5～F8です）。

M マニュアル露出

マニュアル露出モードでは、次のような方法でシャッタースピードと絞り値をセットします。

1 露出モードをマニュアル露出にセットした後、いったん MODE（露出モード）ボタンから指を離します。

2 MODE（露出モード）ボタンを押すごとに、表示パネルに絞り値とシャッタースピードが交互に表示されます。

液晶モニタでは、絞り値とシャッタースピードが交互に緑色に表示されます。

3 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードまたは絞り値をセットします。

セットした絞り値とシャッタースピードの組み合わせによる露出値と、カメラが測光した適正露出値の差が、表示パネル上の撮影可能コマ数表示部と液晶モニタ上の露出インジケータに表示されます。

コマンドダイヤルを回します。

設定された露出値とカメラの測光した適正露出値の差は、表示パネル上では EV 値（EV 近似値）として表示され、8 秒後に撮影可能コマ数表示に変わります。露出値の差が 9EV 以上の場合は「−9」または「+9」が点滅警告します。液晶モニタ上では露出値の差が露出インジケーターに−2EV から+2EV の範囲で 1/3 段ごとに表示されます。

露出インジケーター

4 MODE（露出モード）ボタンを押して、セット中の項目（絞り値またはシャッタースピードのいずれか）を切り換えます。

5 コマンドダイヤルを操作して希望する露出をセットします。

必要な場合は手順4と5を繰り返してセットしたいシャッタースピードと絞り値の組み合わせをセットします。

コマンドダイヤルを回します。

表示パネルと液晶モニタでセットした露出を確認します。

マルチセレクターについて

シャッタースピードと絞り値のうち、表示パネルまたは液晶モニタ上で選択されていない方をセットする時は、MODE（露出モード）ボタンを押しながらマルチセレクターを操作することによってセットすることができます（コマンドダイヤルでシャッタースピードをセットしている時は絞り値を、絞り値をセットしている時はシャッタースピードをマルチセレクターでセットできます）。

長時間露出撮影（BULB）について

マニュアル露出モードでは最長5分までの長時間露出撮影が行えます。シャッタースピードを8"（8秒）の次の bulb（BULB）にセットすると、シャッターボタンが押されている間は最長60秒まで（撮影メニューの「露出制御＞BULB時間制限」を5Mにセットすると最長5分まで P.119）シャッターが開いたままになります。手ブレによってブレた画像が撮影されてしまうことを防ぐために、三脚とリモートコードMC-EU1（別売）のご使用をおすすめします。また、長時間露出撮影時に発生する星状のノイズを軽減させるために、ノイズ除去（P.128）をONにセットすることをおすすめします。また、長時間露出撮影（BULB）は連写モードが単写の場合（P.108）のみセットできます。

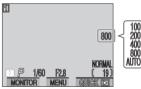
撮像感度：感度を上げる

撮像感度とは

「撮像感度」はカメラが光に対して反応する感度を表したものです。感度が高くなればある一定の露出を行うために必要な光の量は少なくなり、より高速のシャッタースピード、またはより絞った絞り値（大きい数値の絞り）で適正露出を得ることができます。高い撮像感度は高速シャッターを可能にしますが、撮影された画像にはノイズが出て、粒子が粗くなることがあります。

撮像感度のセット

カスタム NO.A（オート撮影）では被写体の明るさに応じてカメラが自動的に撮像感度をセットします。カスタム NO.1、2 または 3 設定時には AUTO または 4 つの撮像感度のうちから 1 つを選んでセットすることができます。撮像感度のセットは、⚡／ISO（スピードライト／感度変更）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して行います。

+

⚡／ISO（スピードライト／感度変更）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

撮像感度が表示パネルと液晶モニタに表示されます。100 より高い撮像感度をセットした場合、⚡／ISO（スピードライト／感度変更）ボタンから指を離すと表示パネルに ISO マークが点灯します。また、撮像感度が AUTO にセットされていて、カメラが自動的に 100 より高い感度をセットした時は、液晶モニタと表示パネルに ISO マークが表示されます。

撮像感度は次の 5 種類から選択できます。

撮像感度	こんな時に
100	ISO100 相当。低輝度時や、高速シャッタースピードが必要な場合（例：動いている被写体を撮影する場合）以外の通常の撮影では、この感度に設定することをおすすめします。この感度より高い感度で撮影するとノイズが出る場合があります。
200	ISO200 相当
400	ISO400 相当
800	ISO800 相当。画像に目立つほどのノイズが出るため、液晶モニタ上に「800」と赤色表示されます。低輝度時に自然光で撮影する場合や高速シャッタースピードで手ブレを防止したい場合のみご使用ください。ノイズを抑えるため「輪郭強調」（P.123）を OFF にすることをおすすめします。
AUTO	通常は ISO100 相当にセットされますが、低輝度時には自動的に感度アップします。100 より高い感度に自動的にセットされた場合、液晶モニタと表示パネルに ISO マーク表示されます。

撮像感度を上げた時に生じる星状ノイズについて

撮像感度を上げた時には、撮影画面上に星状ノイズが生じる場合があります。この場合、撮影時のシャッタースピードが 1/15 秒以下の低速シャッタースピードであれば、ノイズ除去を ON にセットすることにより星状ノイズを軽減することができます (P.129) 。

露出モード

露出モードがシャッター優先オートまたはマニュアルの時は、撮像感度は AUTO にセットしても、明るさによって変化せず 100 のままとなります。

スピードライトを使用する場合について

スピードライトの撮像感度連動範囲は AUTO、100、200、400 です。スピードライトを使用する場合は撮像感度を AUTO、100、200、400 のいずれかにセットしてください。800 は自然光での撮影を目的とした感度ですので、おすすめできません

マニュアルフォーカス：撮影距離をセットする

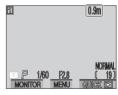
カスタム NO.1、2 または 3 設定時、オートフォーカスでのピント合わせが行えない時や、被写体までの距離がわかっている場合などにはマニュアルフォーカスをセットすることができます。マニュアルフォーカスでセットできる撮影距離は、0.02m（2cm）から無限遠までの 50 段階です。マニュアルフォーカスのセットは次のような方法で行います。

1 被写体までの距離を測ります。

レンズ先端から被写体までの距離を測定または概算します。マニュアルフォーカスではこの距離をセットします。

2 撮影距離をセットします。

AF／MF（フォーカスモード／マニュアルフォーカス）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

+

AF／MF（フォーカスモード／マニュアルフォーカス）ボタンを押しながら回します。

AF／MF（フォーカスモード／マニュアルフォーカス）ボタンを押している間は、表示パネルと液晶モニタに撮影距離が表示されます。AF／MF（フォーカスモード／マニュアルフォーカス）ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスが設定中であることを表す M·F マークが表示パネル上に点灯します。

3 撮影します。

シャッターボタンを深く押し込んで撮影を行います。実際にピントの合う距離は表示パネルと液晶モニタ上に表示される距離とわずかに異なります。撮影を行う前に液晶モニタでピントを確認し、必要ならカメラを動かして微調整してください。

AF／MF（フォーカスモード／マニュアルフォーカス）ボタンを押してフォーカスモードを設定し直すとマニュアルフォーカスはキャンセル(解除)されます。

被写体までの距離が短い場合

撮影距離を 0.5m 以下にセットしてズーミングを行った場合、セットした距離にピントが合わないズーム領域があります（撮影距離 6cm 以下では、液晶モニタの撮影距離表示が赤色に点灯して警告します）。

AF ロックとマニュアルフォーカス

マニュアルフォーカスがセットされている時は、AE-L/AF-L ボタンを押してもフォーカスはロックされません。

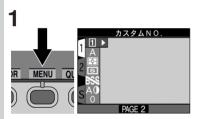
コンバータについて

コンバータ装着時は、オートフォーカスで撮影を行ってください。マニュアルフォーカスモードでは設定した距離と実際にピントの合う距離が異なります。

セルフタイマー撮影

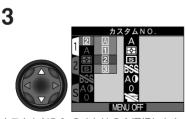
撮影距離をセットした後にフォーカスモードを変更すると、マニュアルフォーカスがキャンセル（解除）されてしまいますので、セルフタイマー (P.80) を先にセットしてから撮影距離をセットしてください。

ピーキング

撮影メニューの「フォーカス＞ピーキング」を「MF」にセットしてマニュアルフォーカスを行うと、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調され、ピントが合っていることを確認できます (P.122) 。

距離表示

撮影メニューの「フォーカス＞距離表示」の項目で「m」と「ft」の変更ができます (P.122) 。

撮影メニュー項目

カスタム NO.1、2 または 3 設定時は、撮影メニューの各項目をセットすることができ、それぞれにメニューの機能の組み合わせを記憶させ、撮影状況に応じて一括して呼び出すことができます。それぞれの番号でセットした機能の組み合わせは「記憶」され、電源スイッチを OFF にセットしても保持され、セットしたカスタム NO. が再度選択された時に自動的にカメラにセットされます。カスタム NO. メニューからカスタム NO.1、2 または 3 を選択することによって、カメラにセットされる機能の組み合わせを簡単に変えることができます。

カスタム NO.A(オート撮影）が設定されている場合は、ほとんどの機能が自動的にセットされ、撮影メニューによるセットは行えません。カスタム NO.1、2 または 3 を設定するために撮影メニューを表示させるには以下の方法で行います。

1

MENU（メニュー）ボタンを押して、撮影メニュー画面を表示させます。

2

マルチセレクターを操作して、カスタム NO. を選択します。

3

カスタム NO.1、2 または 3 を選択します。

4

選択したカスタム NO.1、2 または 3 の撮影メニュー画面が表示されます。

撮影メニューで項目をセットすると、その時選択されているカスタム NO. にセット内容が記憶され、再びそのカスタム NO. を選択した際に呼び出されます。

撮影メニューは 2 画面で構成されています。

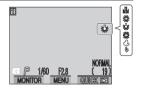
撮影メニュー 1	👁
カスタム NO.	88
ホワイトバランス *	102—104
測光方式 *	105—107
連写 *	108—111
BSS *	112—113
階調補正 *	114
彩度調整 *	115

撮影メニュー 2	👁
コンバータ *	116—117
露出制御	118—119
フォーカス	120—122
輪郭強調 *	123
ブラケティング	124—127
ノイズ除去	128—129
ユーザー設定クリア	130—131

カスタム NO.1、2 または 3 のそれぞれに * が付いたメニュー項目の組み合わせを記憶させることができます。

ホワイトバランス：色彩を忠実に再現する

ホワイトバランスとは？

被写体に反射する照明光の色は、光源の色に左右されます。人間の目は、このような色の変化をとらえて修正することができます。そのため、晴天、曇天、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく、人間の目には白い被写体は白く見えます。それに対して、カメラの場合、光源の色が変わると「白い被写体」が少し青っぽく、赤っぽく、または黄色っぽく表現されることがあります。デジタルカメラでは、照明光の色に合わせて調整を行い、人間の目で白く見える被写体を画像でも白く表現する「ホワイトバランス」機能を装備しています。

ホワイトバランスのセット

カスタム NO.1、2 または 3 設定時、撮影メニューの「ホワイトバランス」の項目で設定することができます。カスタム NO. A（オート撮影）の時はホワイトバランスは自動的に A（オート）にセットされます。

ホワイトバランス表示について

オート以外のホワイトバランスがセットされている時には、液晶モニタにセットされたホワイトバランスのアイコンが表示されます。

ホワイトバランスは次の 7 種類から選択できます。

設　定	内　容
A オート	光源に合わせて、ホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの撮影シーンに対応できます。
プリセット	撮影者が白い被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます。
太陽光	太陽光の下で撮影する時に使用します。
電球	白熱電球下の室内で撮影する時に使用します。
蛍光灯	蛍光灯下の室内で撮影する時に使用します。
曇天	曇り空の下で撮影する時に使用します。
スピードライト	スピードライト撮影をする時に使用します。

ホワイトバランスの微調整

A（オート）と（プリセット）以外の設定では、ホワイトバランスの微調整が可能です。ホワイトバランスの微調整はコマンドダイヤルを回して行います。微調整は−3〜+3の範囲で 1 段ごとに行うことができます。+側に設定すると画像が青みがかり、−側に設定すると赤みがかるか黄色っぽくなります。

（蛍光灯）に設定した場合は表のように蛍光灯の種類に応じた設定が行えます。

名称	光源
FL1	白色（W）
FL2	昼白色（N）
FL3	昼光色（D）

機能の詳細 — 応用編

プリセットホワイトバランス

（プリセットホワイトバランス）は、カクテル照明や高演色蛍光灯による照明下で、マニュアルでより厳密にホワイトバランスをセットする時に便利です。「ホワイトバランス」メニューから（プリセット）を選択するとレンズがズームインし、液晶モニタに右のようなホワイトバランス設定画面が表示されます。

設　定	内　容
現在の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	紙などの白い被写体を用意して、撮影に使用する照明下に置きます。つぎに、被写体がプリセットホワイトバランス設定画面の中心の四角形（上のイラスト参照）に入るように、構図を決めます。「新規設定」を選択して、マルチセレクターの右▷を押すと新しいプリセットホワイトバランス値が測定されます。プリセット中にはシャッターがきれる音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

測光方式

カスタム NO.1、2 または 3 に設定時は、4 つの測光方式を選択することができます。構図や光の状況に適した測光方式をセットしてください。カスタム NO.A（オート撮影）設定時は、マルチ測光となります。
測光方式は次の 4 種類です。

測光方式	機能	こんな時に
マルチ	CCD の撮像領域を 256 分割して測光し、最適な露出値を決定します。さまざまなシーンで正確な露出が得られます。	通常の撮影では、マルチ測光による撮影をおすすめします。
スポット	撮影画面中央部、全体の約 1/32 の領域のみを測光して露出値を決定します。測光範囲は、撮影時に液晶モニタ中央部に表示されます。	被写体と背景の明るさの差が激しい時でも中央部の被写体の露出は適正となります。被写体が中央部にない場合には AE ロック機能 (P.106) との併用もできます。
中央重点	撮影画面の中央部、全体の約 1/4 の領域に 80% のウエイトを置いて測光し、露出値を決定します。	基本的な測光方式でポートレート撮影などに適しています。画面の中央部で測光しながら背景の描写も配慮した測光を行います。被写体が中央部にない場合には AE ロック機能 (P.106) との併用もできます。
AF スポット	選択されている AF エリアのみが測光されます。	撮影メニューの「フォーカス＞ AF エリア選択」で「AUTO」「MANUAL」にセットされている時にセットできます。AUTO（オート）または MANUAL（マニュアル）で選択した AF エリア（P.120）と連動したスポット測光エリアで撮影する場合に使用します。

AE ロック：スポット測光・中央部重点測光の露出をロックする

スポット測光時や中央部重点測光時は、シャッターボタンを半押しすると画面中央部が測光されます。シャッターボタンを半押しした時に被写体が画面の中央にない場合は、背景の露出が測光され、被写体が露出オーバーまたは露出アンダーの画像が撮影されてしまう場合があります。このような場合、AF ロック撮影（☞ P.51）と同様にシャッターボタン半押しによる AE ロックを使用すれば被写体を画面の中央に置いて測光した後、構図を変えて撮影できます。また AE ロックは、カメラの前面にある AE-L/AF-L ボタンでロックすることができます。カスタム NO.1、2 または 3 設定時に、AE-L/AF-L ボタンを押すと、初期設定では、露出値（AE）とフォーカス（AF）の両方がロックされますが、SET-UP メニューの「ボタン設定＞AE-L, AF-L」（☞ P.150）で露出値かフォーカスのいずれか一方のみをロックする設定にすることができます。AE-L/AF-L ボタンで露出値だけをロックする設定にした場合、AE-L/AF-L ボタンを押している間は露出値をロックしたままで、オートフォーカスによるピント合わせを行うことができます。

1 SET-UP メニューの「ボタン設定＞ AE-L, AF-L」を「AE-L」にセットします（☞ P.150）。

2 測光します。

被写体を画面中央に置いて、シャッターボタンを半押しします。ピントが合うとファインダー横の緑色 LED が点灯します。被写体にピントが合っていることを確認したら AE-L/AF-L ボタンを押して露出値をロックし、シャッターボタンから指を離します（シャッターボタンを半押しし続けると、露出値とフォーカスの両方がロックされ続けます）。AE-L/AF-L ボタンが押されている間、露出値がロックされ続けます。

3 構図を変えて撮影します。

AE-L/AF-L ボタンを押しながら構図を変え、シャッターボタンを半押しして ピントを合わせ、シャッターボタンを深く押し込んで撮影します。

AF スポット

AFスポットは撮影メニューの「フォーカス＞ AF エリア選択」が AUTO または MANUAL に設定してある場合のみセットすることができます (P.120) 。AF スポットをセットした後で「フォーカス＞ AF エリア選択」を OFF にセットすると、マルチ測光が自動的にセットされます。AF エリアの選択は液晶モニタが点灯の時のみ可能です。液晶モニタが消灯の場合は AF エリアは中央に設定されます。
AF スポットがセットされている時は、表示パネルにスポット測光 ( ) マークが、液晶モニタに AF スポット測光 ( ) マークが表示されます。

現在設定されている測光方式の確認

表示パネルおよび液晶モニタ上に現在設定されている測光方式マークが表示されます。

機能の詳細 − 応用編

連写：連続写真や動画を撮る

シャッターボタンを押すたびに1コマずつ撮影する「単写」、シャッターボタンを押し続けていることにより連続撮影を行う「連写L」、「高速連写」などをセットすることができます。また、最長60秒までの音声付きの動画撮影をすることもできます。

連写モード	特　徴
単写	シャッターボタンを深く押し込むごとに、1コマ撮影を行います。
連写H	シャッターボタンを押し続けると、約3コマ／秒で連続3コマまでの連続撮影を行います。全ての画像サイズで設定可能で、画質モードのHIはセットできません。撮影中液晶モニタは消灯します。
連写L	シャッターボタンを押し続けると、約1.5コマ／秒で連続撮影を行います。ポートレート撮影で被写体の変わりやすい表情をとらえたり、動きの不規則な被写体を撮影する場合に使用します。全ての画像サイズで設定可能で、画質モードのHIはセットできません。
マルチ連写	640×480ピクセルのサムネイル画像を約3コマ／秒で連続撮影し、16画面を2560×1920ピクセルの画像ファイルに保存します。画像サイズがFULLの場合のみ設定可能で、画質モードのRAWとHIはセットできません。
高速連写	シャッターボタンを押し続けると、SXGA以下のサイズの画像を約3コマ／秒で連続撮影します。画質モードはNORMALにセットされます。

連写モード	特　徴
UH 連写	シャッターボタンを深く押し込むと、QVGA（320×240 ピクセル）サイズの画像を、約30 コマ／秒で最高100 枚まで連続撮影します。画質モードはNORMAL にセットされます。撮影を行うごとにN_で始まり 3 桁の数字が続く名称の専用フォルダが作成され、そのフォルダに 100 コマ全てが記録されます。表示パネルと液晶モニタの撮影可能コマ数表示部に撮影可能コマ数がカウント表示されます。
動画	QVGA（320×240 ピクセル）サイズの音声付き動画を 15 フレーム／秒で記録します。シャッターボタンを深く押し込むと撮影が開始され、撮影中に再度シャッターボタンを深く押し込むと、撮影が終了します。表示パネルと液晶モニタの撮影可能コマ数表示部に記録できる動画の長さが表示されます。撮影開始後60 秒経過した場合やコンパクトフラッシュカードの容量がなくなった場合、撮影は自動的に終了します。記録された動画には「.MOV」の拡張子が付けられQuickTime 動画ファイルとして保存されます。

画像記録中の注意

カメラ内部のメモリからコンパクトフラッシュカードへの書き込みを行っている間、ファインダー横の緑色 LED が中速点滅し、液晶モニタに[▲]アイコンが表示されます（液晶モニタ点灯時)。緑色 LED の点滅が止まり、液晶モニタの[▲]アイコンが消灯するまでカードを取り出したり、バッテリーや専用 AC アダプタを抜いたりしないでください。データが消失する場合があります。カードを取り出す前には、必ずカメラの電源スイッチを OFF にセットしてください。

UH 連写の場合、記録中にズーム表示が S（start）から E（end）に動きます。100 コマの撮影が終了する前に撮影を終了するには、シャッターボタンから指を離します。

S□___E

画質モードが HI の場合の制限について

画質モードが HI にセットされている時は、連写モードを単写以外にセットすることはできません。

マルチ連写について

マルチ連写は、画質モードの RAW と HI を設定できません。

スピードライトの使用について

連写を単写以外にセットした場合は、内蔵スピードライトは自動的に発光禁止になり、被写体が暗い場合でも発光しません。動画および UH 連写以外の場合は、カメラに装着した外付けのスピードライトを使用することができます。

AF 、測光値、ホワイトバランスについて

単写および動画以外の場合は、AF 、測光値、ホワイトバランスはそれぞれ撮影 1 コマ目の条件に固定されます。

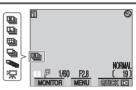
ノイズ除去モードについて

ノイズ除去が ON 、またはクリアイメージモード(P.128) にセットされている場合は、自動的に単写にセットされます。単写以外にセットすることはできません。

動画撮影時のズーム操作について

動画撮影開始後にズーム操作を行うと電子ズームが 2 倍まで作動します（光学ズームは作動しません）。撮影 SET-UP メニューの「ズーム＞電子ズーム」が OFF にセットされている場合（P.151）でも、動画撮影開始後は電子ズームが作動可能になります。操作可能なズームの範囲は次の通りです（撮影開始前にセットできる電子ズームは 2 倍まででです）。

撮影開始前のズーム位置	電子ズームの作動範囲
光学ズームの範囲（最広角から最望遠まで）	撮影開始前の光学ズーム位置で電子ズーム 2 倍までの範囲
電子ズーム 1.2 倍から 2 倍の範囲	光学ズームの最望遠側で電子ズーム 2 倍までの範囲

連写モードを設定時のご注意

- UH 連写、動画では、撮影メニューの BSS(P.112) 、「フォーカス＞ピーキング」(P.122) 、ブラケティング (P.124) を設定できません。
- UH 連写および動画では、撮影中に液晶モニタをレンズと同じ方向を向くように回転させた場合は、液晶モニタに表示される画像は上下逆となります。

カメラの一時保存メモリ

カメラには撮影中画像を一時的に保存しておくメモリがあり、コンパクトフラッシュカードへの画像の記録中にも連続撮影を行うことができます。このメモリに保存できる画像数は画質モードと画像サイズにより異なります。一時保存メモリの容量がなくなると、液晶モニタ上に ⌛ マークが表示され撮影ができなくなります。画像がコンパクトフラッシュカードに書き込まれて一時保存メモリの容量が空くと、⌛ マークは消え、撮影を再開することができます。連写 L 、高速連写では、一時保存メモリの容量がなくなると撮影速度が落ちますが、シャッターボタンを押している間、連続撮影が行われます。

現在設定されている連写モードを確認する

連写が単写以外にセットされている時は、セットされている連写モードのマークが液晶モニタに表示されます。

機能の詳細 ー 応用編

BSS（ベストショットセレクタ）：よりシャープな画像を記録する

手ブレなどでシャープな画像が得られない場合などは「BSS」（ベストショットセレクタ）の使用をおすすめします。例えば次のような場合に効果的です。

- カメラを望遠側にズーミングしている場合
- マクロ撮影で 50cm より近い被写体を撮影する場合
- 暗い時にスピードライトを使用できない場合（例えば、スピードライト光が届かないところに被写体があったり、暗い状態でも自然な光で撮影したい場合など）

BSS（ベストショットセレクタ）を設定しても、動いている被写体を撮る時や、シャッターボタンを深く押し込みながら流し撮りをした場合などは、適切な効果が得られない場合があります。

BSS（ベストショットセレクタ）には次の設定があります。

設　定	内　容
OFF	BSS を OFF にします。カメラは通常の動作をします。
ON	シャッターボタンを深く押し続けていると、最高で 10 枚の画像を連続撮影します。撮影された画像のうち、より鮮明な画像（細部が一番鮮明に写っている画像）をカメラが自動的に 1 コマ選び、コンパクトフラッシュカードに記録します。スピードライトは発光禁止となり、AF 、測光値、ホワイトバランスは撮影 1 コマ目の条件に固定されます。

BSS の制限

次の設定と BSS は同時にセットすることができません。

- セルフタイマー撮影 (P.80)
- 単写以外の連写モード (P.108)
- ブラケティングの ON または WB-BKT(P.124)
- ノイズ除去の ON またはクリアイメージ (P.128)

BSS 表示について

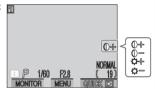
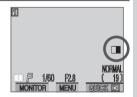
BSS が ON の場合、液晶モニタに BSS マークが表示されます。

階調補正：コントラストと明るさを変化させる

カスタム NO.A（オート撮影）の場合、画像がコンパクトフラッシュカードに記録される前に、画像の明るさとコントラストが最適になるよう階調が自動的に補正されます。カスタム NO.1、2 または 3 の場合は、「階調補正」メニューによって階調を補正することができます。

階調補正モード	特　徴
AUTO	カメラが撮影シーンに応じて最適な明るさとコントラストを自動的に調節します。
標準	撮影した画像をパソコンに取り込んでレタッチを行いたい場合など、レタッチに適した標準的な階調に調節します。
コントラスト＋	明暗差を強調してコントラストをつけます。曇り空の下で撮影した風景の画像や、コントラストが低い被写体の画像に効果的です。
コントラスト－	明暗差を抑えてコントラストを低くします。強い光で被写体にくっきりとした影が出てしまう場合などに効果的です。
明るめ	画像のハイライト部やシャドウになっている部分には影響を与えず、中間階調の明るさのみを強くします。画像を暗く出力する傾向のあるプリンタやモニタを使う場合などに効果的です。
暗め	画像のハイライト部やシャドウになっている部分には影響を与えず、中間階調の明るさのみを弱くします。画像を明るく出力する傾向のあるプリンタやモニタを使う場合などに効果的です。

彩度調整：色彩をコントロールする

色彩の鮮やかさを変更します。「彩度＋ 1」にセットして彩度を高めると、プリンタで出力する時に、画像に手を加えなくても色鮮やかなフォトプリントを出力することができます。パソコンに取り込んでレタッチを行う場合などは「彩度－ 1」および「彩度－ 2」が適しています。通常は「標準」にセットします。
モノクロ画像記録用に ◨（モノクロモード）にセットすることもできます。モノクロモードにセットされると、モノクロの画像が記録されます。モノクロ画像はカラー画像と同じデータ量ですが、解像感が高い画像となります。

階調補正表示について

AUTO と標準以外の場合、液晶モニタに階調補正表示が表示されます。

モノクロモード

モノクロモードに設定すると、撮影画面もモノクロとなり、各表示が緑色に表示されます。液晶モニタ上には ◨（モノクロ表示）が表示されます。

モノクロモードの制限

モノクロモード設定時は、次の設定はセットできません。

- 画質モードの RAW(P.72)
- コンバータのスライドアダプタ (P.117)

コンバータ：別売コンバータを使うための設定を行う

別売のアダプターリングを使用して、ワイド、テレ、フィッシュアイなどの各コンバータやフィルム複写用のスライドコピーアダプタを使用することができます。「コンバータ」メニューによって、これらのコンバータやスライドコピーアダプタに適したフォーカスモード、ズーミング、測光方式などが自動的にセットされます。コンバータの使用方法の詳細については、各コンバータの使用説明書をご覧ください。

コンバータ	特　徴
OFF	各設定は変更されません。コンバータやスライドコピーアダプタを使用しない時にセットします（アダプターリングは必ず取りはずしてください）。
ワイドコンバータ (WC-E68)	● 焦点距離が最も広角側にセットされます（セット後はズーム操作が可能になります P.69）。
テレコンバータ 1 (TC-E2)	● 焦点距離が最も望遠側にセットされます（セット後は望遠側からやや広角よりまでの範囲でズーム操作が可能になります P.69）。
テレコンバータ 2 (TC-E3ED)	● 焦点距離が最も望遠側に固定され、電子ズームが 1.2 倍にセットされます（セット後は電子ズームの倍率を変えることが可能になります P.69）。
フィッシュアイ 1 (FC-E8)	● 焦点距離が最も広角側からやや望遠よりに固定されます（P.69）。 ● ピントは無限遠に固定されます。セルフタイマーの使用は可能です（P.77）。 ● 測光方式は中央部重点測光に固定されます(P.105)。 ● 画面の四隅が影になって画像が円形になります。
フィッシュアイ 2 (FC-E8)	● 焦点距離が最も望遠側からやや広角側に固定されます。 ● 画面の四隅が影になることなく撮影されます(対角魚眼)。

コンバータ	特　徴
スライドアダプタ (ES-E28)	カラースライドフィルムの複写には「通常」を、ネガフィルムを液晶モニタで確認する場合には「ネガ確認モード」を選択します。 ● 焦点距離が最も望遠側からやや広角側に固定され、電子ズームが 1.4 倍にセットされます（セット後は電子ズームの倍率を変えることが可能になります (P.69) 。 ● フォーカスモードはマクロモードに固定されます。セルフタイマーの使用は可能です (P.77) 。 ● ＋ 0.7EV の露出補正がセットされます (P.85) 。 ● 階調補正が「コントラストー」にセットされます (P.114) 。 ● 被写界深度を深くするため、プログラムオートモード時は、絞りは最小絞りに固定されます。その他の露出モードでは、絞りができるだけ最小側（大きい数値）になるようにセットして撮影を行ってください。

スピードライトの使用について

各コンバータモード時は、内蔵スピードライトは自動的に発光禁止になります。フィッシュアイ 1、2 およびスライドアダプタ以外の場合は、カメラに装着した外付けのスピードライトを使用することができます (P.192) 。

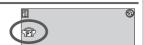
オートフォーカスで撮影を行ってください

コンバータ装着時は、オートフォーカスで撮影を行ってください。マニュアルフォーカスモード、遠景モードでは設定した距離と実際にピントの合う距離が異なります。

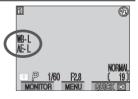
スライドコピーアダプタのネガ確認モードについて

ネガ確認モード時には十分な明るさが必要です。光量が不足している場合は、液晶モニタ上の画像が白みがかります。画像のノイズが気になる場合は輪郭強調を OFF か弱にセットしてください (P.123) 。ネガ確認モードは液晶モニタ上でネガフィルムを確認するためのモードです。液晶モニタ上の画質はフィルムの種類、メーカーなどによって大きく変化します。高画質のデジタル画像を得るためには、ニコン COOLSCAN などのフィルムスキャナのご使用をおすすめします。

コンバータ表示について

撮影メニューのコンバータ設定画面で OFF 以外にセットされた場合、液晶モニタにコンバータ表示が表示されます。

露出制御

「露出制御」には2つの項目があります。

露出固定：同じ露出で複数の画像を撮影をする

一連の写真を同じシャッタースピード、絞り値、撮像感度、ホワイトバランスにして撮影したい時などに使用します。パソコンに画像を取り込んでパノラマ合成する場合などに便利です。

露出固定	特　徴
OFF	「露出固定」は解除され、通常の露出制御に戻ります。
ON	セット後、最初に撮影された条件（シャッタースピード、絞り、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。露出固定中はスピードライトは発光禁止となります。
リセット	リセット後に、最初に撮影された条件（シャッタースピード、絞り、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。

露出固定表示について

露出固定をONまたはリセットにセットすると、AE-L(露出固定)マークとWB-L(ホワイトバランスロック)マークが液晶モニタに黄色で表示されます。セット後、撮影を行うと撮影条件が固定され、AE-L(露出固定)マークとWB-L(ホワイトバランスロック)マークは白色に変わります。以後、最初に撮影された条件で撮影を行います。

BULB 時間制限：長時間露出撮影時の時間制限を設定する

マニュアル露出モードでは、シャッタースピードをBULB にセットすると、シャッターボタンが押されている間シャッターが開き続ける長時間露出撮影が行えます（ P.95）。「BULB 時間制限」が 1M にセットされている時（初期設定）には、長時間露出撮影は最長で 60 秒まで行えます。BULB 時間制限を 5M にセットすると、長時間露出撮影の時間制限が 5 分まで延長されます。

長時間露出撮影では、撮影した画像に星状ノイズが増加するのでご注意ください。ノイズ除去を ON にセットすることをおすすめします（ P.128）。

フォーカス

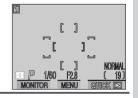
フォーカス関連の設定を行います。

AF エリア選択

カスタム NO.A（オート撮影）の時は、画面中央（ファインダーの AF フレーム内）にある被写体に自動的にピントが合います。カスタム NO.1、2 または 3 設定時には、5 つの AF エリアが使用可能となり、被写体が中央にない場合でも AF ロックを行わないでピント合わせをすることができます。AF エリア選択には以下の 3 つの項目があり、AF エリアの選択方法を設定します。

AF エリア選択	特　徴
AUTO	5 つの AF エリアのいずれかに重なる被写体のうち、最もカメラに近いものに自動的にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、選択された AF エリアが赤色に点灯します。不規則に動き回る被写体やピント合わせに時間をかけられない場合などでも、ピントの外れた画像を避けることができます。
MANUAL	マルチセレクターの操作により AF エリアを撮影者自身が選択することができます。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合、AF ロック（P.51）を使用しないでピント合わせを行う時などに適しています。
OFF	中央部の AF エリア（ファインダー中央の AF フレーム内）のみ使用してピント合わせを行います。AF エリアは液晶モニタ上に表示されません。画面中央にない被写体の場合は AF ロックを使用してピント合わせを行います。

AF-MODE

カスタム NO.1、2 または 3 設定時には、液晶モニタ点灯時に AF モードをC-AF（コンティニュアス AF）または S-AF（シングル AF）に切り換えることができます。液晶モニタ消灯時は AF-MODE のセット内容にかかわらず S-AF（シングル AF）となります。AF についての詳細は P.78 をご覧ください。

AF-MODE	特　徴
C-AF	シャッターボタンの半押しで AF ロックが行われるまで、カメラは常にAFによるピント合わせを繰り返し行うため、撮影前の時間を短縮することができます。被写体にピントが合っていなくても撮影が可能ですので、撮影前に緑色 LED の点灯を確認してから撮影を行ってください。
S-AF	シャッターボタンが半押しされている間のみ AF によるピント合わせを行い、ピントが合うと AF ロックを行います。液晶モニタ消灯時は、ピントが合った時のみ撮影を行えますが、液晶モニタ点灯時は被写体にピントが合っていなくても撮影を行うことが可能ですので、撮影前に緑色 LED の点灯を確認してから撮影を行ってください。バッテリーを節約したい場合などにセットしてください。

AF エリア選択の制限

液晶モニタ消灯時や電子ズーム（P.69）作動中は AF エリアの選択はできません。この場合、中央の AF エリアが使用されます。

AF エリア選択が MANUAL の場合

AF エリア選択が MANUAL に設定されると、5 つの AF エリアが液晶モニタに表示されますので、マルチセレクターを押して被写体がある AF エリアを選択します。被写体がどの AF エリアにもない場合などに AF ロック機能（P.51）を併用することができます。

AF スポット測光（P.105）

AF スポット測光時は、AUTO または MANUAL で選択された AF エリアのみが測光されます。

ピーキング

画面内のピントの合っている部分を撮影前に正確に確認したい場合に使用します。ピーキングは撮影画面の輪郭を液晶モニタ上で強調表示するもので、撮影された画像には影響ありません。

ピーキングモード	特　徴
MF	マニュアルフォーカス（P.98）時に、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調されます。
ON	液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が常に強調されます。
OFF	ピントが合っている部分の輪郭の強調が解除されます。

距離表示

マニュアルフォーカスセット時の距離表示（P.98）をｍ表示かft表示に切り換えることができます。

輪郭強調：輪郭の強調度合を調整する

画像を記録する際、画像が鮮明になるよう輪郭が自動的に調整されます。カスタム NO.1、2 または 3 に設定されている時は、輪郭の強弱を調整することができます。カスタム NO.A（オート撮影）設定時は被写体に応じてカメラが自動的に輪郭を調整します。
輪郭強調モードは次の 5 種類から選択できます。

輪郭強調モード	特　徴
AUTO	最適な輪郭をカメラが自動的に調整します。調整は画像によって異なります。
強	輪郭の強調を強めにセットします。個々の被写体の輪郭がはっきりとした画像になります。
標準	撮影した全ての画像を標準的な輪郭に固定します。
弱	輪郭の強調を標準よりも弱くセットします。
OFF	輪郭の強調を行いません。

輪郭強調モードについてのご注意

撮影モード時には、輪郭強調の効果は液晶モニタでは確認できません。

輪郭強調表示について

AUTO 以外に設定された場合、液晶モニタに設定されている輪郭強調マークが表示されます。

機能の詳細－応用編

ブラケティング：露出またはホワイトバランスを変えて連続撮影をする

適正な露出補正やホワイトバランスの調整を行うのが難しい場合や、撮影ごとに画像を確認して露出やホワイトバランスを調整する時間がない場合などに、ブラケティングをセットすれば、カメラが自動的に露出またはホワイトバランスをずらした連続撮影を行います。

ブラケティング	特　徴
OFF	ブラケティングは解除され、通常の露出、ホワイトバランス制御に戻ります。
ON	カメラが表示する適正露出値に対して、1 コマごとに露出をずらして撮影を行います。撮影コマ数と補正ステップを選択して行います（次ページ参照）。（露出補正）ボタンや露出補正メニューによる露出補正（P.85）がすでに行われている場合は、補正量が加算されます。露出モードが P、A および M の時はシャッタースピードが、S の時は絞りが変化します。
WB-BKT	シャッターボタンを 1 回押すと、その時セットされているホワイトバランスを中心に、赤味がかった画像、青味がかった画像の 3 コマを記録します。

ブラケティング

コントラストの高い被写体や、適正露出を決めにくい被写体を撮影する場合などにブラケティングを使用すると効果的です。ON にセットすると、右のようなメニュー画面が表示されます。撮影コマ数と補正ステップを選びます。

項目	撮影コマ数	補正ステップ	撮影順序
3, ±0.3	3	±1/3EV	+0.3, 0, −0.3
3, ±0.7	3	±2/3EV	+0.7, 0, −0.7
3, ±1.0	3	±1EV	+1.0, 0, −1.0
5, ±0.3	5	±1/3EV	+0.7, +0.3, 0, −0.3, −0.7
5, ±0.7	5	±2/3EV	+1.3, +0.7, 0, −0.7, −1.3
5, ±1.0	5	±1EV	+2.0, +1.0, 0, −1.0, −2.0

ブラケティングによる撮影を行った後、簡易再生モード (P.56) や再生モード (P.158) で画像を確認すれば、適正露出の画像を選択して残りを削除することができます。

ブラケティングの制限

次の設定とブラケティングは同時にセットすることができません。

- 連写モードのマルチ連写、UH 連写、動画 (P.108)
- BSS (P.112)
- 露出固定 (P.118)
- ノイズ除去の ON またはクリアイメージ (P.128)

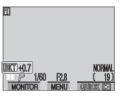
ブラケティングの撮影順序

ブラケティングは、露出に関する設定（露出モード、露出補正、シャッタースピード、絞り値、スピードライトモード、発光量補正など）に変更が加えられている場合、補正された露出値を基準に、露出のプラス側から撮影を行います。

連写について

連写モードを連写H、連写L、高速連写 (P.108) のいずれかにセットした時に、ブラケティング撮影をする場合、シャッターボタンを深く押し続けると、セットした枚数を撮影した時点でいったん停止します。連写Hの場合は、3コマのブラケティングのみ行えます。

スピードライトの自動発光と撮像感度設定

スピードライトモードが自動発光モード (P.83) にセットされている場合、スピードライトの調光は3コマブラケティングの1コマ目の調光制御が残りのコマにも適用されます。1コマ目に対して発光した場合は残りの2コマに対しても発光し、1コマ目に対して発光しない場合は残りの2コマに対しても発光しません。
撮像感度がAUTOにセットされている場合 (P.97)、1コマ目にセットされた感度で残りの2コマも撮影されます。

ブラケティングの解除

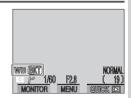
ブラケティングメニューのOFFを選択するか、カメラの電源スイッチをOFFにセットすると解除されます。ブラケティングは、カメラがオートパワーオフ状態 (P.143) になった場合や、カスタムNO.A（オート撮影）がセットされた場合も解除されます。

ブラケティングの確認

ブラケティングのセット中は、 マークが表示パネル上で点滅し、BKTマークと補正ステップが液晶モニタに表示されます。

WB-BKT：ホワイトバランスブラケティング

ホワイトバランスメニューで、どのホワイトバランスにセットするべきか判断しにくい場合や、撮影ごとに液晶モニタで確認せずにホワイトバランスを変えて撮影したい場合などに、ホワイトバランスブラケティングを使用すると効果的です。ホワイトバランスブラケティングのセット中は、シャッターボタンを深く押し込むごとに、赤味がかった画像、設定されているホワイトバランスで撮影された画像、青味がかった画像の 3 コマが記録されます。

コンパクトフラッシュカードへの書き込み時間

シャッターボタンを深く押し込むたびに 3 コマずつ記録されますので、ホワイトバランスブラケティング設定時の書き込み時間は通常の 3 倍かかります。

ホワイトバランスブラケティングの制限

次の設定とホワイトバランスブラケティングは同時にセットすることができません。

- 画質モードの HI (P.73)
- 単写以外の連写モード (P.108)
- BSS (P.112)
- 露出固定 (P.118)
- ノイズ除去の ON またはクリアイメージ (P.128)

ホワイトバランスブラケティング表示について

ホワイトバランスブラケティング設定中 は、WB-BKT（ホワイトバランスブラケティング）マークが液晶モニタに表示されます。

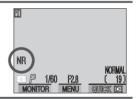
ノイズ除去

撮影時に生じるデジタル画像特有のノイズを、ノイズ除去モードを ON またはクリアイメージにセットすると軽減することができます。

ノイズ除去モード	特　徴
OFF	ノイズ除去機能を OFF にします。
ON	シャッタースピードが 1/15 秒以下の低速の場合のみ有効になります。長時間露出撮影時などに撮影画面上の暗部に生じる星状ノイズを軽減します。スピードライトの使用が可能で、すべての画像サイズでセットできます。撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が終了するまでに通常より 2 倍以上時間がかかります。
クリアイメージ	SXGA 以下の画像サイズの場合のみセットできます。ノイズを軽減し、カラーグラデーションを美しく撮影できます。シャッターボタンが深く押し込まれると、露光が 2 回行われ、シャッター幕が閉じてから 3 回目の露光が行われます。これら 3 つの画像を元に画像処理を行いノイズを軽減した 1 コマを作成して記録します。撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が終了するまでに通常より 3 倍以上時間がかかります。

ノイズ除去の制限

BSS(P.112)、ブラケティング (P.124)、または単写以外の連写モード (P.108) がセットされている場合は、ノイズ除去を ON およびクリアイメージモードにセットできません。また、クリアイメージモードは画像サイズが FULL 、3：2 または UXGA では使用できません。これらの画像サイズがセットされている時にクリアイメージモードがセットされると、画像サイズは自動的に SXGA になります。クリアイメージモードが解除されると元の画像サイズに戻ります。

クリアイメージモード使用上のご注意

クリアイメージモードセット時は動いている被写体を撮影する場合や、撮影時にカメラがブレたりすると、意図した通りの結果が得られませんのでご注意ください。

スピードライトの使用

クリアイメージモードセット時は内蔵スピードライト、外付けスピードライトともに自動的に発光禁止になります。

ノイズ除去表示について

ノイズ除去モードまたはクリアイメージモードにセットすると、NR マークが液晶モニタに表示されます。

撮像感度を上げた時に生じる星状ノイズについて

撮像感度 (P.96) を上げた時にも、撮影画面上に星状ノイズが生じる場合があります。この場合、撮影時のシャッタースピードが 1/15 秒以下の低速シャッタースピードであれば、ノイズ除去を ON にセットすることにより星状ノイズを軽減することができます。

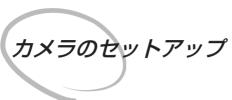
ユーザー設定クリア：カメラの設定内容を初期設定に戻す

現在設定されているカスタム NO. の項目を全て初期設定に戻します。表のように設定されているカスタム NO. の各項目と再生モードの各項目も初期設定に戻ります。ユーザー設定クリアメニューでは以下の 2 つの選択が可能です。

設　定	内　容
いいえ	ユーザー設定のクリアを行わずメニューを終了します。
はい	各項目の設定を初期設定に戻します。

ユーザー設定クリアを実行すると、現在設定されているカスタム NO. の各項目のセット内容が初期設定にリセットされます。現在設定されていないカスタム NO. の項目は初期設定にリセットされず、各項目のセット内容は保持されます。

メニュー項目	初期設定
ホワイトバランス	オート *
測光方式	マルチ測光
連写	単写
BSS	OFF
階調補正	AUTO
彩度調整	標準
コンバータ	OFF
露出制御	
露出固定	OFF
BULB 時間制限	1M

メニュー項目	初期設定
フォーカス	
AF エリア選択	AUTO
AF-MODE	C-AF
ピーキング	MF
輪郭強調	AUTO
ブラケティング	OFF
ノイズ除去	OFF

* 微調整した値もクリアされます。

次の項目のセット内容は、全てのカスタム NO. 設定と再生モードで初期設定に戻ります。ただし、距離表示、連番モード、FUNC.、日時設定、ビデオモード、USB、言語のセット内容は、ユーザー設定のクリアを行っても保持されます。

メニュー項目		初期設定
フォルダ設定 *		NIKON
モニタ設定		
	モニタ表示	ON
	画面の明るさ	3
	画面の色合い	6
操作音		ON
ボタン設定		
	ボタン記憶	全ての項目の機能を記憶
	AE-L, AF-L	AE-L & AF-L

メニュー項目		初期設定
スピードライト		
	発光量補正	±0
	発光切替	AUTO
	撮影確認発光	OFF
info.txt		OFF
パワーオフ設定		30 秒
ズーム		
	電子ズーム	ON
	ズーム時 F 値保持	OFF

* 再生メニュー項目の「フォルダ設定」は「全てのフォルダ」に設定されます。

カメラのセットアップ

SET-UP メニュー

この章では、SET-UP メニューの各項目を紹介します。SET-UP メニューでは、カメラの基本的な設定や、コンパクトフラッシュカードのフォーマット、撮影した画像を保存するフォルダの選択などを行います。

SET-UP メニューの各項目

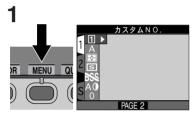
SET-UP メニューでは、コンパクトフラッシュカードのフォーマットや日時設定など、基本的な設定を行います。設定できる項目は操作モードにより異なります。

（撮影モード）：カスタム NO.A（オート撮影）設定時

カスタム NO.A（オート撮影）設定時の SET-UP メニューではカメラの基本的な設定 6 項目をセットすることができます。

1

モードセレクターを （撮影モード）にセットします。

2

MENU（メニュー）ボタンを押して SET-UP メニュー画面を表示させます。

（撮影モード）：カスタム NO.1、2 または 3 、（再生モード）設定時

（撮影モード）でのカスタム NO.1、2 または 3 設定時には、カスタム NO.A（オート撮影）設定時の SET-UP メニュー項目に加え、さらに応用的なカメラの各機能をセットすることができます。カスタム NO.1、2 または 3 設定時の SET-UP メニュー画面を表示させるには、まず撮影メニュー画面を表示させます。
（再生モード）での SET-UP メニューでは、テレビやビデオでの再生のためのビデオモードのセットやメニュー画面やメッセージ画面に表示される言語の選択などを行います。

1

MENU（メニュー）ボタンを押して、セットされているモードのメニュー画面を表示させます。

2

マルチセレクターを操作して、ページタブを選択します（選択されたページタブは赤く表示されます）。

3

SET-UP メニューを表わす「S」のタブを選択します。

4

SET-UP メニュー画面を表示させます。

カメラのモードと設定できるメニュー項目は下表のようになります。

メニュー項目	📷		▶	👁
	カスタム NO.A	カスタム NO.1,2,3		
フォルダ設定			—*	137—141
操作音				142
パワーオフ設定				143
カードフォーマット				144
連番モード			—	144—145
日時設定				145
モニタ設定	—			146—147
ボタン設定	—		—	148—150
ズーム	—		—	151
スピードライト	—		—	152—153
info.txt	—		—	154
ビデオモード	—	—		154
インターフェース	—		—	155
言語（LANG）	—			156
削除禁止	—		—	156

* ▶（再生モード）の「フォルダ設定」（👁 P.169）は、再生メニュー項目の中にあります。

フォルダ設定：撮影した画像を管理する

初期設定では、撮影した画像はコンパクトフラッシュカードの中の「NIKON」という名称のフォルダに保存されます。再生時に画像を見つけやすくするため、新しくフォルダを作成して、画像を分類して保存することができます。サブメニューの「フォルダ操作」では、フォルダの新規作成、名称変更、フォルダ削除、画像や動画の記録フォルダおよび画像の再生フォルダの選択などが行えます。

フォルダ操作：新規作成、名称変更およびフォルダ削除

「フォルダ設定」メニューの中の「フォルダ操作」サブメニューによってフォルダの新規作成、名称変更およびフォルダ削除を行います。

DCF について

このカメラは Desigin rule for Camera File system (DCF) に準拠しています。このファイルシステムでは、3 桁の数字とそれに続く名称（例：100NIKON など）がフォルダ名となります。各フォルダには 200 枚の画像を保存することができます（コンパクトフラッシュカードの容量などによってはそれ以下になる場合があります）。フォルダ内の容量がいっぱいになると、新しいフォルダが自動的に作成され、同じ名称に違う数字をつけて新しいフォルダ名（例：101NIKON など）とします。ほとんどの場合、フォルダ名の数字は無視できますが、カメラは同じ名前と違う数字を持つフォルダを同一フォルダとみなします。例えば、「100NIKON」フォルダと「101NIKON」フォルダは、ともに「NIKON」フォルダとして表示されます。コンパクトフラッシュカードの内容をパソコン上で見る場合は、フォルダ名の名前が同じでも数字が違えば違うフォルダとして表示されます。

フォルダの新規作成

1

マルチセレクターを操作して、「新規作成」を選択します。

2

「新規フォルダ名称（NIKON)」画面を表示させます。

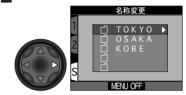
3

変更したい文字を選択します。

4

入力する文字を選択します。フォルダ名には A から Z までの大文字、数字、スペースを使用することができます。手順 3 と手順 4 を繰り返して 5 文字の名称を完成させます。

5

最後の文字を選択した後でマルチセレクターの右 ▷ を押すと新規フォルダが作成されます。「フォルダ設定」で別のフォルダが選択されるまで、この新規フォルダにこれから撮影される画像が保存されることになります。フォルダの新規作成をキャンセルする場合は MENU（メニュー）ボタンを押します。

フォルダの名称変更

1

マルチセレクターを操作して、「名称変更」を選択します。

2

「名称変更画面」（その 1）に切り換わり、既存のフォルダ名が表示されます（NIKON フォルダを名称変更することはできません）。

3

名称変更したいフォルダを選択します。

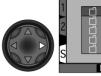
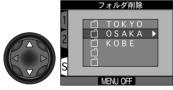
4

「名称変更画面」（その 2）を表示させます。

5

前ページの「新規作成」の手順 3 〜手順 5 と同様にして、新しい名称を完成させます。

フォルダの削除

1

マルチセレクターを操作して、「フォルダ削除」を選択します。

2

フォルダのリスト画面を表示させせます。

1

削除したいフォルダを選択します（NIKON フォルダを削除することはできません）。

2

「フォルダ削除画面」が表示されます。マルチセレクターで「はい」または「いいえ」を選択し、右▷を押して決定します。

- 「いいえ」を選択して決定、または MENU（メニュー）ボタンを押すと、フォルダの削除は行われずにセットを終了します。
- 「はい」を選択して決定すると、フォルダが削除されます。

非表示設定・プロテクト設定された画像について

選択したフォルダ内に非表示またはプロテクト設定された画像がある場合、そのフォルダは削除できませんが、フォルダ内の非表示およびプロテクト設定されていない画像は全て削除されます。

削除禁止

削除禁止が ON にセットされている場合（P.156）、フォルダの削除は行えません。

フォルダの選択

フォルダを作成すると、画像を再生するフォルダや 📷（撮影モード）で記録した画像を保存するフォルダを選択することができます。フォルダを選択すると、別のフォルダが選択されるまで、撮影された画像は全てそのフォルダに記録されます。また、そのフォルダは画像を再生するフォルダとして使用されます。

1

マルチセレクターを操作して、フォルダ名を選択します。

2

選択されたフォルダ名が液晶モニタに表示されます（NIKON フォルダが選択されている場合、フォルダ名は表示されません）。

UH 連写について

UH 連写 (P.109) セット時に撮影される 100 枚の画像は、カメラが自動的に作成する N_で始まる専用フォルダに保存されます。これらのフォルダは、フォルダ設定メニューで再生用に選択したり、フォルダごと削除することはできますが、新しい画像を記録することはできません。

操作音：音で確認する

カメラの状態を知らせる操作音の ON/OFF をセットします。

設　定	内　容
ON	以下の場合にカメラの操作音が 1 回鳴ります。 ● 撮影モードでカメラが撮影可能な状態になった時 ● シャッターボタンを深く押し込んで、シャッターがきれた時 ● マニュアルフォーカスがセットされた時、または、「コンバータ」メニューで OFF 以外にセットされた時（コンバータモードが設定された時） ● 画像が削除された時、または、コンパクトフラッシュカードがフォーマットされた時 ● 再生メニューでプロテクト設定、非表示設定、プリント指定または転送画像設定がセットされた時 ● 「操作音」が ON にセットされた時 以下の場合にはカメラの操作音が 2 回鳴ります。 ● シャッターボタンの半押しでピントが合わない時（液晶モニタ消灯時） ● コンパクトフラッシュカードの記憶容量が不足している、または撮影モード時コンパクトフラッシュカードが装着されていない場合にシャッターボタンが押された時
OFF	操作音は鳴りません。動画に記録された音声は再生できます。

パワーオフ設定：バッテリーを節約する

初期設定では、カメラの操作が 30 秒間（メニュー画面が表示されている場合は 3 分間）行われない場合、オートパワーオフ機能が作動して自動的に低消費電力状態に切り換わります。パワーオフ設定メニューで、オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を、30 秒、1 分、5 分、30 分のいずれかにセットすることができます。

（撮影モード）でカスタム NO.1、2 または 3 設定時には、オートパワーオフ機能の作動時間は、どのカスタム NO. でも SET-UP メニューでセットすることができますが、セットされた作動時間は全てのカスタム NO. に適用されます。（再生モード）時のオートパワーオフ機能の作動時間は、撮影モードとは無関係に再生モードの SET-UP メニューから独自にセットすることができます。

6V リチウム電池（2CR5）使用時のご注意

6V リチウム電池（2CR5）を使用して、電源スイッチを ON にセットしたまま長時間カメラを放置しておくと、カメラ本体が熱くなる場合があります。6V リチウム電池（2CR5）ご使用の場合は、パワーオフ設定を 5 分かそれより短い時間にセットしておくことをおすすめします。

オートパワーオフについて

オートパワーオフ状態では、カメラの各機能が停止し、カメラ本体も実質的に電源 OFF 状態になり、電力がほとんど消費されません。MONITOR（|▭|）（モニタ）ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、オートパワーオフ状態は解除されます。

AC アダプタ使用時のご注意

別売の専用 AC アダプタ使用時は、パワーオフ設定のセット内容にかかわらずオートパワーオフ機能の作動時間は 30 分に固定されます。ただし、オーディオビデオケーブルが接続されている場合には、液晶モニタが消灯になった後もビデオ信号は継続して出力されます。

カードフォーマット

付属のコンパクトフラッシュカードはフォーマット済みですが、他のコンパクトフラッシュカードを使用する場合には、フォーマットが必要となります。フォーマットの詳細は「基本操作ー撮影前の準備」(P.37)をご覧ください。

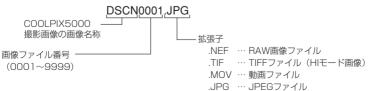
連番モード：ファイルに番号をつける

COOLPIX5000で撮影した画像ファイルや動画ファイルには、いずれもDSCNと4桁の番号が付けられます(例：DSCN0001.JPG～DSCN9999.JPGなど)。
これらのファイルが保存されるフォルダは3桁のフォルダ番号が付けられます（例：100NIKON)。
画像ファイルの番号はフォルダごとに撮影順に0001から9999まで自動的に付けられるため、複数のコンパクトフラッシュカード、フォルダを使用すると同じ名前のファイルが複数存在する状態になります。連番モードをONにセットすると、コンパクトフラッシュカードを交換しても、画像ファイルは撮影順に連続した番号が付けられます。このため、同一名のファイルが作成されず、画像をパソコンに転送して管理する場合などに便利です。

ファイル番号とフォルダ番号について

連番モードの設定がOFFの場合、新規フォルダが作成された時は、画像ファイルは常に0001から始まります。フォルダの中の画像ファイル番号が9999を越える場合、またはフォルダ内に200枚の画像がある場合は、連番モードの設定がON／OFFにかかわらず、フォルダ番号に1を加えたフォルダ（例：100NIKON→101NIKON）を自動的に新規作成し（3桁のフォルダ番号は、100から始まり999まで連番で付けられます）、そのフォルダ内に新たに0001から連番で画像ファイルを保存していきます。

連番モードは次の 3 種類から選択できます。

設　定	内　容
ON	コンパクトフラッシュカードを交換したり、記録フォルダを変更した場合にも、画像ファイルには撮影順に連続した番号が付けられます。このため、同じ名前のファイルが作成されず、画像をパソコンに転送して管理する場合などに便利です。
OFF	画像ファイルの番号は、フォルダごとに撮影順に 0001 から 9999 まで自動的に付けられます。複数のコンパクトフラッシュカード、フォルダを使うと例えば DSCN0001.JPG という同名のファイルが複数存在する状態になります。
リセット	連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び 0001 から連番を付けます。すでにファイル番号がある場合は、コンパクトフラッシュカード内にある一番大きいファイル番号の次の番号より連番を付けます。

日時設定

日付と時刻をセットします。詳細は「基本操作ー撮影前の準備」（P.40）をご覧ください。

ファイル名について

COOLPIX5000 で撮影した画像のファイル名は次のようになります。

モニタ設定

画面の明るさ、画面の色合いをセットします。カスタム NO.1、2 または 3 設定時は、レリーズ応答速度を調整したり、液晶モニタの表示の方法、およびレビュー画（撮影画像の静止画像）表示の方法をセットできます。

モニタ表示

モニタ表示はカスタム NO.1、2 または 3 設定時のみセットでき、液晶モニタが点灯になる状況、および撮影後にレビュー画面が表示されるかどうかをセットします。セットされた設定はカスタム NO.1、2 または 3 設定時のみ有効で、カスタム NO.A（オート撮影）設定時および再生モード時のモニタ機能は通常通りになります。

設　定	内　容
モニタ ON	電源スイッチを ON にセットすると液晶モニタが自動的に点灯します。撮影後にレビュー画面が表示されます。
レビュー ON	電源スイッチを ON にセットしても液晶モニタは消灯のままですが、撮影後に点灯してレビュー画面を表示します。バッテリーを節約したい時に便利です。
レビュー OFF	電源スイッチを ON にセットすると液晶モニタが自動的に点灯しますが、撮影後にレビュー画面は表示されず、撮影画面に切り換わります。
モニタ OFF	電源スイッチを ON にセットしても液晶モニタは消灯のままです。MENU（メニュー）ボタンを押して撮影メニューを表示させると点灯します。バッテリーの節約に最も適しています。

モニタ表示のセット内容にかかわらず、液晶モニタの点灯・消灯は、MONITOR（|▭|）（モニタ）ボタンを押すことによって、いつでも切り換えることができます。

レリーズ応答速度

シャッターボタンを押してから、実際に画像が撮影されるまでに生じる若干の時間差を調整します。

設　定	内　容
ノーマル	通常の撮影を行います。
クイックレスポンス *	シャッターボタンを押してから、実際に画像が撮影されるまでに生じる時間差を最小限に抑えます。また、撮影後、液晶モニタに撮影した画像が数秒間表示されている間に撮影を行う場合 ** 、フォーカス、露出、ホワイトバランスは、直前に撮影した条件で固定されるため、「ノーマル」よりもスピーディーに次の撮影を行うことができます。

* 液晶モニタの画面に横線が入る場合がありますが、撮影する画像に影響はありません。

** 撮影を優先させるために内蔵スピードライトは発光しません。また、連写モードを単写にした場合、外付けスピードライトも発光しません。

画面の明るさ

液晶モニタの画面の明るさを調整します。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して画面右の矢印を上下させ、明るさを調節します（マルチセレクターの上 △ を押すと画面が明るく、下 ▽ を押すと画面が暗くなります）。調整された明るさは、画面ですぐに確認できます。

画面の色合い

液晶モニタの画面の色合いを調整します。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して画面右の矢印を上下させ、色合いを調節します（マルチセレクターの上 △ を押すと画面は青みがかり、下 ▽ を押すと画面は赤みがかります）。調整された色合いは、画面ですぐに確認できます。

画面の明るさ

カメラがテレビやビデオに接続されている場合（P.178）、「画面の明るさ」で液晶モニタを明るくするとテレビ画面の画像も明るくなります。

ボタン設定

サブメニューの「ボタン記憶」により、カメラの電源OFF時に各機能のセット状態を記憶したり、「FUNC.」により FUNC.（FUNC.）ボタンで他の機能をセットできます。また、AE-L/AF-L ボタンの機能をセットできます。

ボタン記憶：各機能のセット状態を記憶する

カスタム NO.1、2 または 3 設定時、カメラの電源スイッチを OFF にセットした時に各機能のセット状態を記憶しておくかどうかの設定ができます。チェックボックスがチェックされていない機能は、電源スイッチが OFF にセットされた時に初期設定にリセットされます。

設　定	記憶する機能	初期設定 *1
	スピードライトモード	自動発光または 赤目軽減自動発光 *2
	フォーカスモード	通常 AF
MODE	露出モード	プログラムオート
	露出補正	±0

*1：□ チェックをはずした時は初期設定に設定されます。
*2：前回、最後に赤目軽減自動発光モードにセットして撮影を行っていた場合、赤目軽減自動発光モードになります。

項目を選択してマルチセレクターの右を押すと、選択された項目が ☑ チェック済み（すでにチェック済みの場合は、□ チェックがはずれた状態）となります。「設定終了」を選択してマルチセレクターの右 ▷ を押すとセットが完了します。

FUNC.：FUNC.（FUNC.）ボタンに別の機能を割り当てる

カスタムNO.1、2または3設定時、FUNC.（FUNC.）ボタンに機能を割り当てることにより、カスタムNO.の選択、ホワイトバランスの調整、測光方式の設定などを、メニュー画面を表示せずにセットできます。また、フォーカスモードやスピードライトモードをカメラ背面のボタンを押さないでセットすることができます。次の各機能をFUNC.（FUNC.）ボタンに割り当てることができます。

設　定	内　容
カスタムNO.	FUNC.（FUNC.）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、カスタムNO.を選択することができます。ボタンを押すと、表示パネルのシャッタースピード／絞り値表示部に選択されたカスタムNO.が表示されます。
▲❀⏲	FUNC.（FUNC.）ボタンを押すことにより、フォーカスモードをセットすることができます。
⚡👁	FUNC.（FUNC.）ボタンを押すことにより、スピードライトモードをセットすることができます。
ホワイトバランス	FUNC.（FUNC.）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、ホワイトバランスをセットすることができます。ボタンを押している間、**W-BAL**が表示パネルに表示され、シャッタースピード／絞り値表示部に現在セットされているホワイトバランスが次のように表示されます。**PrE**（プリセット：前回プリセットされたホワイトバランスに設定されます）、**Sun**（太陽光）、**Inc**（電球）、**Flu**（蛍光灯）、**Clo**（曇天）、**Fla**（スピードライト）、表示なし（オート）。
測光方式	FUNC.（FUNC.）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すことにより、測光方式をセットすることができます。

AE-L, AF-L：AE-L/AF-L ボタンの機能

初期設定では、AE-L/AF-L ボタンを押すと露出（AE）とフォーカス（AF）の両方がロックされます。AE-L, AF-L メニュー画面により露出（AE）とフォーカス（AF）いずれか一方のみをロックするようにセットできます。

設　定	内　容
AE-L & AF-L	AE-L/AF-L ボタンを押すと露出とフォーカスの両方がロックされます。
AE-L	AE-L/AF-L ボタンを押すと露出のみがロックされます。フォーカスはシャッターボタンを半押しするとロックされます。
AF-L	AE-L/AF-L ボタンを押すとフォーカスのみがロックされます。露出はシャッターボタンを半押しするとロックされます。

ズーム

光学ズームや電子ズームの機能をセットすることができます。

電子ズーム

電子ズームの ON/OFF を設定します。ON がセットされている場合、ズームボタンの T を押して光学ズームを最も望遠側にし、2 秒以上押し続けると自動的に電子ズームが作動します（液晶モニタ消灯時、電子ズームは作動しません）。OFF がセットされている場合、光学ズームの最も望遠側でズームボタンの T を押し続けても電子ズームは作動しません（動画撮影時を除きます P.111）。

ズーム時 F 値保持

通常、ズーミングに対応して F（絞り）値が変化しますが、ズーム時 F 値保持を ON にすると、絞り優先オートまたはマニュアル露出モードの場合、セットした絞り値の変化を最小限におさえながらズーミングを行うことができます。

設　定	内　容
OFF	ズーミングに対応して F（絞り）値が変化します。
ON	露出モードが A、M の場合、セットした絞りの変化を最小限におさえながらズーミングを行います。ただし、ズーミングによって制御範囲を超えてしまうことがあります。絞りを約 F5 ～ F8 の範囲でご使用ください。

スピードライト

内蔵スピードライトや外付けスピードライトの発光量補正や発光切替の設定および撮影確認発光の設定を行います。

発光量補正

撮影目的や撮影条件に合わせてスピードライトの発光量を補正します。－ 2EV から＋ 2EV まで、1/3EV ステップで 12 段階の発光量補正がセットできます。

SETUP セットアップ

発光切替：外付けスピードライト使用時に

外付けスピードライトをカメラのアクセサリーシュー（☞ P.192）に装着して使用する場合の内蔵スピードライトの ON/OFF をセットします。

設　定	内　容
AUTO	外付けスピードライト使用時は、外付けスピードライトが発光します。外付けスピードライトを使用しない場合、内蔵スピードライトは通常通り機能します。
ALL	外付けスピードライトが内蔵スピードライトと同時に発光します。
内蔵発光禁止	内蔵スピードライトのプリ発光はしますが、本発光はしません。ホットシューアダプター AS-15 を使用した場合、内蔵スピードライトをプリ発光させずに外付けスピードライトのみを発光させることができます。AS-15 を使用することにより、SB-11・14 などグリップタイプのスピードライトが使用可能です。

内蔵スピードライト使用時のご注意

内蔵スピードライトを使用する時は、レンズフードを取りはずして使用してください。

アクセサリーシューに外付けスピードライトを装着した場合のプリ発光について

アクセサリーシューに外付けスピードライトを装着した場合、カメラのスピードライト測光回路の精度を向上させるため、撮影直前に内蔵スピードライトがプリ発光しますが、この発光は撮影直前に行われるため、撮影画像には影響がありません。

撮影確認発光：シャッターがきれたことを確認する

シャッターをきって撮影が完了した直後にスピードライトを発光させ、被写体に撮影完了を知らせることができます。スピードライトを使用しないでポートレート撮影を行う場合などに便利です。使用する場合は ON にセットします。初期設定では OFF にセットされています。

撮影確認発光について

撮影確認発光とは、撮影時にスピードライトが発光しなかった場合やスピードライトモードを発光禁止にセットして撮影を行った時などに、撮影後にスピードライトを発光させ、撮影が行われたことを知らせる機能です。博物館や水族館など、スピードライトの使用が禁止されている場所や、使用しない方が望ましい場所で撮影を行う場合、スピードライトモードを発光禁止にセットして撮影を行っても、撮影後スピードライトが発光してしまうため、必ず撮影確認発光を OFF にセットして撮影を行ってください。

連写モードについて

撮影確認発光は、連写モードが高速連写、UH 連写、動画モード時にセットされている時には行われません。

外付けスピードライト使用時のスピードライトモード表示について

外付けスピードライトを装着して発光切替を AUTO にセットした時の、表示パネルと液晶モニタに表示されるスピードライトモード表示は下表の通りです。外付けスピードライトのレディライトが消灯している時、カメラは外付けスピードライトを認識できません。外付けスピードライトのレディライトが点灯していることを確認して撮影を行ってください。

スピードライトモード	表示パネル	液晶モニタ
自動発光モード	AUTO	A
発光禁止モード		
赤目軽減自動発光モード	AUTO	
強制発光モード		
スローシンクロモード		

info.txt：撮影データを保存する

「info.txt」を ON にセットすると、撮影時の各種データがテキストファイル（info.txt）として画像記録フォルダに保存されます。保存された info.txt はパソコン上で、ノートパッドや SimpleText などで開くことができます。「info.txt」を OFF にセットした場合（初期設定では OFF になっています）、撮影時のデータがテキストファイルとして保存されることはなくなりますが、画像情報表示画面（P.162）で見ることができます。

「info.txt 」を ON にセットすると下記のような画像ごとの撮影データがテキストファイルとして保存されます。

- 画像ファイル名／種類
- カメラ機種名／ファームウェアバージョン
- 測光方式
- 露出モード
- シャッタースピード
- 絞り値
- 露出補正値
- 焦点距離と電子ズーム
- 階調補正モード
- 感度
- ホワイトバランス
- 輪郭強調
- 撮影日時
- 画像サイズと画質モード
- 彩度調整
- フォーカスエリア

画像が撮影された順に一覧表示され、画像と画像の間は一行分空白となります。

ビデオモード：ビデオの出力方式を選択する

ビデオ出力の方式を NTSC または PAL のいずれかにセットできます。

設　定	内　容
NTSC	NTSC にセット（日本国内のビデオ出力方式）。
PAL	PAL にセット（欧州のビデオ出力方式）。ビデオケーブル接続中に液晶モニタの表示は行いません。

インターフェース：ビデオ出力方式や USB 通信方式を選択する

ビデオ出力方式や、パソコンと接続する時の USB 通信方式を選択します。

ビデオモード：ビデオの出力方式を選択する

ビデオ出力の方式を NTSC または PAL のいずれかにセットできます（P.154）。

USB：USB 通信方式を選択する

使用するパソコンのOS（オペレーティングシステム）によって USB 通信方式が異なります。USB ケーブルでカメラとパソコンを接続する前に、使用するパソコンの OS に合わせて USB 通信形式を選択します。

OS	USB 通信方式
Windows XP Home Edition/ Professional Mac OS X（10.1.2 以降）	PTP または Mass Storage
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE) Mac OS 9.0、9.1、9.2	Mass Storage

Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 98 Second Edition (SE)、Mac OS 9をご使用のパソコンにCOOLPIX5000を接続する場合は、SET-UPメニューの「インターフェース＞USB」を必ず「**Mass Storage**」に設定してください（初期設定は「**Mass Storage**」です）。「**PTP**」に設定してパソコンに接続した場合は、下記の要領でパソコンとの接続をはずしてください。また、再度パソコンと接続する場合は、必ず「**Mass Storage**」に設定してください。

Windows 2000 Professionalの場合：
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されます。「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

Windows Millennium Edition (Me)の場合：
「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されます。「キャンセル(中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

Windows 98 Second Edition (SE)の場合：
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されます。「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

Mac OS 9の場合：
「USB装置"Nikon Digital Camera E5000_PTP"に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？」と表示されます。「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

言語（LANG）：表示する言語を選択する

メニュー画面やメッセージ画面に表示する言語を切り換えることができます。

設定	内容
D	ドイツ語にセット
E	英語にセット
F	フランス語にセット

設定	内容
J	日本語にセット
S	スペイン語にセット

削除禁止：誤って画像を削除しないようにする

記録されている画像を誤操作によって削除することを防止します。「削除禁止」がONの場合は、🗑（AF）（削除）ボタンでの削除、再生メニューの削除機能、SET-UPメニューでのカードフォーマットなど、全ての削除機能が行えなくなります。OFFの場合は、通常通りに削除機能やカードフォーマットが行えます。

画像の再生

モードセレクターを ▶（再生モード）にセットした時に実行できる操作について説明します。

基本的な再生

カメラの背面にあるボタン、マルチセレクターおよびコマンドダイヤルを使用する再生モードの操作について説明します。

再生メニュー

再生メニューで行う操作について説明します。

テレビ画面で画像を再生する

カメラをテレビやビデオに接続して、撮影した画像をテレビ画面で再生する方法について説明します。

基本的な再生

1 コマ再生モードとサムネイルモード

モードセレクターを ▶（再生モード）にセットすると、液晶モニタには最後に撮影された画像が表示されます。ここでは、マルチセレクター、コマンドダイヤルおよびカメラの背面にあるボタンを使用する再生モードの操作について説明します。

1 コマ再生モード

1 コマ再生モードでは次の操作が行えます。

機能	ボタン	内　容
他の画像を見る	（マルチセレクター）	マルチセレクターの上 △ または左 ◁ を押すと現在液晶モニタに表示されている画像の 1 コマ前の画像を見ることができ、マルチセレクターの下 ▽ または右 ▷ を押すと現在液晶モニタに表示されている画像の 1 コマ後の画像を見ることができます。マルチセレクターを押し続けると、早送りすることができます。
複数の画像を見る	▦（W）	▦（W）ボタンを押すと、4 コマのサムネイル画像が表示されます（P.160）。
画像を削除する	🗑（AF）	🗑（AF）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、「はい」か「いいえ」を選択し、マルチセレクターの右 ▷ を押すと選択が実行されます。 削　除 / 1枚削除します よろしいですか？ / いいえ / は　い▷ / MENU OFF ●「いいえ」を選択すると再生モードに戻ります。 ●「はい」を選択すると画像が削除されます。
拡大表示する	T（🔍）	ズームボタンの T（🔍）を押すと、拡大表示モードに切り換わります（P.161）。拡大表示モードでは、マルチセレクターで画面をスクロールさせ、見たい部分に移動できます。拡大表示を解除するにはズームボタンの W を押します。

機能	ボタン	内　容
画像情報を見る	(コマンドダイヤル)	コマンドダイヤルを回すと画像情報表示画面に切り換わります（ P.162）。
動画を再生する	(動画再生ボタン)	動画撮影されたファイルの画面上には が表示されます。 ボタンを押すと動画が再生されます（ P.164）。
再生メニューを表示する	MENU	MENU（メニュー）ボタンを押すと再生メニュー画面が表示され、もう一度押すと 1 コマ再生モードに戻ります（ P.165）。
RAW 画像を HI 画像に変換する	**CONVERT**	RAW で撮影された画像は、1 コマ再生モード時に HI 画像に変換することができます。 1　**CONVERT** ボタンを押すと、「RAW 画像を HI 画像に変換しますか？」という画面が表示されます。マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▷ を押すと選択が実行されます。 RAW ➔ HI / ＲＡＷ画像を ＨＩ画像に 変換しますか？ / いいえ▶ / はい • **いいえ：** 再生している RAW 画像は HI に変換されません。 • **はい：** 再生している RAW 画像を HI に変換して別画像として保存します。 2　RAW 画像を HI 画像に変換すると、「RAW 画像を削除しますか？」という削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの △ または ▽ を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、▷ を押すと選択が実行されます。 削　除 / ＲＡＷ画像を 削除しますか？ / いいえ / はい ▶ • **いいえ：** 元の RAW 画像は削除されず、保存されます。 • **はい：** 元の RAW 画像は削除されます。

RAW 画像を HI 画像に変換する場合のご注意

RAW 画像を HI 画像に変換すると、新しいファイル名となり、画像ファイルの拡張子が .NEF から .TIF に変わります。HI 画像に変換された画像ファイルは、コンパクトフラッシュカードに記録されますので、コンパクトフラッシュカードの空き容量を十分に確保してから変換してください（1 画像あたり、約 15MB の空き容量が必要です）。

サムネイルモード：複数の画像を見る

1コマ再生モード時に W（▦）ボタンを押すと、4コマのサムネイル画像が表示されます。サムネイルモードでは、サムネイル表示をコマ送りしながら選択でき、選択した画像を1コマ再生したり、削除したりすることができます。

機　能	ボタン	内　容
選択画像の切り換え	マルチセレクター	マルチセレクターを押すと、選択画像を示す黄色の枠型カーソルが移動します。
画面のスクロール	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回すと、1ページ分の画面のスクロールを行います。
表示コマ数の切り換え	▦（W）／T	4コマ表示時に▦ボタンを押すと9コマ表示に切り換わります。T ボタンを押すと、9コマ表示時は4コマ表示に、4コマ表示時は選択画像の1コマ再生画面に切り換わります。
選択された画像の削除	🗑（AF）	🗑（AF）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上△または下▽を押して、「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターの右▷を押すと選択が実行されます。 ［画面表示：削　除／1枚削除します よろしいですか？／いいえ／は　い▷／MENU OFF］ •「いいえ」を選択すると画像を削除せずにサムネイルモードに戻ります。 •「はい」を選択すると選択画像が削除されます。

動画再生について

サムネイルモード時に動画再生を行うことはできません、1コマ再生モードにセットして、動画再生を行ってください。

拡大表示モード：画像を大きく見る

１コマ再生モード時にズームボタンの🔍（T）を押すと表示された画像を拡大して見ることができます。

機　能	ボタン	内　容
画像の拡大	(🔍) T	最大 6.0 倍まで画像を拡大します。拡大表示中は画面の左上に🔍表示と倍率が表示されます。
画面のスクロール	▲▼◀▶	画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。
拡大表示の解除	W	拡大表示モードを解除して、通常の１コマ再生モードに戻ります。

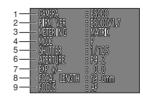
拡大表示について

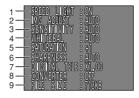
- 拡大表示は、UH 連写の画像および動画では行なわれません。
- 画像モードが RAW および HI の画像では、拡大画像の表示までに時間がかかります。

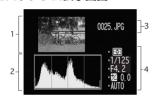
画像情報

１コマ再生モードで表示される画像には画像情報が表示され、5 種類の画像情報表示画面に切り換えることができます。

コマンドダイヤルを回すと、画像情報表示画面は次のように切り換わります。

1. 基本画面→ 2. 詳細情報表示画面 1 → 3. 詳細情報表示画面 2 → 4. ヒストグラム表示画面→ 5. ピーキング表示画面

1. 基本画面

1 撮影日付
2 撮影時刻
3 画像サイズ
4 画質モード
5 フォルダ名
6 ファイル名
7 バッテリーチェック表示
8 転送マーク
9 プリント表示
10 プロテクト表示
11 表示画像番号／総画像数

2. 詳細情報表示画面 1

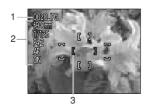
1 撮影カメラの機種
2 ファームウェアのバージョン
3 測光方式
4 露出モード
5 シャッタースピード
6 絞り値
7 露出補正値
8 焦点距離
9 フォーカスモード（MF 時には設定距離）

3. 詳細情報表示画面 2

1 スピードライト

2 階調補正

3 感度（ISO 相当）

4 ホワイトバランス

5 彩度調整

6 輪郭強調

7 電子ズームの倍率

8 コンバータ

9 撮影画像のファイルサイズ

4. ヒストグラム表示画面

1 サムネイル画像をハイライト表示
（画像のハイライト部分を白／黒の点滅で表示）

2 ヒストグラム
（明るさの分布を表示：横軸は輝度 [左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります]を示し、縦軸はドット数を示します）

3 ファイル名

4 撮影情報
（測光方式、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、感度）

5. ピーキング表示画面

1 ファイル名

2 撮影情報
（焦点距離、シャッタースピード、絞り値、フォーカスモード [MF 時は設定距離]、ノイズ除去）

3 ピーキング処理画像
（画像中で焦点の合っている被写体の輪郭を強調して表示、選択 AF エリアは赤色表示）

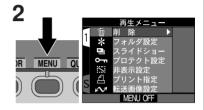
動画再生

1コマ再生モードでは、撮影された音声付き動画を液晶モニタで再生することができます。液晶モニタには動画であることを示す が表示されます。 ボタンと ボタンで動画再生の操作を行います。
動画再生中は、撮影時に録音された音声が内蔵スピーカーで再生されます。

2001.10.25 12:00 100NIKON 0025.MOV
START [1/ 1]
MONITOR MENU

機　能	ボタン	内　容
動画再生を開始／再スタート		動画再生終了後は最終フレームが1秒間表示された後、先頭フレームを静止画表示します。
動画再生を一時停止		ボタンを押した時点のフレームを静止画表示します。再スタートするには、 ボタンを押します。
1フレーム前の画像を表示		一時停止中、1フレーム前の画像をコマ送りで再生します。
1フレーム後の画像を表示		一時停止中、1フレーム後の画像をコマ送りで再生します。最終フレームの表示中にマルチセレクタの下▽または右▷を押すと、動画再生を終了して先頭フレームを静止画表示します。
音声の大きさを選択	W／T	動画再生中に W ボタンまたは T ボタンを押すと、液晶モニタに音声表示が表示され、音声の大きさを大、小または音声なしの中から選択することができます（初期設定では大にセットされています）。W ボタンを押すと音声は小さくなり、T ボタンを押すと音声は大きくなります。液晶モニタに表示される音声表示が の場合、音声の大きさは大に、 の場合は小に、 の場合は音声なしになります。

再生メニュー

画像を管理する

再生メニューによって、画像やフォルダの削除、転送画像およびプリント指定の設定や解除、プロテクト設定、非表示設定、画像の再生を自動的に行うスライドショー再生を行うことができます。また、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠したプリント指定のセットや転送画像設定も再生メニューによって行うことができます。

再生メニューを見るには、次のように操作します。

1

モードセレクターを ▶（再生モード）にセットします。

2

MENU（メニュー）ボタンを押して再生メニュー画面を表示します。

再生メニュー画面には次の項目があります。

再生メニュー	👁
削除	166–168
フォルダ設定	169
スライドショー	170–171
プロテクト設定	172
非表示設定	173
プリント指定	174–175
転送画像設定	176–177

削除：画像の削除やプリント指定・転送画像設定の解除を行う

削除メニュー画面では、次のような削除・解除が行えます。

- 選択した画像・動画の削除
- 全画像の削除
- プリント指定（P.174）の解除
- 転送画像設定（P.176）の解除

画像を削除する前に

削除された画像を元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。

プロテクト設定、非表示設定について

（プロテクト）アイコンが表示されている画像はプロテクト設定されていますので、削除選択画面に表示されますが、選択することはできず削除できません。非表示設定（P.173）されている画像は、削除選択画面に表示されず削除できません。

画像・動画を選択して削除する

選択した画像の削除は次のように行います。

1

マルチセレクターを操作して、「選択画像削除」を選択します。

2

「削除選択画面」に切り換わり画像がサムネイル表示されます。

3

削除したい画像にオレンジ色の枠型カーソルを合わせます。

4

マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、削除する画像上に 🗑(削除）アイコンを表示させます。手順 3・4 を繰り返し、削除したい全ての画像を選択します。🗑(削除）アイコンが表示されている画像を選択して、マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押すと 🗑(削除）アイコンが消えます。削除を行わないで「削除選択画面」を終了するには MENU（メニュー）ボタンを押します。

5

画像を選択した状態で (画質モード）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターの右 ▷ を押すと選択が実行されます。

- 「いいえ」を選択すると画像は削除されずに再生メニュー画面に戻ります。
- 「はい」を選択すると画像が削除されます。

全ての画像を削除する

全画像の削除は次のように行います。

1

マルチセレクターを操作して、「全画像削除」を選択します。

2

削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターの右 ▷ を押すと選択が実行されます。

- 「いいえ」を選択すると画像は削除されずに再生メニュー画面に戻ります。
- 「はい」を選択すると画像が削除されます。

プリント指定を解除する

再生メニューのプリント指定（P.174）での設定を解除します。

1 マルチセレクターを操作して「プリント指定解除」を選択し、右 ▷ を押すと解除が実行されます。

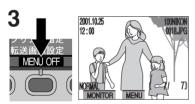
転送設定を解除する

再生メニューの転送設定（P.177）での設定を解除します。

1 マルチセレクターを操作して「転送設定解除」を選択し、右 ▷ を押すと解除が実行されます。

フォルダ設定：画像を再生するフォルダを選択する

画像を再生するフォルダを選択したり、全てのフォルダ内の画像を再生するようにしたりできます。

1

マルチセレクターを操作して、フォルダを選択します。「全てのフォルダ」を選択すると、全てのフォルダ内の画像を再生することができます。

2

マルチセレクターの右 ▷ を押すと選択が実行され、再生メニュー画面に戻ります。

3

MENU（メニュー）ボタンを押すと、選択されたフォルダ内で一番最後に撮影された画像が表示されます。

UH 連写の撮影画像の再生について

UH 連写（P.109）で撮影された画像は、N_で始まる専用フォルダに記録されます。UH 連写で撮影された画像を再生する時は、「全てのフォルダ」を選択するか、N_で始まる専用フォルダを選択してください。

参照

P.137　フォルダ設定

スライドショー：画像を自動的に順次再生する

画像を順番に自動再生します。「開始」を選択すると、現在設定されているフォルダ内の全ての画像を記録した順に一定間隔で再生します（非表示設定された画像は再生されません）。

1

マルチセレクターを操作して、「開始」を選択します。

2

マルチセレクターの右 ▷ を押すとスライドショーが開始されます。コンパクトフラッシュカード内の画像が記録された順に 1 コマずつ一定間隔で再生されます。動画は、最初のフレームが静止画再生されます。

オートパワーオフ機能

スライドショーをセットして、カメラの操作を行わないまま 30 分経過すると、オートパワーオフ機能により液晶モニタが消灯します。

スライドショー終了後

スライドショー終了後は一時停止メニュー画面が表示されます。マルチセレクターの左 ◁ を押すと再生メニュー画面に、MENU（メニュー）ボタンを押すと 1 コマ再生画面に戻ります。

スライドショーの再生中は次の操作が可能です。

機 能	操作ボタン	内 容
スライドショーの一時停止	⚡	⚡ ボタンを押すとスライドショーが一時停止し、右のような画面が表示されます。 スライドショーを再開するには、「再開」を選択してマルチセレクターの右 ▷ を押します。 一時停止 / 再 開 / インターバル設定 / MENU OFF
コマ送り／コマ戻し	(マルチセレクター)	マルチセレクターの上 △ または左 ◁ を押すとコマ戻しし、下 ▽ または右 ▷ を押すとコマ送りします。
スライドショーの終了	MENU	MENU（メニュー）ボタンを押すとスライドショーを終了して１コマ再生画面に戻ります。

インターバル設定

前ページのスライドショーのメニュー画面および上の一時停止画面で「インターバル設定」を行うことができます。「インターバル設定」では、スライドショーでの１コマの画像を表示する時間をセットします。「インターバル設定」を選択してマルチセレクターの右 ▷ を押すと、インターバル設定画面（右図）になります。セットするインターバル時間を選択し、マルチセレクターの右 ▷ を押してセットします。

インターバル設定についてのご注意

実際のインターバル時間は、画像のファイルサイズやコンパクトフラッシュカードから読み込むスピードによってはメニューでセットした時間とは異なる場合があります。

プロテクト設定：大事な画像を保護する

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を不用意に削除してしまわないようにプロテクトを設定することができます。プロテクト設定された画像は、簡易再生モードや1コマ再生モードでの削除ボタンを使用しての削除や削除メニュー画面による削除が行えなくなります。ただし、コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行うとプロテクト設定された画像も削除されますのでご注意ください。

1

マルチセレクターを操作して、画像を選択します。

2

マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押してプロテクト設定を行います。プロテクト設定された画像には ⊶（プロテクト）アイコンが表示されます。手順1と2を繰り返し、プロテクトしたい全ての画像をプロテクト設定します。プロテクト設定された画像を選択してマルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押すと、プロテクト設定が解除され ⊶（プロテクト）アイコンが消えます。

3

（画質モード）ボタンを押すとセットが完了します。画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、MENU（メニュー）ボタンを押してください。

非表示設定：再生時に画像を表示しない

画像を再生する際に表示させない画像を選択することができます。非表示設定された画像は「非表示画像選択」画面にのみ表示されます。非表示設定された画像は、１コマ再生モードでの削除ボタンを使用しての削除や削除メニュー画面による削除が行えなくなります。ただし、コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行うと非表示設定された画像も削除されますのでご注意ください。

1

マルチセレクターを操作して、画像を選択します。

2

マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して非表示設定を行います。非表示設定された画像には (非表示) アイコンが表示されます。手順１・２を繰り返し、非表示設定したい全ての画像を非表示設定します。非表示設定された画像を選択してマルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押すと、非表示設定が解除され、(非表示) アイコンが消えます。

3

（画質モード）ボタンを押すとセットが完了します。画像の非表示状態を変更しないで非表示設定を終了する場合は、MENU（メニュー）ボタンを押してください。

フォルダ内の全ての画像が非表示設定されている場合

フォルダ内の全ての画像が非表示設定されている場合、「表示可能な画像がありません」という警告表示が表示され、他のフォルダを選択し直すか、または、非表示設定で画像の非表示を解除しない限り、画像の表示は行われません。

プリント指定：プリントについての設定を行う

再生メニューで「プリント指定」を選択すると、右のような「プリント画像選択」画面が表示されます。この画面で、プリントする画像を選択し、プリント枚数を指定を行うことができます。プリント指定でのセット内容は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）でコンパクトフラッシュカードに保存されます。プリント指定を終了したら、コンパクトフラッシュカードをカメラから取り出して、従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF 対応プリンタに挿入すると、コンパクトフラッシュカードから直接画像をプリントすることができます。

1

マルチセレクターを操作して、画像を選択します。

2

マルチセレクターの上 △ を押して、プリント指定をセットします。セットされた画像には アイコンが表示されます。

3

マルチセレクターでプリント枚数を指定します。上 △ を押すとプリント枚数は増加し、(最高 9 枚)、下 ▽ を押すと減少します。プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 の時にマルチセレクターの下 ▽ を押します。手順 1 ～ 3 を繰り返して、プリントする画像を全て選択します。プリント指定を変更せずに終了する時は、MENU（メニュー）ボタンを押してください

プリント指定の解除

プリント指定を解除する時は、再生メニュー項目の削除からプリント指定解除（P.166）を選択します。

4

(画質モード)ボタンを押すとセットが完了し、プリント指定のメニューが表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、プリント時に印字する情報を選択してください。

- 選択した全ての画像にシャッタースピード・絞り値をプリントする時は、「撮影情報」を選択してマルチセレクタの右 ▷ を押します。項目の前のボックスがチェック済みになります。
- 選択した全ての画像の撮影日をプリントする時は、「日付」を選択してマルチセレクターの右 ▷ を押します。項目の前のボックスがチェック済みになります。
- 選択した項目のチェックをはずす時は、その項目を選んでマルチセレクターの右 ▷ を押します。
- プリント指定を終了し、再生メニュー画面に戻る時は、「設定終了」を選んでマルチセレクターの右 ▷ を押します。プリント指定を変更せずに終了する場合は、MENU(メニュー)ボタンを押します。

日付プリントについて

プリント指定画面で「日付」を ☑ チェック済みにセットすると、従来の日付機能付きフィルムカメラで撮影した写真と同様に、プリント画像に撮影日時を入れることができます。撮影日時を印字したい場合には、必ず撮影前にカメラの日時設定が正しく設定されているかご確認ください(P.40)。また、DPOFの日付機能に対応していないプリンタでプリントする場合は、この機能を使用することができません。

転送画像設定：パソコンに転送する画像を選択する

COOLPIX5000 とパソコンを接続して画像転送用アプリケーションソフト Nikon View 5 を使用すれば、転送画像設定した画像は「転送マーク付き画像」として扱われ、転送画像設定のメニュー画面で一括してパソコンに転送する設定ができます（P.182）。

転送する画像を選択する

転送画像設定項目の「選択画像転送」を選択してマルチセレクターの右▷を押すと、右のように「転送画像選択」画面に切り換わります。転送する画像の選択は以下の手順で行います。

1

マルチセレクターを操作して、画像を選択します。

2

マルチセレクターの上△または下▽を押して転送設定を行います。転送設定された画像には（転送マーク）が表示されます。手順の 1 と 2 を繰り返し、転送したい全ての画像を転送設定します。転送設定された画像を選択してマルチセレクターの上△または下▽を押すと、転送設定が解除され（転送マーク）マークが消えます。

3

転送画像設定完了

（画質モード）ボタンを押すとセット完了します。画像の転送設定状態を変更しないで転送画像設定を終了する場合は、MENU（メニュー）ボタンを押してください。

全ての画像に転送マークを付ける

全画像の転送を設定する場合は、次のように行います。

1

マルチセレクターを操作して、「全画像転送」を選択します。

2

転送確認画面が表示されます。マルチセレクターの上 △ または下 ▽ を押して、「はい」か「いいえ」を選択します。マルチセレクターの右 ▷ を押すと選択が実行されます。

- 「いいえ」を選択すると全画像転送を設定せずに終了します。
- 「はい」を選択すると全画像転送が設定されます。

全画像転送設定時のご注意

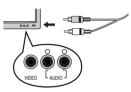
一括してパソコンに転送する場合（P.182）、一度に転送される画像は最大 999 コマまでです。999 コマを越える画像が転送設定されている場合は、1 枚の画像も転送することはできなくなります。999 コマより多くの画像を転送する場合は、Nikon View 5 のニコントランスファの転送ボタンを使うか、選択画像転送で 999 コマより少ない画像を選択して転送した後転送設定を解除して、未転送画像に新規に転送設定して転送する手順を繰り返してください。

全画像の転送設定を解除するには

再生メニュー項目の削除から転送設定解除（P.166）を選択します。

テレビ画面で画像を再生する

カメラとビデオ機器を接続する

付属のオーディオビデオケーブル（以下 AV ケーブル）を使用して、COOLPIX5000 をテレビやビデオに接続できます。テレビには、液晶モニタに表示された画像が表示されます。

1 AV ケーブルをカメラに接続します。

AV ケーブルの黒いプラグをカメラの AV 出力端子に接続します。

2 AV ケーブルをテレビまたはビデオに接続します。

AV ケーブルの黄色のプラグをテレビまたはビデオの映像入力端子に、白色のプラグをテレビまたはビデオの音声入力端子に接続します。

3 テレビの入力をビデオ入力に切り換えます。

4 カメラの電源スイッチを ON にセットします。

テレビには、液晶モニタの画像が表示されます。液晶モニタをレンズと同じ方向に回転した状態の時や折りたたんだ状態の場合（P.9）、液晶モニタの表示は 180°回転して表示されますが、テレビには正常に表示されます。

AC アダプタの使用をおすすめします

カメラを長時間ご使用になる場合は、別売の AC アダプタ／バッテリーチャージャー EH-21 の使用をおすすめします。カメラの液晶モニタが消灯の場合、カメラの画像情報および撮影情報はテレビ画面に表示されません。

ビデオモードの選択（P.154/155）

ビデオの出力形式を NTSC（日本国内）または PAL（欧州）から選択します。カメラを接続するテレビ、ビデオなどの形式と選択したビデオ出力形式が必ず一致するようにしてください。

PAL 形式

PAL 形式にセットした場合、AV ケーブルを接続するとカメラの液晶モニタは消灯します。ただし、UH 連写や動画を記録中の場合は、カメラの液晶モニタは点灯しますが、ビデオ出力は一時停止となります。

接　続

カメラとパソコンを接続する

COOLPIX5000をNikon View 5 が動作するパソコンに接続すると、デジタルカメラの魅力を最大限に楽しむことができます。撮影した画像をパソコンに転送すると、画像処理ソフトでレタッチや加工を楽しんだり、カラープリンタでプリントしたりすることができます。また、画像をインターネットを通して家族や友達に送ったり、コンパクトフラッシュカードから記録メディアに画像ファイルをコピーしてプリントショップでプリントしてもらうこともできます。

この章では、付属の USB ケーブルを使って、カメラを Nikon View 5が動作するパソコンに接続する方法を説明しています。USB インターフェースが装備されていないパソコンをご使用の場合も、コンパクトフラッシュカードをカードリーダやカードスロットに装着することにより、撮影した画像をパソコンで利用することができます。

Nikon View 5 のインストール：Nikon View 5 を使うために

Nikon View 5 をインストールする前に、付属の Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM に収録されているインストールマニュアルをお読みください。

1 Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

パソコンの電源を入れ、OS の起動後に Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM をセットします。

Windows の場合：

「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、その中にある Nikon アイコンをダブルクリックすると、Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM ウィンドウが開きます。

Macintosh の場合：

デスクトップ上に Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM のウインドウが自動的に開きます。

すでに Nikon View がインストールされている場合は

COOLPIX5000 を USB ケーブルでパソコンに接続して画像を転送するには、カメラに付属しているバージョンの Nikon View 5 が必要です。他のニコンデジタルカメラに付属の Nikon View をお持ちの場合は、COOLPIX5000 に付属の Nikon View 5 にアップグレードする必要があります。詳細については、Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM をご覧ください。

2 Adobe Acrobat Reader をインストールします。

Nikon View 5 のインストールマニュアルは PDF 形式で作成されています。マニュアルを読むには、Adobe Acrobat Reader 4.0 以降が必要です。すでにパソコンに Adobe Acrobat Reader がインストールされている場合は、ステップ 3 に進んでください。

Adobe Acrobat Reader をインストールするには、選択した言語のフォルダをダブルクリックして開きます。中にあるインストーラアイコンをダブルクリックするとインストール開始画面が表示され、インストールが開始されます。画面に表示される指示にしたがってインストールを行ってください。

インストーラ
アイコン
（Windows）

インストーラ
アイコン
（Macintosh）

インストール開始画面（Windows）

インストール開始画面（Macintosh）

3 Nikon View 5 のリファレンスマニュアルをお読みの上、Nikon View 5 をインストールします。

Adobe Acrobat Reader のインストールが終了したら、Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM のルートディレクトリにある「INDEX.pdf」アイコンをダブルクリックします。Nikon View 5 インストールマニュアルのインデックス（見出し）が表示されますので、ご使用のパソコン、システムに応じた箇所を参照してよくお読みの上、Adobe Acrobat Reader を終了してから Nikon View 5 のインストールを行ってください。インストールマニュアルは、Adobe Acrobat Reader の「ファイル」メニューにある「プリント ...」コマンドでプリントできます。

Nikon View 5 インストール時のご注意

Nikon View 5をインストールする前に、Adobe Acrobat Reader やウィルスチェック用ソフトウェアなど、起動しているプログラムはすべて終了してください。

接続

パソコンに接続する

Nikon View 5 のインストールが完了すると画像や動画をパソコンに転送することができます。画像の転送は、USB ケーブルで接続するか、また画像が記録されたコンパクトフラッシュカードをカメラから取り出してカードリーダ、または PC カードスロットを使用して転送することもできます。機能の詳細については、Nikon View 5 リファレンス CD-ROM（P.180）をご覧ください。

カメラとパソコンをケーブルで直接接続する

ご使用のパソコンが内蔵 USB インターフェースを装備していれば、付属の USB ケーブルを使用してカメラとパソコンを接続することができます。パソコンに内蔵 USB インターフェースが装備されていない場合は、カードリーダか PC カードスロットを使って転送を行うことができます。

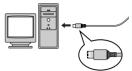
1 SET-UP メニューの「インターフェース > USB」で USB 通信方式を設定します。

専用 USB ケーブルを使ってカメラとパソコンを接続する前に、接続するパソコンの OS に合わせて USB 通信方式を選択します（初期設定は Mass Storage に設定されています）。詳細はP.176 をご覧ください。

- Windows XP Home Edition/Professional または Mac OS X(10.1.2 以降）の場合は、**PTP/Mass Storage** のいずれも選択が可能です。
- Windows 2000 Professional 、Windows Millennium Edition (Me) 、Windows 98 Second Edition (SE) 、または Mac OS 9.0 、9.1 、9.2 の場合は、**Mass Storage** を選択します。

2 パソコンの電源を入れます。

3 転送する画像を選択します。

カメラのモードセレクターを ▶（再生モード）にセットして、カメラの電源スイッチを ON にセットし、再生メニューの「転送画像設定」画面（P.176）で転送する画像を選択します。

4 パソコンにUSBケーブルを接続します。

右のイラストのように、カメラに付属のUSBケーブルをパソコンに接続します。パソコンには、平らなコネクタを接続します。

5 カメラにUSBケーブルを接続します。

カメラのデジタル端子にUSBケーブルのもう一方のコネクタを接続します。ケーブルが接続されている間は、カメラの表示パネルのシャッタースピード／絞り値表示部分が回転表示（[icon]）されます。カメラの液晶モニタは消灯し、電源スイッチ以外の操作はできなくなります。

Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professionalをご使用になる場合のご注意

Nikon View 5をご使用になる場合（インストール / アンインストールする場合も含む）は、「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition／Windows XP Professionalの場合）もしくは「Administrator」アカウント（Windows 2000 Professionalの場合）でログオンしてください。

レンズキャップを取りはずしてください！

レンズキャップを付けたままカメラの電源スイッチをONにセットすると、液晶モニタに警告表示が表示されます。警告表示を消すためには、カメラの電源スイッチをOFFにセットして、レンズキャップをはずしてください。

カメラとパソコンの接続について

カメラをUSBハブやキーボードに接続した場合、正常に動作しない場合があります。カメラとパソコンは直接接続してください。

カメラをパソコンに接続する際のご注意

パソコンにカメラを接続する前に、必ずNikon View 5をインストールしてください。

6 転送を開始します。

カメラの電源スイッチが ON にセットされた状態でパソコンに接続されると、Nikon View 5 がカメラを認識して自動的に起動します。Nikon View 5 が起動すると、ニコントランスファがパソコンの画面に表示されます。コピーの条件には全画像と表示されています。この状態で、(転送) ボタンをクリックすると、コンパクトフラッシュカードに記録されている全ての画像がパソコンに転送されます。手順 2 で選択した画像だけを転送したい場合は、コピーの条件から「転送マーク ON 画像のみ」を選択して (転送) ボタンをクリックすると画像の転送が実行されます。

999 コマより多い画像を転送する際のご注意

転送画像設定により画像を転送する場合、一度に転送できる画像は最大 999 コマまでです。999 コマより多い画像が転送設定されている場合は、カメラとパソコンが接続されても、転送は自動的にキャンセルされます。999 コマより多い画像を転送する場合は、999 コマ以下の画像を選択して転送を行った後、再生メニュー画面の「削除＞転送設定解除」(P.168) で転送マーキングを解除してから、未転送の画像に転送設定して転送を行う手順を繰り返してください。なお、Nikon View 5 のニコントランスファの (転送) ボタンを使うと、999 コマより多い画像の転送が一括して行えます。

転送時間について

転送する画像の数が多くなると、転送にかかる時間も長くなりますのでご注意ください。

Mac OS 9 で RAW 画像を再生する場合のご注意

画質モードを RAW (P.72) に設定して撮影した画像を Nikon View 5 (version 5.1) のニコンビューアで再生する場合 は、Nikon View 5 へのメモリ割り当てを 72MB 以上にしてください。Nikon View 5 のメモリ割り当てを変更せずに RAW 画像を開こうとすると、「メモリの割り当てを増やしてください」というメッセージが出て、画像を開くことができませんのでご注意ください。

「ホットプラグ」機能

USB インターフェースは、パソコンと周辺機器の「ホットプラグ」接続をサポートしており、カメラの電源スイッチを ON にセットしたまま接続することができます。カメラの電源スイッチが OFF にセットされている時にパソコンと接続しても、Nikon View 5 は自動起動しません。

7 パソコンへの画像転送が行われます。

画像の転送中、Nikon View 5 は右のような転送中のダイアログを表示します。このダイアログの表示中は、カメラの電源スイッチを OFF にセットしたり、ケーブルを取りはずしたりしないでください。転送が完了すると、ニコンブラウザがパソコンの画面に表示されます。

8 システムからカメラの接続を解除します。

パソコンの画面に転送した画像が一覧で表示されたら、転送は終了です。カメラとパソコンの接続をはずすには、USB 通信方式を **PTP** に設定した場合は、カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。
USB 通信方式を **Mass Storage** に設定した場合は、転送が完了したら、必ず次の操作をしてからカメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

Windows XP Home Edition/Professional の場合：

パソコン画面右下の「**ハードウェアの取り外しまたは取り出し**」アイコンをクリックしてコンパクトフラッシュカードを取り出してください。

Windows 2000 Professional の場合：

パソコン画面右下の「**ハードウェアの取り外しまたは取り出し**」アイコンをクリックして、「**USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ (E:) を停止します**」を選択してください。

Windows Millennium Edition (Me) の場合：

パソコン画面右下の「**ハードウェアの取り外し**」アイコンをクリックして、「**USB ディスク－ドライブ (E:) の停止**」を選択してください。

* ドライブ名はご使用のパソコンによって異なります。

Windows 98 Second Ediion (SE) の場合：

マイコンピュータの中の「**リムーバブルディスク**」上でマウスを右クリックして「**取り出し**」を選択してください。

Macintosh の場合：

デスクトップ上の「**名称未設定**」（Mac OS 9）または「**NO_NAME**」(Mac OS X) のボリュームアイコンをゴミ箱に捨ててください。

Mac OS 9　Mac OS X

9 カメラの接続を取りはずします。

接続終了の操作後は、USB ケーブルを抜いたり、カメラの電源スイッチを OFF にセットすることができます。

転送を中断するには

転送画像設定した画像の転送を中断するには、Nikon View 5の転送中のダイアログの「キャンセル」ボタンをクリックしてください。転送中のダイアログの表示が消えた後は、手順 7 ～ 8 にしたがってシステムからカメラの接続を解除した後、USB ケーブルの取りはずしや、カメラの電源スイッチを OFF にセットすることができます。

カメラの接続をはずす際のご注意

カメラの電源スイッチを OFF にセットしたり、USB ケーブルを抜いたりする際は、画像の転送が完了して、パソコン画面に転送中ダイアログが表示されていないことを確認してください。転送の途中に USB ケーブルの接続がはずされたり、カメラからコンパクトフラッシュカードが抜かれると、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。この場合は「OK」ボタンをクリックして Nikon View 5 を終了し、カメラの電源スイッチを OFF にセットして USB ケーブルを接続し直すか、コンパクトフラッシュカードを装着し直してからカメラの電源スイッチを ON にセットしてくださ い。Nikon View 5がカメラを検出して再び起動します。

電源について

カメラとパソコンを接続して画像の転送をする際には、確実に電源を供給できる AC アダプタ（別売）のご使用をおすすめします。バッテリーを電源に使用する場合は、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください（予備バッテリーのご用意をおすすめします）。接続中にバッテリー容量が少なくなった場合は、パソコン画面に転送中ダイアログが表示されていないことを確認してからカメラの電源スイッチを OFF にセットして、バッテリーを交換してください。

コンパクトフラッシュカードから画像を読みとる

ご使用のパソコンにUSBインターフェースが装備されていない場合でも、カードリーダやパソコンのPCカードスロットを利用すれば、コンパクトフラッシュカードからパソコンに画像を転送することができます。

コンパクトフラッシュカードリーダを使って画像を読みとる

カードリーダを使う前に、カードリーダの使用説明書をよくお読みの上、次の手順で画像をカードリーダで転送してください。

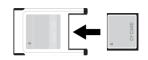
1 パソコンの電源を入れます。

パソコンの電源を入れ、OSを起動します。

2 カードリーダにコンパクトフラッシュカードを入れます。

パソコンにNikon View 5がインストールされていれば、ニコン製デジタルカメラで撮影した画像が記録されたコンパクトフラッシュカードを自動的に認識します。画像の転送方法については、「パソコンに接続する」の手順5（P.184）をご覧ください。

コンパクトフラッシュカードリーダについて

コンパクトフラッシュカードリーダは、COOLPIX5000で使用するコンパクトフラッシュカードを読みとるための装置です。カードリーダのタイプには、USBインターフェースのものからパソコン本体に装備されているものまで、さまざまなタイプがあります。

PCカードスロットについて

多くのノートパソコンに装備されているPCカードスロットは、「PCMCIA」(Personal Computer Memory Card International Association)という規格に準拠したもので、カメラで使用するコンパクトフラッシュカードよりサイズが大きいスロットを使用します。コンパクトフラッシュカードをPCMCIA規格のPCカードスロットで使用する場合には、別売のニコンPCカードアダプタEC-AD1が必要となります。

PC カードスロットから画像を読みとる

1 コンパクトフラッシュカードを PC カードアダプタに装着します。

右のイラストのようにコンパクトフラッシュカードを PC カードアダプタに装着します。

2 パソコンの電源を入れます。

パソコンの電源を入れ、OS を起動します。

3 PC カードスロットにコンパクトフラッシュカードを入れます。

パソコンに Nikon View 5 がインストールされていれば、ニコン製デジタルカメラで撮影した画像が記録されたコンパクトフラッシュカードを自動的に認識します。画像の転送方法については、「パソコンに接続する」の手順 5（P.184）をご覧ください。

コンパクトフラッシュカードの取り出しについて

コンパクトフラッシュカードをカードリーダや PC カードスロットから取り出す際は、画像の転送が完了していることを必ず確認してください。パソコン画面に転送中ダイアログが表示されている間はコンパクトフラッシュカードをカードリーダや PC カードスロットから取り出さないでください。カードをカードリーダや PC カードスロットから取り出す前には、必ずカードをシステムから取りはずす操作を行ってください。カードをシステムから取りはずす操作は、「カメラとパソコンをケーブルで直接接続する」の手順 7（P.185）と同様に行ってください。

資料編

カメラの手入れ、別売アクセサリー、参考資料

ここではカメラを手入れする場合や保管する場合のご注意、別売アクセサリー、カメラがうまく作動しない場合の対処方法、カメラの仕様、およびユーザーサポートなどについて説明しています。

カメラの手入れ方法

クリーニングについて

レンズ／ファインダー	レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングする時は、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニタ	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますので注意してください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水を湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しない時は、必ずバッテリーを取り出しておいてください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源スイッチが OFF にセットされていることを確認してください。

カメラを保管する場合は、下記のような場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が 60%をこえる場所

別売アクセサリー

COOLPIX5000 には次の別売アクセサリーを使用できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1
AC アダプタ／バッテリーチャージャー	AC アダプタ／バッテリーチャージャー EH-21
バッテリーチャージャー	• バッテリーチャージャー MH-53 • バッテリーチャージャー MH-53C（車載用充電器）
AC アダプタ	AC アダプタ EH-53
バッテリーパック	バッテリーパック MB-E5000
ソフトケース	ソフトケース CS-E5000
コンパクトフラッシュカード／PC カードアダプタ	• コンパクトフラッシュカード EC-CF シリーズ • PC カードアダプタ EC-AD1
アダプターリング	• アダプターリング UR-E5：WC-E68 使用時 • アダプターリング UR-E6：FC-E8、TC-E2、TC-E3ED、ES-E28 使用時
コンバータレンズ／スライドコピーアダプタ（アダプターリングを使用します）	• フィッシュアイコンバータ FC-E8（0.21 倍） • ワイドコンバータ WC-E68（0.68 倍） • テレコンバータ TC-E2（2 倍） • テレコンバータ TC-E3ED（3 倍） • スライドコピーアダプタ ES-E28
リモートコード	リモートコード MC-EU1
レンズフード	レンズフード HN-E5000
液晶モニタフード	LCD フード HL-E5000
スピードライト／スピードライトアクセサリー	ニコンスピードライト SB-80DX・50DX・30・28/28DX・27・26・25・24・22s 調光コード SC-17

ニコン製のスピードライトを使用してください。

本製品は、当社製のスピードライトなどのアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。

資料編

使用できるコンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブ

カメラに付属のコンパクトフラッシュカードおよびニコンコンパクトフラッシュカード EC-CF シリーズの他に、次の他社製コンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブは、動作確認されております。

SanDisk 社製コンパクトフラッシュカード：
　SDCFB シリーズ 16MB、32MB、48MB、64MB、96MB、128MB
LEXAR MEDIA 社製コンパクトフラッシュカード：
　4X USB シリーズ　8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB
　8X USB シリーズ　8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB
　10X USB シリーズ　128MB、160MB
マイクロドライブ：
　DSCM-11000（1GB）

上記コンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各メーカーにご相談ください。その他のメーカー製のコンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

WC-E68 以外のワイドコンバータについて

COOLPIX5000 には、WC-E68 以外のワイドコンバータ（WC-E24、WC-E63）は使用できません。

アダプターリング UR-E6 を単独で使用しないでください

アダプターリング UR-E6 をとりつけたまま、コンバータを使用しないで通常の撮影を行うと、撮影画面の四隅が黒く影になる「ケラレ」を生じる場合がありますので、通常の撮影を行う場合は、必ず取りはずしてください。

外付けスピードライトについて

COOLPIX5000 は別売のニコンスピードライトを直接装着して、コードレスで自動調光撮影を行うことができるアクセサリシューを備えています。内蔵スピードライトでは十分に照明されない時などに効果的です。TTL 調光コード SC-17 を使用してカメラからスピードライトを離した撮影やバウンス撮影、増灯撮影など、内蔵スピードライトでは得られない効果が得られるスピードライト撮影が行えます。このアクセサリシューはセーフティーロック機構（ロック穴）を備えていますので、セーフティロックピン付きのスピードライト（SB-80DX･30･28/28DX･27･26･25･22s など）を装着すると、スピードライトが不用意にはずれるのを防止できます。外付けスピードライトの使用方法については、次ページをご覧ください。

他社製のスピードライトについてのご注意

他社製スピードライト（カメラのアクセサリーシューにマイナス電圧や 250V 以上の電圧がかかるものや小さな接点が触れてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損することがあります。

外付けスピードライトの使用方法

外付けスピードライトを使用する場合は、次の手順にしたがって行ってください。スピードライトの操作方法などについては使用するスピードライトの使用説明書をご覧ください。

1 カメラおよびスピードライトの電源を OFF にします。

2 スピードライトをカメラのアクセサリーシューに装着します。

3 カメラおよびスピードライトの電源を ON にします。

4 スピードライトの照射角を 28mm より広角側にセットします。

オートパワーズーム機能のあるスピードライトを使用する場合は、照射角をマニュアルでセットしてください。オートパワーズーム機能のあるスピードライトを装着しても、カメラのズーミングには連動することができません。ワイドコンバータ WC-E68 を使用する場合、最も広角側でレンズの合成焦点距離が 19mm（35mm 換算）になります。ワイドパネルを使用して、スピードライトの照射角を 19mm より広角側にセットしください。照射角が 19mm より広角側にセットできないスピードライトを使用する場合は、撮影画面周辺の被写体が十分に照明されないおそれがあります。

5 スピードライトの発光モードを TTL にセットします。

スピードライトの発光モードは TTL ですが、実際の調光制御はカメラの調光センサーを使用した自動調光になります。また、SB-50DX 、28DX を使用しての、D-TTL モードでの撮影は行えません。

6 スピードライトのレディライト点灯を確認して撮影を行います。

撮影 SET-UP メニュー「スピードライト＞発光切替」を AUTO にセットすると、外付けスピードライトが発光します（カメラのスピードライト測光回路の精度を向上させるため、撮影直前に内蔵スピードライトがプリ発光しますが、撮影画像に影響はありません）。
ALL にセットすると内蔵スピードライトも同時に発光させることができます (👁 P.152) 。撮影意図に合わせてセットしてください。

外付けスピードライトの「スタンバイ」機能はカメラの電源 ON と連動しますが、電源 OFF とは連動しません。また、「オートパワーズーム」、「アクティブ補助光」、および外付けスピードライトの赤目軽減ランプを使用する「赤目軽減ランプ照射」機能は使用することができません（使用するスピードライトによって、該当する機能が異なります、詳細は使用する外付けスピードライトの使用説明書をご覧ください）。

資料編

故障かな？と思ったら

カメラがうまく作動しないときは、お買い上げの販売店や当社サービス部門へお問い合わせする前に、次の表をご確認ください。

症　状	原　因	参照ページ
表示パネルに何も映らない	● カメラの電源が入っていません。 ● バッテリーが正しい向きで入っていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。 ● バッテリーが消耗しています。 ● AC アダプタ／バッテリーチャージャー EH-21（別売）が正しく接続されていません。 ● カメラがオートパワーオフになっています。シャッターボタンを半押ししてください。	12 34 39 – 143
電源が入ってもすぐ切れる	● バッテリーの残量が少なくなっています。 ● 低温下で使用しています。	39 xi
液晶モニタに何も映らない	● 液晶モニタが消灯しています。MONITOR（▭）（モニタ）ボタンを押して液晶モニタを点灯してください。 ● ビデオモードが PAL にセットされた状態で AV ケーブルが接続されています。	18 178
液晶モニタにカメラの撮影情報、画像情報が表示されない	● 撮影情報、画像情報を非表示にセットしている可能性があります。設定内容の情報が表示されるまで MONITOR（▭）（モニタ）ボタンを押してください。 ● スライドショーが行われています。	18 170
液晶モニタの画面がよく見えない	● 周囲が明るすぎます。ファインダーを使用するかもう少し明るくない場所へ移動してください。 ● 液晶モニタが汚れています。 ● 液晶モニタの明るさを調整してください。 ● 液晶モニタフードHL-E5000（別売）を使用してください。	– 190 146 191

症　状	原　因	👁
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	● カメラが再生モードになっています。 ● バッテリーが消耗しています。 ● 撮影可能コマ数が 0 になっています。コンパクトフラッシュカードに十分な容量がありません。 ● 緑色 LED が点滅しています。ピントを合わせることができません（液晶モニタ消灯時）。 ● 赤色 LED が点滅しています。スピードライトの充電中です。 ● 液晶モニタに「フォーマットされていません」というメッセージが表示されます。コンパクトフラッシュカードが COOLPIX5000 用に初期化されていません。 ● 液晶モニタに「カードが入っていません」というメッセージが表示されます。コンパクトフラッシュカードがカメラに挿入されていません。	12 39 44 50 50 37 36
撮影した画像が暗すぎる（露出アンダー）	● スピードライトが発光禁止になっています。 ● スピードライトが指などで遮られています。 ● 被写体がスピードライトの調光範囲外にあります。 ● 露出補正がマイナス側にかかりすぎています。 ● 液晶モニタのシャッタースピード表示が点滅しています。シャッタースピードが速すぎます。 ● 液晶モニタの絞り値表示が点滅しています。絞りを絞りすぎ（数値が大きすぎ）ています。	82 84 83 85 92 93
撮影した画像が明るすぎる（露出オーバー）	● 露出補正がプラス側にかかりすぎています。 ● 液晶モニタのシャッタースピード表示が点滅しています。シャッタースピードが遅すぎます。 ● 液晶モニタの絞り値表示が点滅しています。絞りを開きすぎ（数値が小さすぎ）ています。	85 92 93
ピントが合わない	● シャッターボタンを半押しした時や AE-L/AF-L ボタンを押した時に、被写体が AF エリア内に入っていません。 ● 緑色 LED が高速で点滅しています。ピントを合わせることができません。 ● マニュアルフォーカスでセットした距離に被写体が存在しません。	51 79 50 98

資料編

症　状	原　因	👁
画像がブレる	● 撮影中にカメラが動きました。シャッタースピードを上げてください。シャッタースピードを上げると露出不足の恐れがある場合は： ・スピードライトを使用してください。 ・撮像感度を上げてください。 ・絞りを開放側（小さい数値）にセットしてください。 低速シャッタースピードでブレを最小に抑えるには： ・BSS を使用してください。 ・セルフタイマーを使用してください。 ・三脚を使用してください。	92 94 82 96 93 94 112 80 –
画像にノイズが発生する	● 撮像感度が 100 より高感度にセットされています。 ● シャッタースピードが遅すぎます。1/15 秒以下の低速シャッタースピードで長時間露出撮影を行う場合はノイズ除去を ON にセットしてください。 ● クリアイメージモードがセットされていません。クリアイメージモードをセットしてください。	96 128 128
内蔵スピードライトが発光しない	● スピードライトが発光禁止になっています。 次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： ・フォーカスモードが ▲（遠景モード）にセットされている場合 ・連写モードが「単写」以外にセットされている場合 ・コンバータが OFF 以外にセットされている場合 ・露出固定が ON にセットされている場合 ・クリアイメージモードがセットされている場合 ・外付けスピードライトが接続されている状態で、「スピードライト＞発光切替」が AUTO にセットされている場合 ・バッテリーの残量が少ない場合。	82 77 108 116 118 128 152 39

症　状	原　因	👁
画像が自然な色合いにならない	● ホワイトバランスが光源と合っていません。 ● 彩度調整が適切にセットされていません。	102 115
画像が再生できない	パソコンや他社製のカメラで、画像が上書き、または名前が変更されました。	–
テレビに液晶モニタの画面が映らない	● AV ケーブルが正しく接続されていません。 ● テレビの入力切換が「ビデオ」になっていません。 ● ビデオモードの設定が間違っています。	178 178 155
カメラをパソコンに接続した時、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダやカードスロットに挿入した時に、Nikon View 5 が自動的に起動しない	● カメラの電源が入っていません。 ● AC アダプタ／バッテリーチャージャー（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーが消耗しています。 ● USB ケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダ、PC カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 Nikon View 5 については Nikon View 5 リファレンスマニュアルをご参照ください。	12 – 182 180

資料編

警告表示について

液晶モニタに下記の警告メッセージおよびその他の警告が表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処法をご確認ください。

表　示	原　因	対処法	参照ページ
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	40
（点滅）	バッテリーが消耗しています。	カメラの電源スイッチをOFFにセットしてバッテリーを交換してください。	34
レンズキャップがついています	レンズキャップを付けたままでカメラの電源が入ってます。	カメラの電源スイッチをOFFにセットしてレンズキャップを取り外してください。	33
カードが入っていません	カメラがコンパクトフラッシュカードを認識できません。	カメラの電源スイッチをOFFにセットしてコンパクトフラッシュカードが正しく挿入されていることを確認してください。	36
このカードは使用できません	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	● 動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。 ● 接続部がきれいかどうか確認してください。 ● カードがこわれている場合は、当社サービス部門までご連絡ください。	192－210
フォーマットされていません フォーマットする いいえ ▷	コンパクトフラッシュカードが COOLPIX 5000 用にフォーマットされていません。	マルチセレクターの上△を押して、「フォーマットする」を選択し、右▷を押してカードをフォーマットするか、カメラの電源スイッチを OFF にセットして適切にフォーマットされたカードと交換してください。	37

表示パネルに が点滅している場合は、バッテリーが消耗しています。
表示パネルに Card が点滅している場合は、カメラがコンパクトフラッシュカードを認識できないか、コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常もしくはコンパクトフラッシュカードが COOLPIX5000 仕様にフォーマットされていません。

表　示	原　因	対処法	👁
メモリー残量がありません	撮影中： 画像を記録する空き容量がありません。	● 画質モード、または画像サイズを変更してください。 ● 不要な画像を削除してください。 ● 新しいカードを挿入してください。	71 166 36
	画像をパソコンに転送中：画像を転送するための通信情報を書き込む空き容量がありません。	カメラとパソコンの接続を外し、不要な画像を削除して再度転送してください。	166
画像を登録できません	● カードのフォーマットが異なります。 ● 画像の保存中にエラーが発生しました。 ● フォルダ、またはファイル番号のオーバーフローです。	● コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 ● 新しいカードを挿入するか、連番モードをオフまたはリセットにセットしてから画像を削除してください。	37 144
撮影画像がありません	レビュー再生または再生モード時、選択されているフォルダに画像が入っていません。	画像を再生するために、「フォルダ設定」で画像が入ったフォルダを選択してください。	141 169
表示可能な画像がありません	選択されているフォルダ内の画像が全て非表示設定されています。	他のフォルダを選択するか、「非表示設定」メニューによりフォルダ内の画像の非表示設定を解除してください。	141 169 173
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイル（画像）です。	ファイル（画像）を削除するか、コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	37 166

表　示	原　因	対処法	👁
フォルダの削除ができません	フォルダ内に、非表示設定またはプロテクト設定された画像があるか、もしくはCOOLPIX5000以外で作成された画像が入っています。	非表示設定またはプロテクト設定された画像がある場合、フォルダの削除は行えません。	172 137
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源スイッチをOFFにセットして、ACアダプタを使用している場合はACアダプタを外し、バッテリーを取り出します。再度バッテリーを入れてカメラの電源スイッチをONにセットします。システムエラー表示が続く場合は、使用説明書裏面のサービスセンターまたはサービスステーションまでご連絡ください。	34

システムエラーが発生した時は、表示パネルに Err 表示が表示されます。

主な仕様

項目	仕様
型式	ニコンデジタルカメラ E5000
画素数	有効画素：500 万画素
撮像素子	2/3 型高密度 CCD 総画素数：524 万画素
記録画素数	• 2560×1920（FULL） • 2560×1704（3：2） • 1600×1200（UXGA） • 1280×960（SXGA） • 1024×768（XGA） • 640×480（VGA）
レンズ	3 倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f=7.1 ～21.4mm（35mm 判換算 28 ～ 85mm）
絞り範囲	F2.8 ～ 4.8
レンズ構成	7 群 9 枚
電子ズーム	4.0 倍
オートフォーカス	コントラスト検出方式 TTL AF 、マルチエリアオートフォーカス可能
撮影距離	50cm ～∞、2cm ～∞（マクロモード）
AF エリア	5ヶ所、カスタム NO.1、2 または 3 設定時 1ヶ所を選択可能
ファインダー	実像式ズームファインダー、LED 表示
倍率	0.30 ～ 0.84 倍
視野率	約 82%
視度調整	$-2 \sim +1\mathrm{m}^{-1}$
液晶モニタ	1.8 型低温ポリシリコン TFT 液晶、110,000 画素、輝度調整・色調調整可能
視野率	約 97%（スルー画、フリーズ画）

資料編

記録形式	
記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type I/II）、マイクロドライブ対応（1GB）
画像ファイル	Design rule for Camera File systems (DCF)、Exif 2.2 準拠、Digital Print Order Format (DPOF) 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-baseline 準拠 FINE（約 1/4）、NORMAL（約 1/8）、BASIC（約 1/16） 非圧縮：RAW（NEF）、HI（TIFF） 動画：QuickTime
露出	
測光方式	4 モード TTL 測光方式 • 256 分割マルチ測光 • スポット測光 • 中央部重点測光 • AF スポット測光
露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、露出補正（－2.0 ～ ＋ 2.0 EV、1/3 EV ステップ）、オートブラケティング
露出連動範囲（ISO100 換算）	EV –2.0 ～ 18.0（W 側） EV –0.5 ～ 17.0（T 側）
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	1～1/4000秒（プログラムオート、カスタムNO. A）、8～1/2000秒（シャッタースピード優先オート）、8～1/4000秒（絞り優先オート）、5分までの長時間露出および 8～1/2000秒（マニュアル露出）
絞り	7 枚羽根虹彩絞り
絞りステップ数	10 段階、1/3 EV ステップ（但し最小絞り F8 まで）
撮像感度	ISO100 相当、感度切り換え可能（オート、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800 相当）
セルフタイマー	約 10 秒、約 3 秒

項目	仕様
内蔵スピードライト	
撮影範囲	0.3～3.4m（広角側）、0.3～2m（望遠側）（ISO100）
調光方式	自動調光制御
アクセサリーシュー	ホットシュー接点、セーフティロック機構付き
シンクロ接点	X 接点のみ
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC 、PAL から選択可能
入出力端子	● DC 入力端子 ● オーディオ／ビジュアル（A/V）出力端子 ● デジタル端子（USB）
電源	● Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1（付属）、6V リチウム電池 2CR5 (DL245)（別売） ● バッテリーパック MB-E5000（別売）[単 3 形アルカリ、リチウム、ニカド、ニッケル水素電池 6 本使用] ● AC アダプタ／バッテリーチャージャー EH-21（別売） ● AC アダプタ EH-53（別売）
連続撮影時間	約 100 分（EN-EL1 使用、液晶モニタ点灯時、20℃） ※測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約 3 割のストロボ撮影、NORMAL モード）によります
寸法 (W×H×D)	101.5×81.5×67.5mm
質量（重さ）	約 360g（バッテリー、コンパクトフラッシュカードを除く）
使用条件	
温度	0 ～ 40℃
湿度	85%（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（20℃）、同梱専用リチャージャブルバッテリー EN-EL1 をフル充電で使用時のものです。
- 電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、撮影時間が短い場合があります。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。

Nikon View 5 動作環境：Windows

OS	Windows XP Home Edition/Professional 、Windows 2000 Professional 、Windows Millennium Edition (Me) 、Windows 98 Second Edition (SE) プリインストールモデル、標準装備された USB ポートのみ対応
CPU	Pentium 300MHz 以上
RAM	RAW 画像を扱う場合：128MB 以上の空き容量 RAW 画像を扱わない場合：64MB 以上の空き容量
ハードディスク	Nikon View 5インストール時に25MB以上の空き容量 Nikon View 5動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク）
解像度	800×600、16 bit カラー以上
その他	インストール時に CD-ROM ドライブが必要。

Nikon View 5 動作環境：Macintosh

OS	Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X（version 10.1.2 以降）対応
機種	iMac、iMac DV、Power Macintosh G3 (Blue & White)、Power Mac G4 以降、iBook、PowerBook G3 以降、標準装備された USB ポートのみ対応
RAM	RAW 画像を扱う場合：128MB 以上の空き容量 RAW 画像を扱わない場合：64MB 以上の空き容量
ハードディスク	Nikon View 5インストール時に25MB以上の空き容量 Nikon View 5動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの2倍＋10MB以上の空き容量（起動ディスク）
解像度	800×600、16 bit カラー以上
その他	インストール時に CD-ROM ドライブが必要。

Nikon View 5 の動作環境の詳細はリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

索　引

か

き

く

け

こ

さ

し

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

〒 140-0015
東京都品川区西大井 1-4-25（コア・スターレ西大井第一ビル 2 階）
ニコンカスタマーサポートセンター

TEL 0570-02-8000
営業時間　9:30 ～ 18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）
＊このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。
- 携帯電話、PHS 等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
- FAX でのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」はコピーしてお使いいただくと、繰り返しお使いいただけ便利です。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒 140-8601
東京都品川区西大井 1-6-3
株式会社ニコン　大井サービス課
TEL 03-3773-2221
営業時間　9:00 ～ 17:45（土・日曜日・祝日を除く毎日）
※都合により休む場合があります。

■インターネットをご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
TEL:0570-02-8000　　FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください

お問い合わせ年月日：	年　月　日
お買い上げ日：	年　月　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL: FAX:	
ご使用のコンピュータの機種名： メモリ容量： OS のバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン名：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現： （おわかりになる範囲で結構ですから、できるだけ詳しくお書きください）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

Nikon

■アフターサービスのご案内

● COOLPIX5000 (Jp) ●

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

140-0015　東京都品川区西大井1-4-25（コア・スターレ西大井第一ビル2階）

0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間　9:30〜18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社 ニコン

K3B00500701(10)
6MAA0510-06